

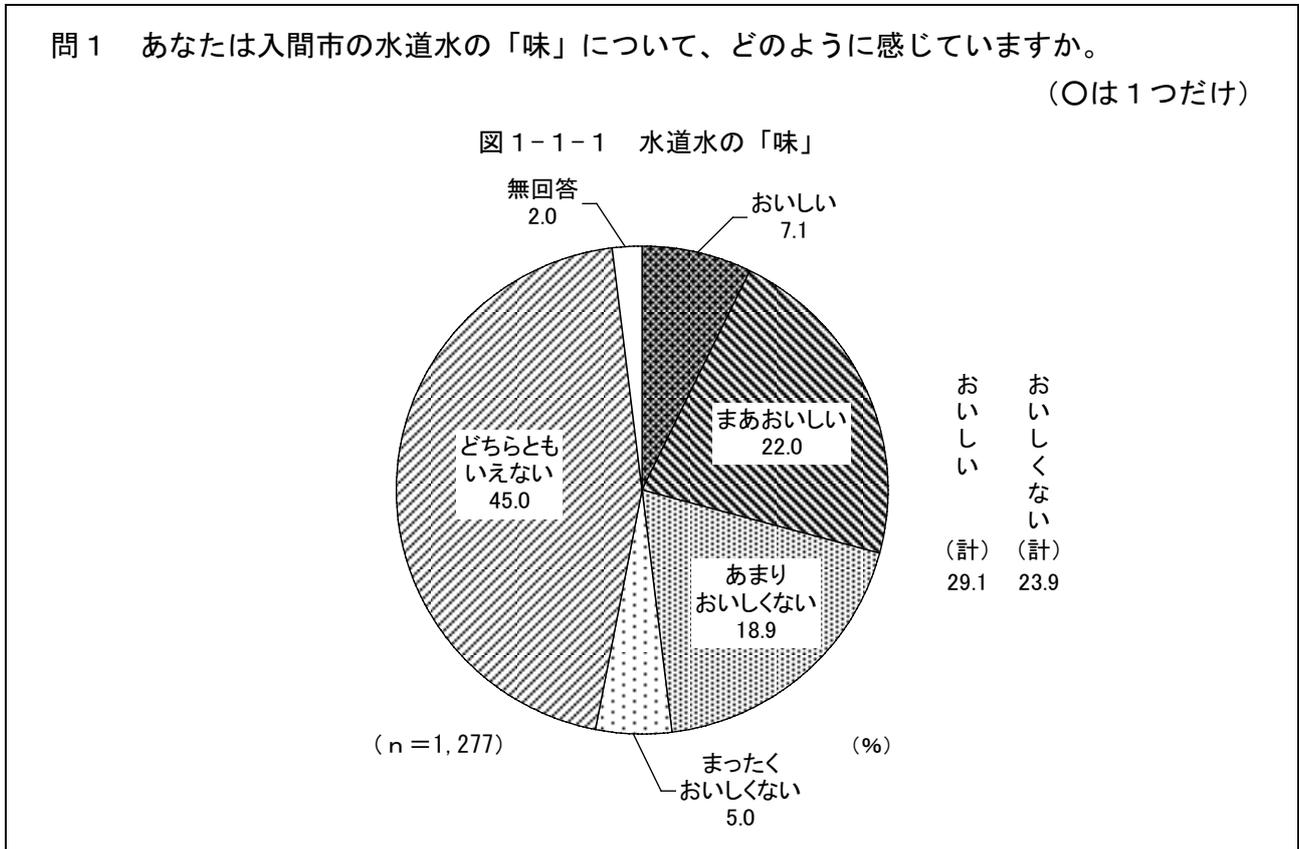
IV 調査結果の分析

IV 調査結果の分析

1. 水道の利用状況について

(1) 水道水の「味」

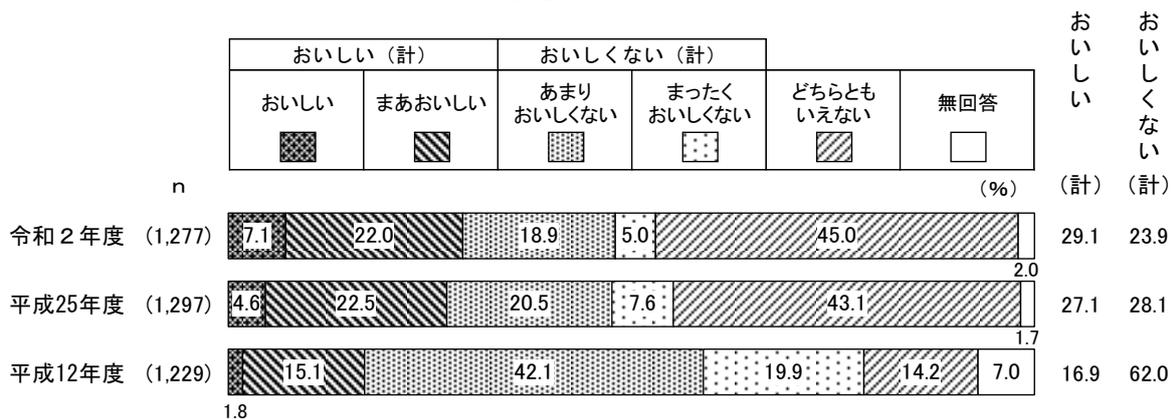
◇『おいしい(計)』と感じる人が約3割



入間市の水道水の「味」について聞いたところ、「おいしい」(7.1%)と「まあおいしい」(22.0%)を合わせた『おいしい(計)』(29.1%)は約3割となっている。一方、「あまりおいしくない」(18.9%)と「まったくおいしくない」(5.0%)を合わせた『おいしくない(計)』(23.9%)は2割を超えている。また、「どちらともいえない」(45.0%)は4割半ばとなっている。(図1-1-1)

過去の調査と比較すると、『おいしい(計)』は平成12年度以降増加傾向にある。一方、『おいしくない(計)』は平成25年度より4.2ポイント減少している。(図1-1-2)

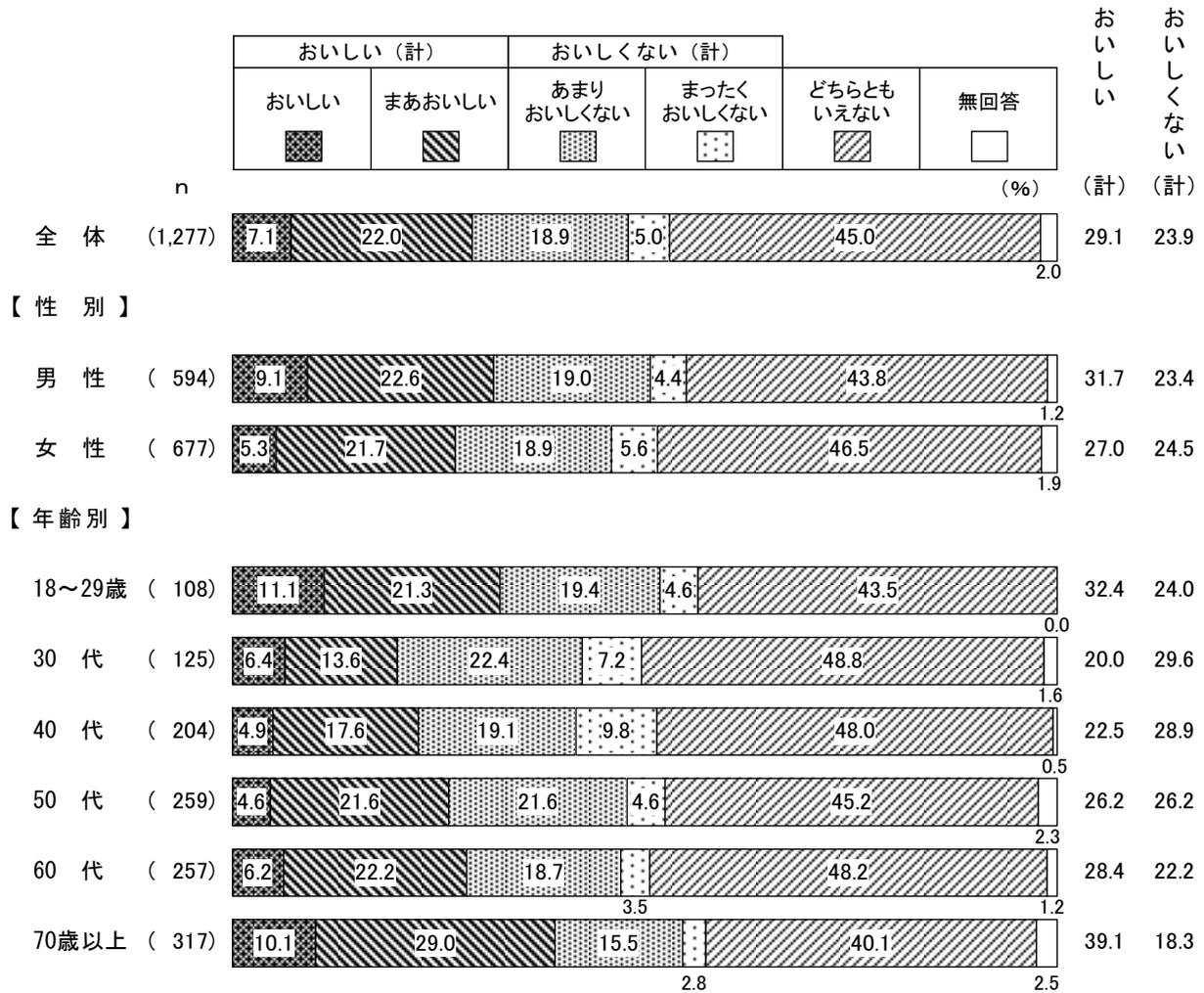
図1-1-2 水道水の「味」(経年比較)



性別にみると、『おいしい (計)』は男性 (31.7%) が女性 (27.0%) より4.7ポイント高くなっている。

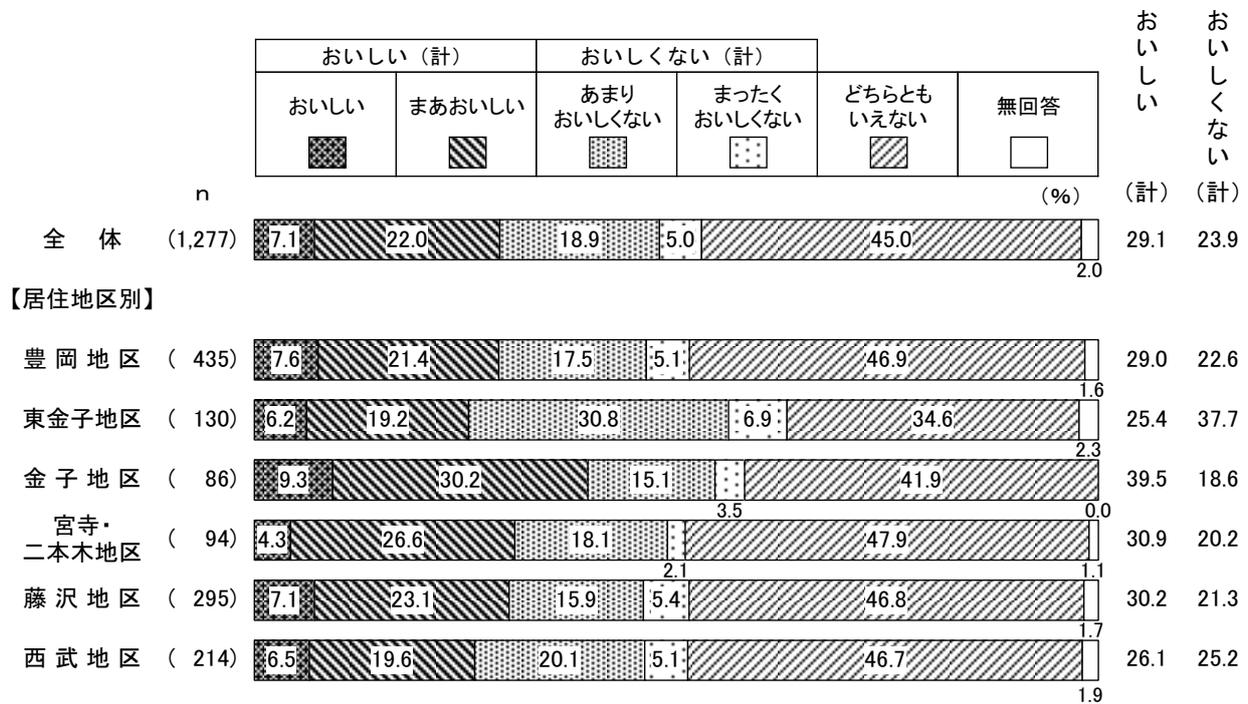
年齢別にみると、『おいしい (計)』は70歳以上 (39.1%) で約4割と高くなっている。一方、『おいしくない (計)』は30代 (29.6%) で3割と高くなっている。(図1-1-3)

図1-1-3 水道水の「味」(性別・年齢別)



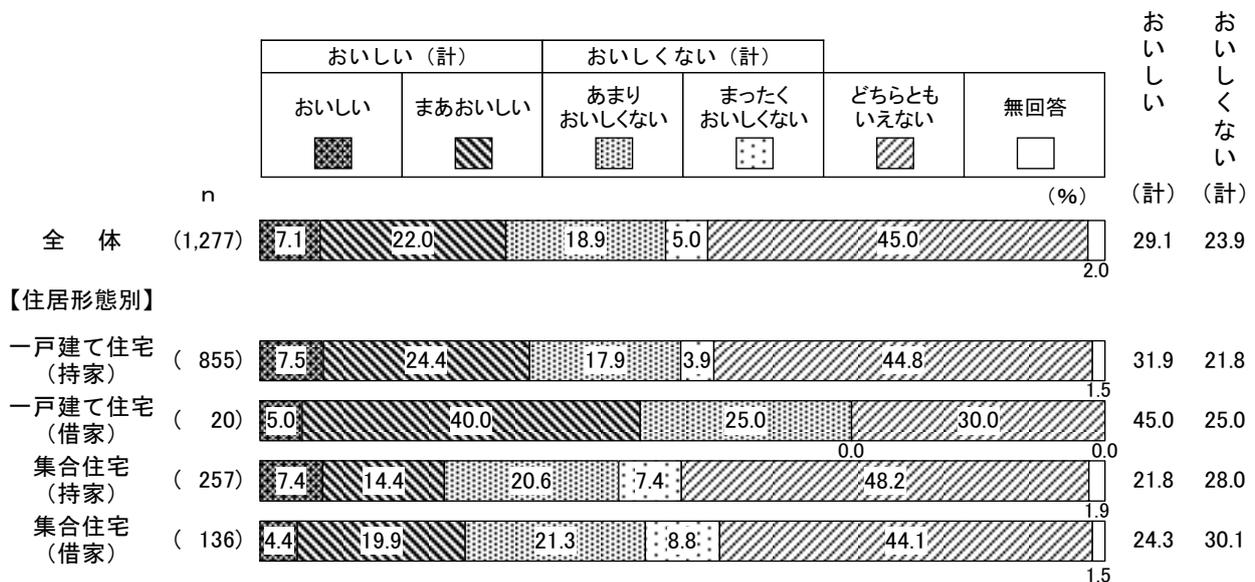
居住地区別にみると、『おいしい（計）』は金子地区（39.5%）で4割と高くなっている。一方、『おいしくない（計）』は東金子地区（37.7%）で4割近くと高くなっている。（図1-1-4）

図1-1-4 水道水の「味」（居住地区別）



住居形態別にみると、『おいしい（計）』は“一戸建て住宅（借家）”（45.0%）で4割半ばと高くなっている。一方、『おいしくない（計）』は“集合住宅（借家）”（30.1%）で3割と高くなっている。（図1-1-5）

図1-1-5 水道水の「味」（住居形態別）

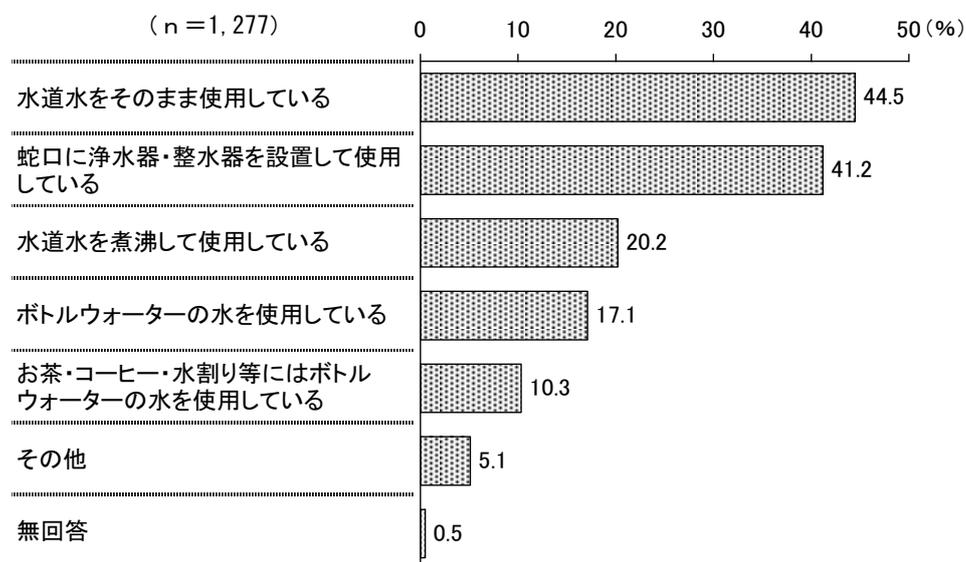


(2) 飲み水や調理用の水として利用している水

◇「水道水をそのまま使用している」が4割半ば

問2 あなたのご家庭では、飲み水や調理用の水として、どのような水を利用していますか。
(○はいくつでも)

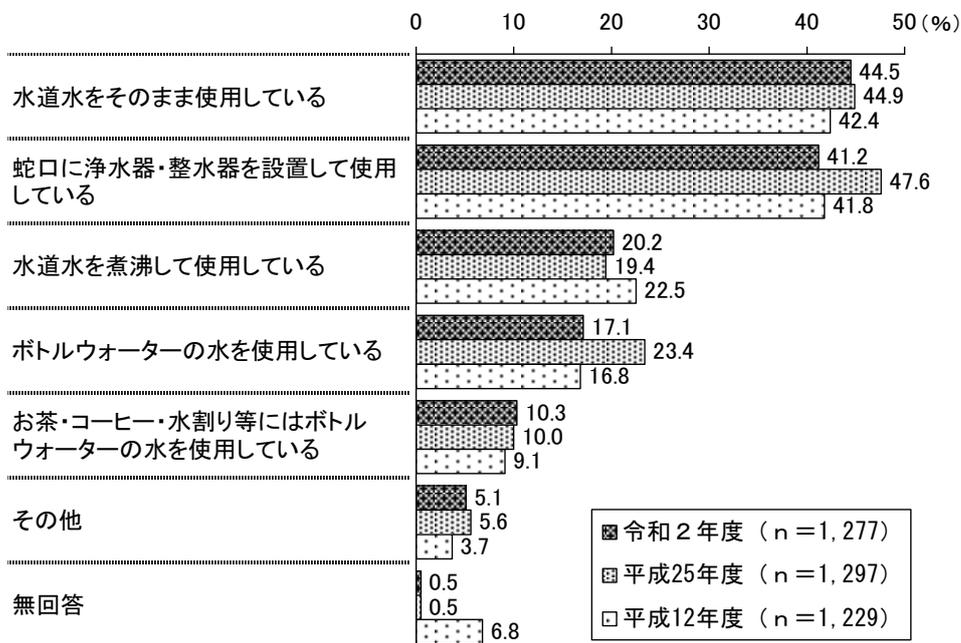
図1-2-1 飲み水や調理用の水として利用している水



家庭で飲み水や調理用の水として、どのような水を利用しているか聞いたところ、「水道水をそのまま使用している」(44.5%)が4割半ば、「蛇口に浄水器・整水器を設置して使用している」(41.2%)が4割を超え、この2項目が高くなっている。次いで「水道水を煮沸して使用している」(20.2%)、「ボトルウォーターの水を使用している」(17.1%)となっている。(図1-2-1)

過去の調査との比較は、選択肢が大幅に異なるため参考に図示する。(図 1-2-2)

図 1-2-2 飲み水や調理用の水として利用している水（経年比較）



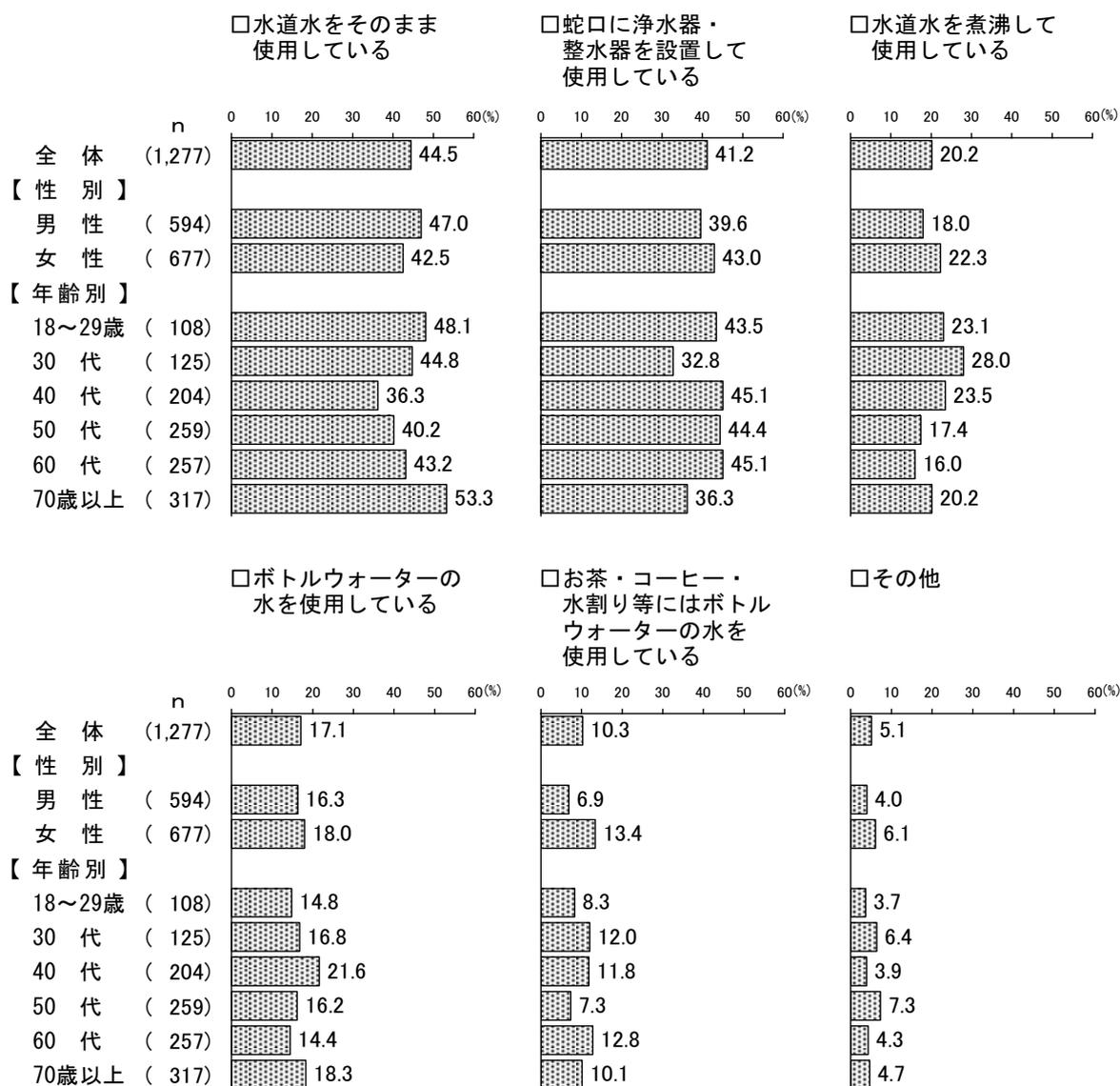
- ※「蛇口に浄水器・整水器を設置して使用している」は、平成 25 年度までは「浄水器・整水器の水を使用している」となっていた。
- ※「ボトルウォーターの水を使用している」は、平成 25 年度では「ペットボトルの水を使用している」となっていた。
- ※「お茶・コーヒー・水割り等にはボトルウォーターの水を使用している」は、平成 25 年度では「お茶・コーヒー・水割り等にはペットボトルの水を使用している」となっていた。

性別にみると、「お茶・コーヒー・水割り等にはボトルウォーターの水を使用している」は女性（13.4%）が男性（6.9%）より6.5ポイント高くなっている。一方、「水道水をそのまま使用している」は男性（47.0%）が女性（42.5%）より4.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「水道水をそのまま使用している」は70歳以上（53.3%）で5割を超えて高くなっている。「水道水を煮沸して使用している」は30代（28.0%）で3割近くと高くなっている。「ボトルウォーターの水を使用している」は40代（21.6%）で2割を超えて高くなっている。

(図1-2-3)

図1-2-3 飲み水や調理用の水として利用している水（性別・年齢別）

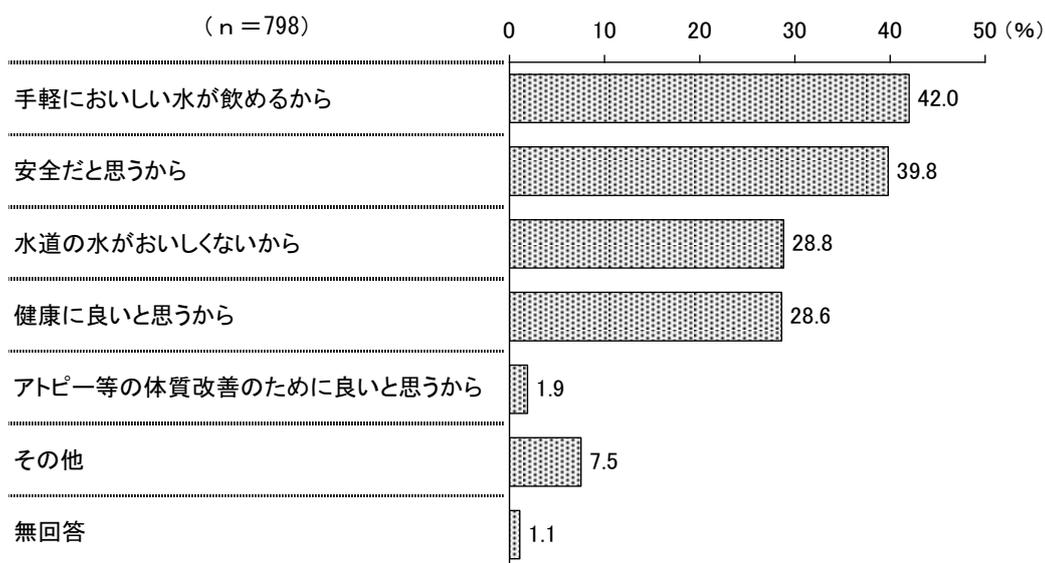


(3) 浄水器やボトルウォーターを利用する理由

◇「手軽においしい水が飲めるから」が4割を超える

(問2で、「蛇口に浄水器・整水器を設置して使用している」「ボトルウォーターの水を使用している」「お茶・コーヒー・水割り等にはボトルウォーターの水を使用している」「その他」とお答えの方に)
問2-1 その理由を選んでください。(〇はいくつでも)

図1-3-1 浄水器やボトルウォーターを利用する理由

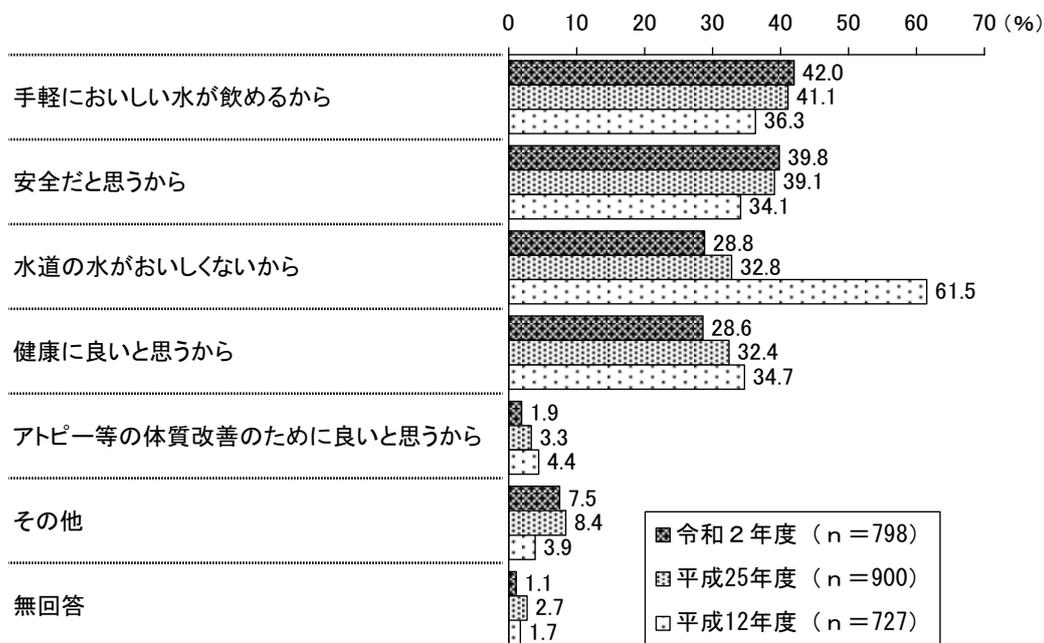


「蛇口に浄水器・整水器を設置して使用している」「ボトルウォーターの水を使用している」「お茶・コーヒー・水割り等にはボトルウォーターの水を使用している」「その他」と答えた人に、その理由を聞いたところ、「手軽においしい水が飲めるから」(42.0%)が4割を超えて最も高く、次いで「安全だと思うから」(39.8%)、「水道の水がおいしくないから」(28.8%)となっている。

(図1-3-1)

過去の調査と比較すると、「水道の水がおいしくないから」は平成 25 年度より 4.0 ポイント、「健康に良いと思うから」は平成 25 年度より 3.8 ポイント、それぞれ減少している。(図 1-3-2)

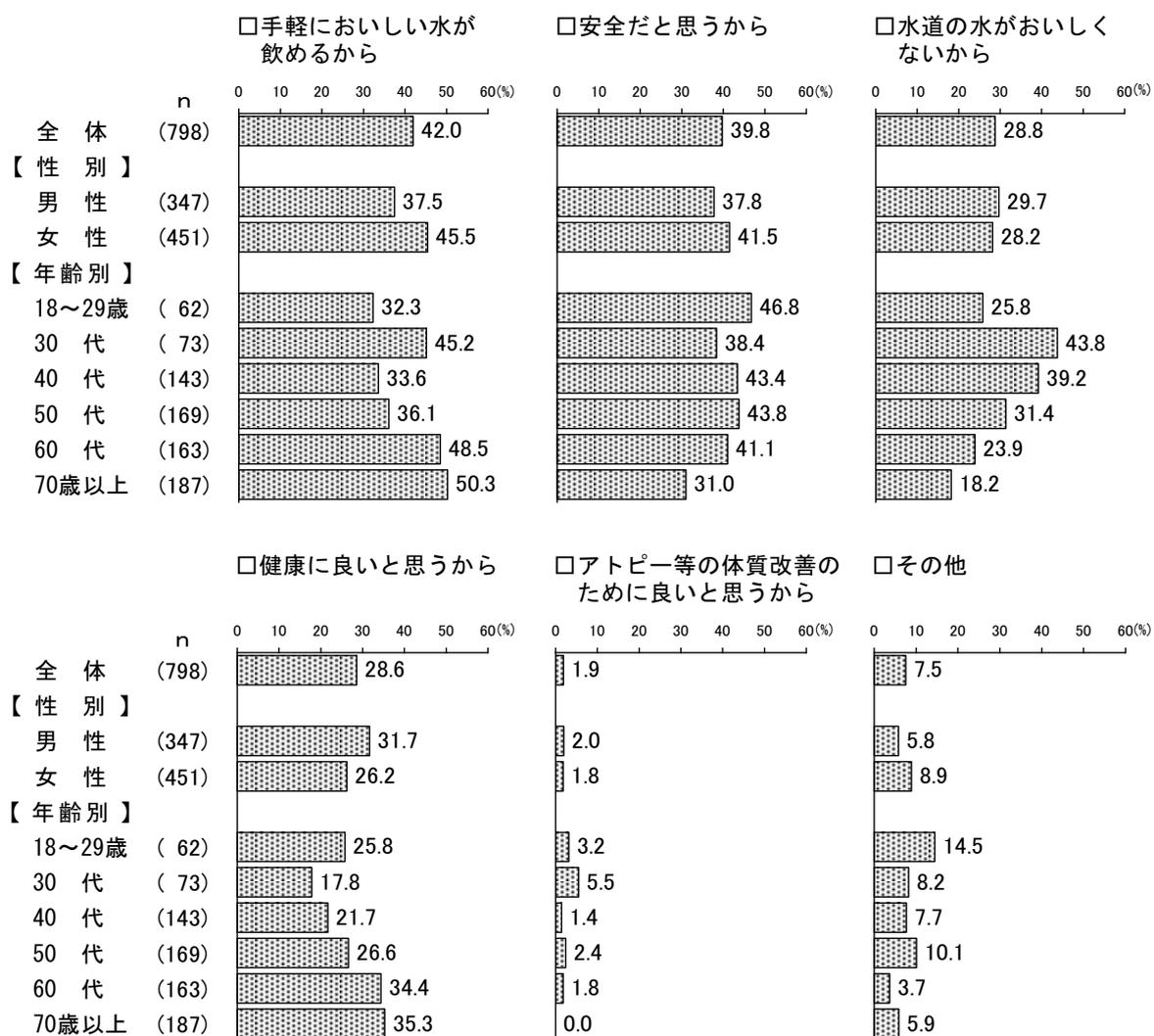
図 1-3-2 浄水器やボトルウォーターを利用する理由（経年比較）



性別にみると、「手軽においしい水が飲めるから」は女性（45.5%）が男性（37.5%）より8.0ポイント高くなっている。一方、「健康に良いと思うから」は男性（31.7%）が女性（26.2%）より5.5ポイント高くなっている。

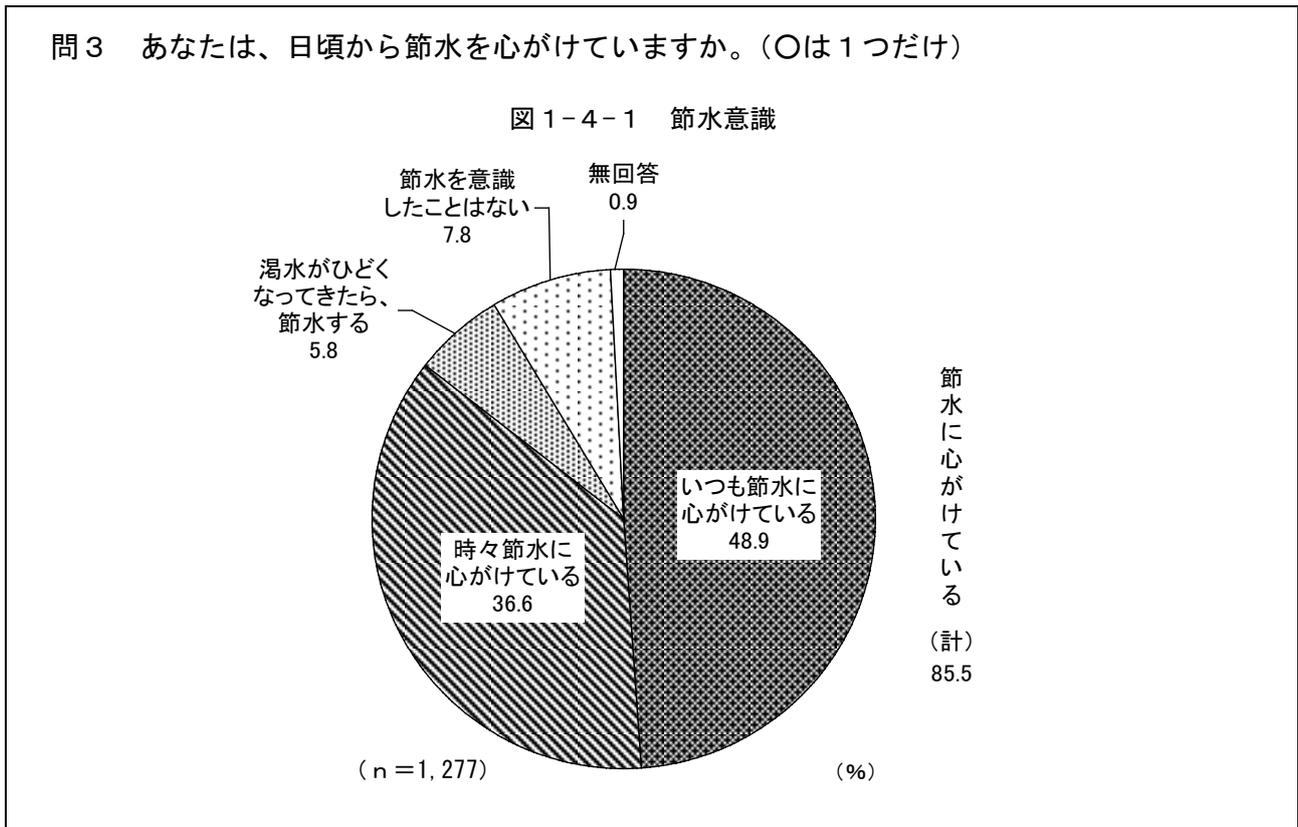
年齢別にみると、「手軽においしい水が飲めるから」は70歳以上（50.3%）で5割と高くなっている。「安全だと思うから」は18～29歳（46.8%）で5割近くと高くなっている。「水道の水がおいしくないから」は30代（43.8%）で4割を超えて高くなっている。（図1-3-3）

図1-3-3 浄水器やボトルウォーターを利用する理由（性別・年齢別）



(4) 節水意識

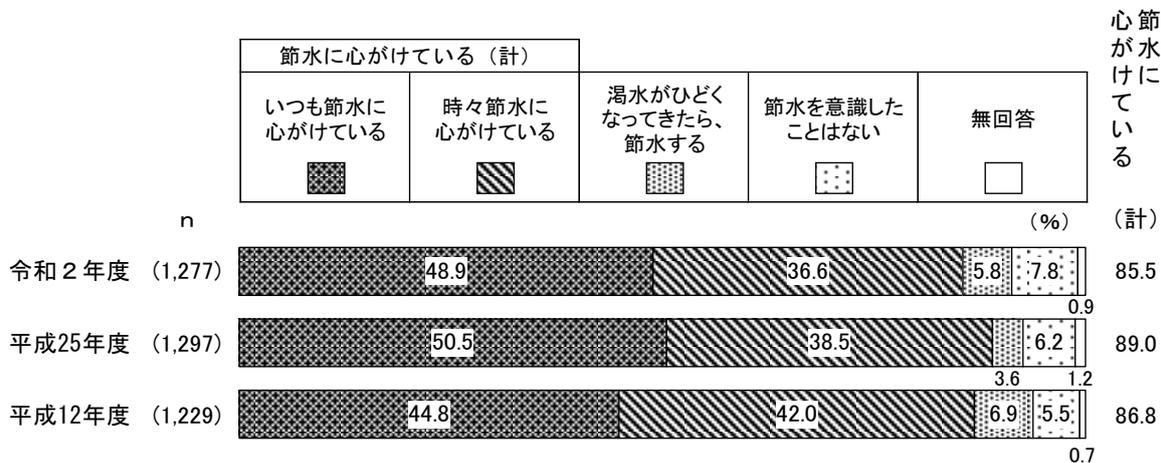
◇『節水に心がけている(計)』が8割半ば



日頃から節水を心がけているか聞いたところ、「いつも節水に心がけている」(48.9%)が5割近くで最も高く、これに「時々節水に心がけている」(36.6%)を合わせた『節水に心がけている(計)』(85.5%)は8割半ばとなっている。一方、「湧水がひどくなってきたら、節水する」(5.8%)と「節水を意識したことはない」(7.8%)はともに1割未満となっている。(図1-4-1)

過去の調査と比較すると、『節水に心がけている(計)』は平成25年度より3.5ポイント減少している。(図1-4-2)

図1-4-2 節水意識(経年比較)

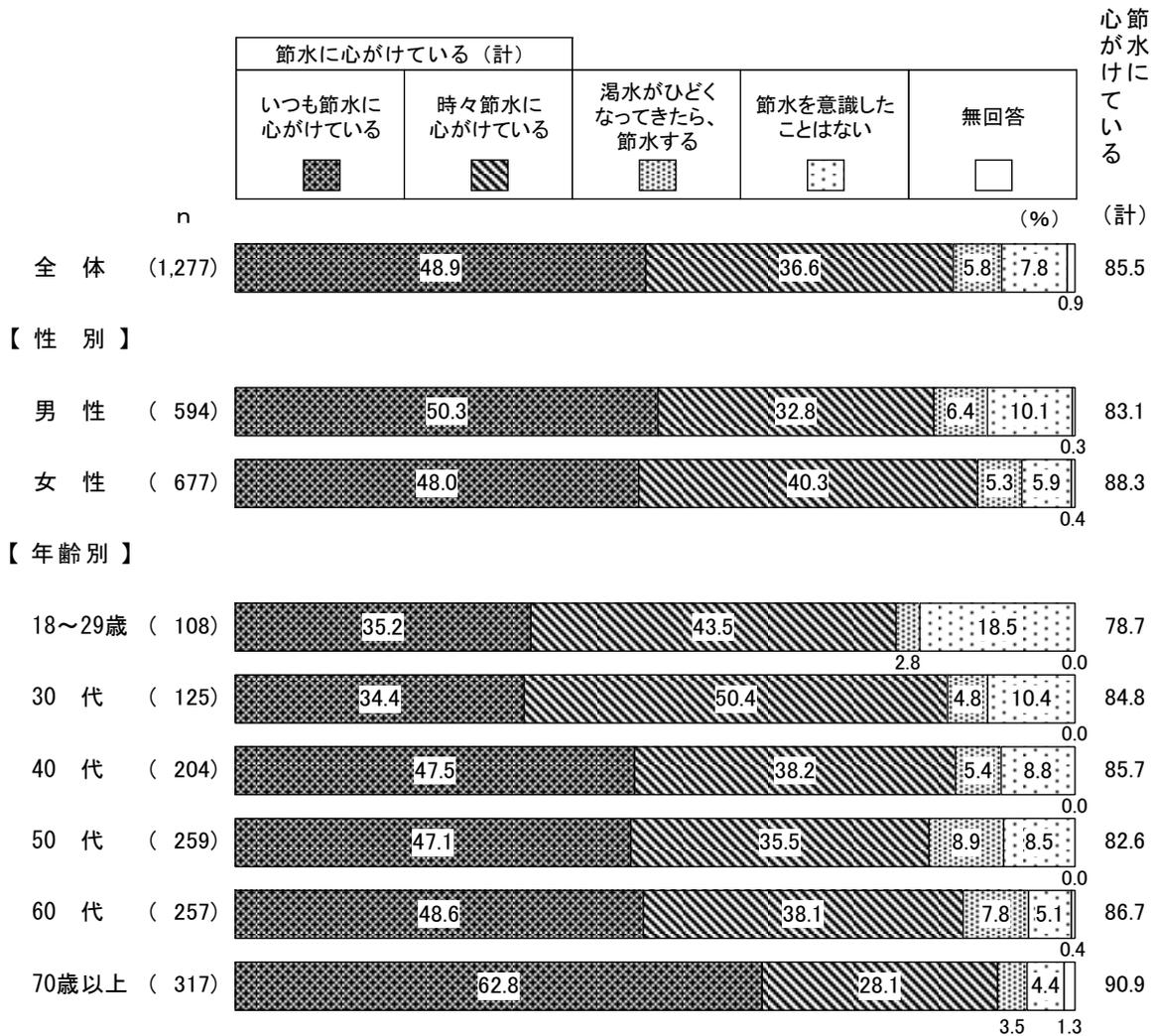


性別にみると、『節水に心がけている（計）』は女性（88.3%）が男性（83.1%）より5.2ポイント高くなっている。一方、「節水を意識したことはない」は男性（10.1%）が女性（5.9%）より4.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『節水に心がけている（計）』は70歳以上（90.9%）で約9割と高くなっている。

（図1-4-3）

図1-4-3 節水意識（性別・年齢別）



(5) 節水方法

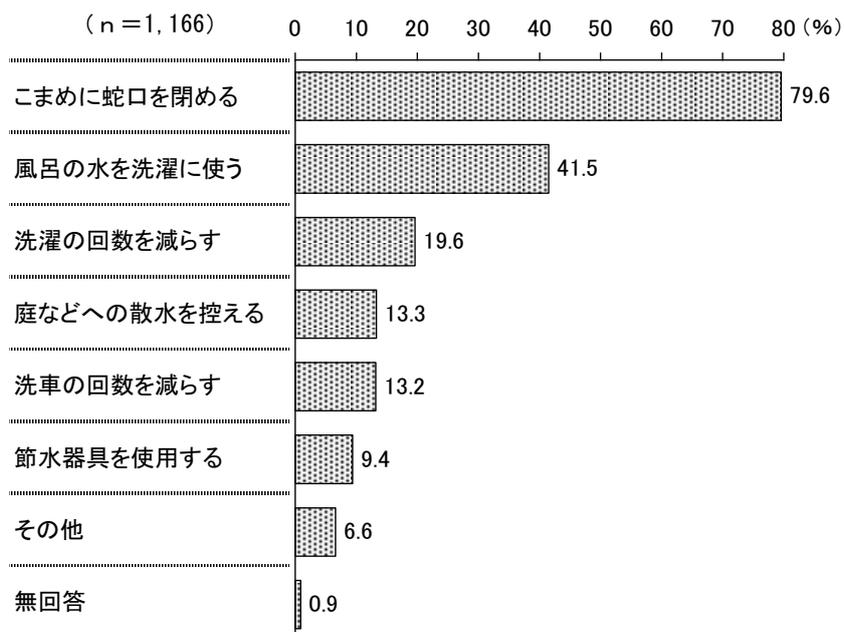
◇「こまめに蛇口を閉める」が8割

(問3で、「いつも節水に心がけている」「時々節水に心がけている」「湯水がひどくなってきたら、節水する」とお答えの方に)

問3-1 具体的にどのような節水をしていますか。次の中から選んでください。

(○はいくつでも)

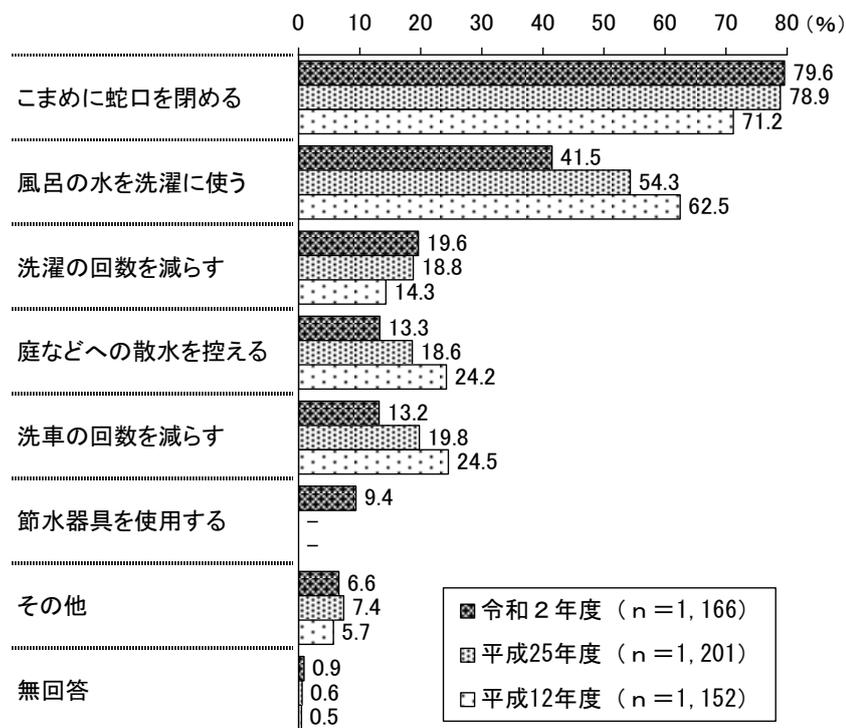
図1-5-1 節水方法



節水意識で、「いつも節水に心がけている」「時々節水に心がけている」「湯水がひどくなってきたら、節水する」と答えた人に、具体的にどのような節水をしているか聞いたところ、「こまめに蛇口を閉める」(79.6%)が8割で最も高く、次いで「風呂の水を洗濯に使う」(41.5%)、「洗濯の回数を減らす」(19.6%)、「庭などへの散水を控える」(13.3%)となっている。(図1-5-1)

過去の調査と比較すると、「風呂の水を洗濯に使う」は平成 25 年度より 12.8 ポイント、「洗車の回数を減らす」は平成 25 年度より 6.6 ポイント、「庭などへの散水を控える」は平成 25 年度より 5.3 ポイント、それぞれ減少している。(図 1-5-2)

図 1-5-2 節水方法（経年比較）

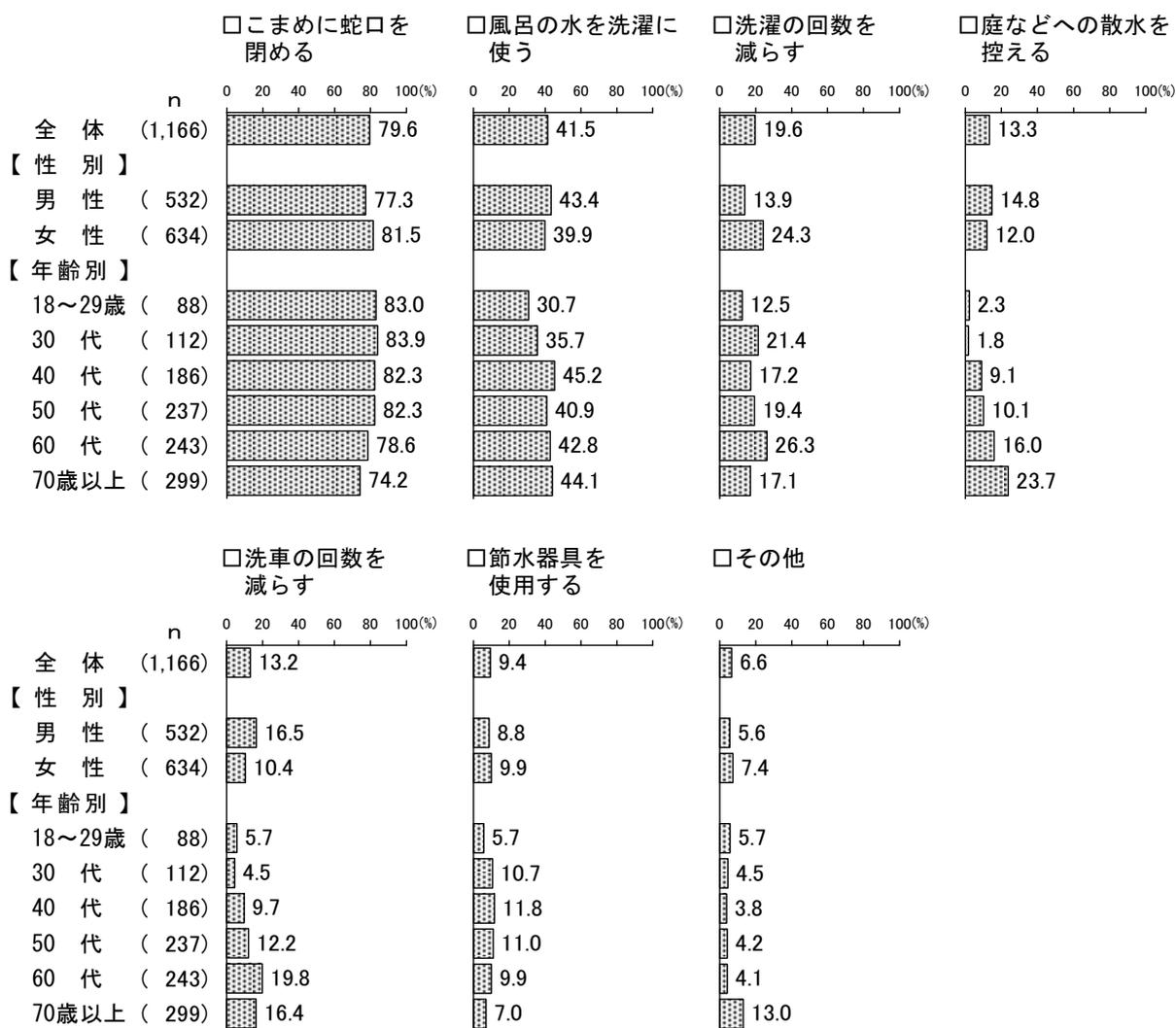


※「節水器具を使用する」は、令和2年度から追加された選択肢。

性別にみると、「洗濯の回数を減らす」は女性（24.3%）が男性（13.9%）より10.4ポイント高くなっている。一方、「洗車の回数を減らす」は男性（16.5%）が女性（10.4%）より6.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「洗濯の回数を減らす」は60代（26.3%）で2割半ばと高くなっている。「庭などへの散水を控える」はおおむね年齢が上がるほど割合が高く、70歳以上（23.7%）で2割を超えて高くなっている。（図1-5-3）

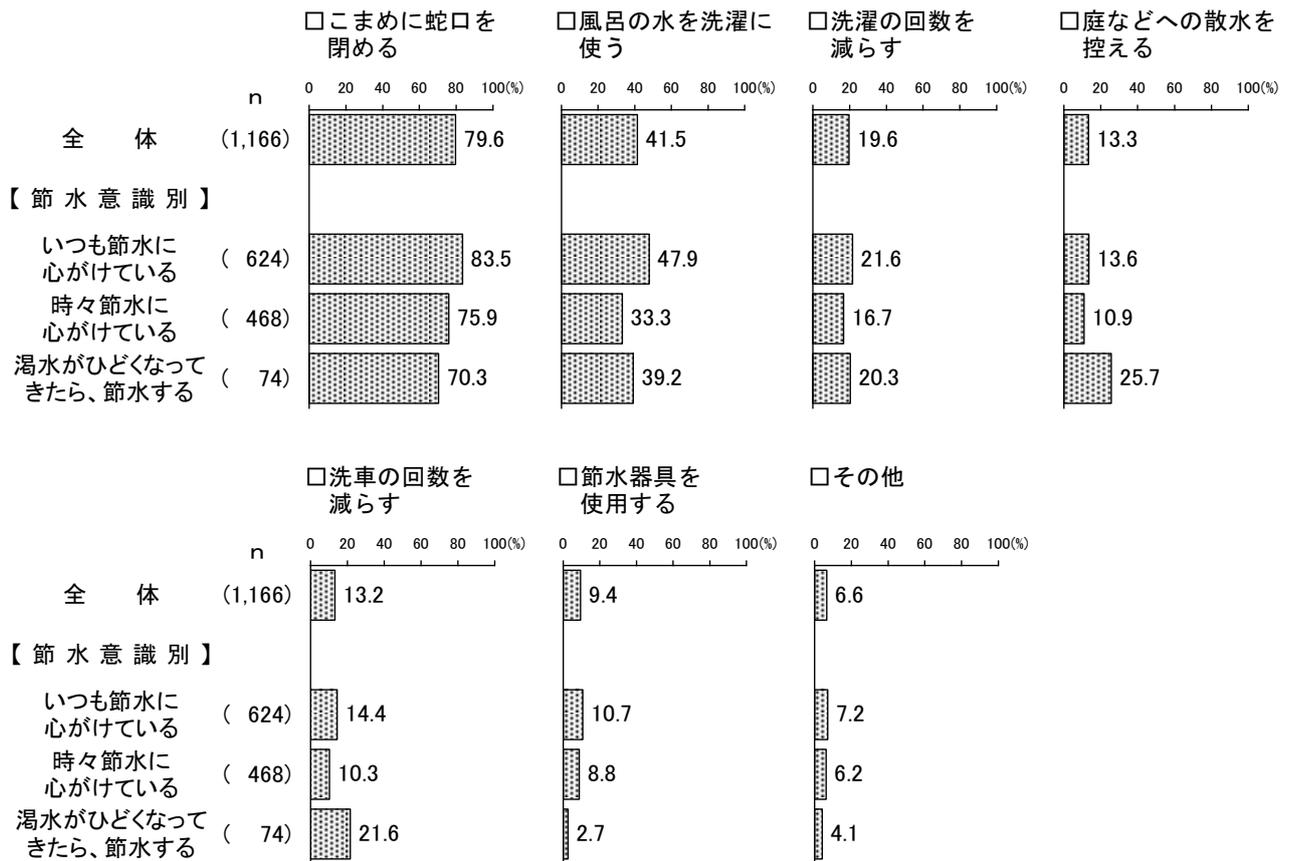
図1-5-3 節水方法（性別・年齢別）



節水意識別にみると、「こまめに蛇口を閉める」は節水意識が高くなるほど割合が高く、“いつも節水に心がけている人”（83.5%）で8割を超えて高くなっている。「風呂の水を洗濯に使う」は“いつも節水に心がけている人”（47.9%）で5割近くと高くなっている。「庭などへの散水を控える」は“喝水がひどくなってきたら、節水する人”（25.7%）で2割半ばと高くなっている。

(図1-5-4)

図1-5-4 節水方法（節水意識別）



2. 防災対策について

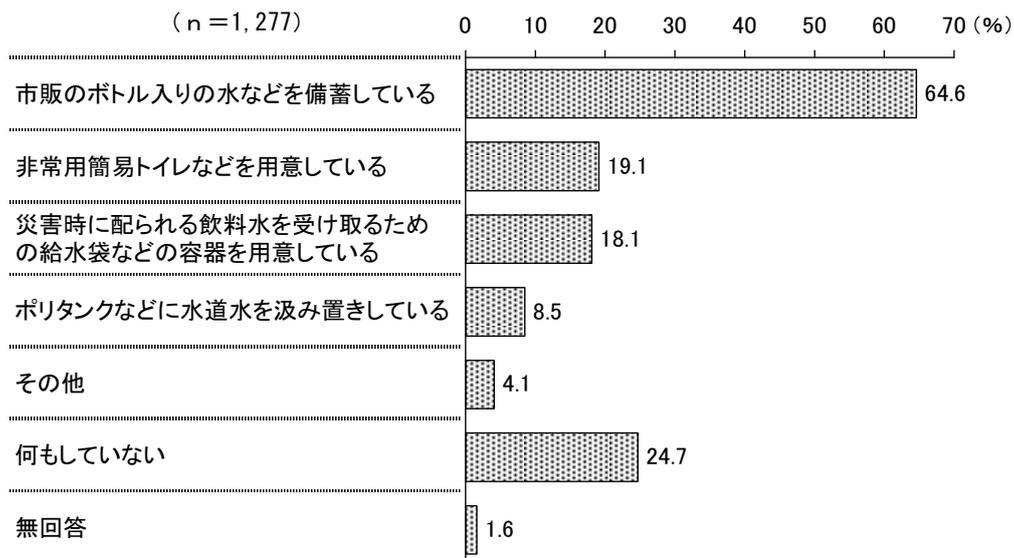
(1) 災害時に対する備え

◇「市販のボトル入りの水などを備蓄している」が6割半ば

問4 あなたのご家庭では、災害時に対する備えをどのようにしていますか。

(○はいくつでも)

図2-1-1 災害時に対する備え

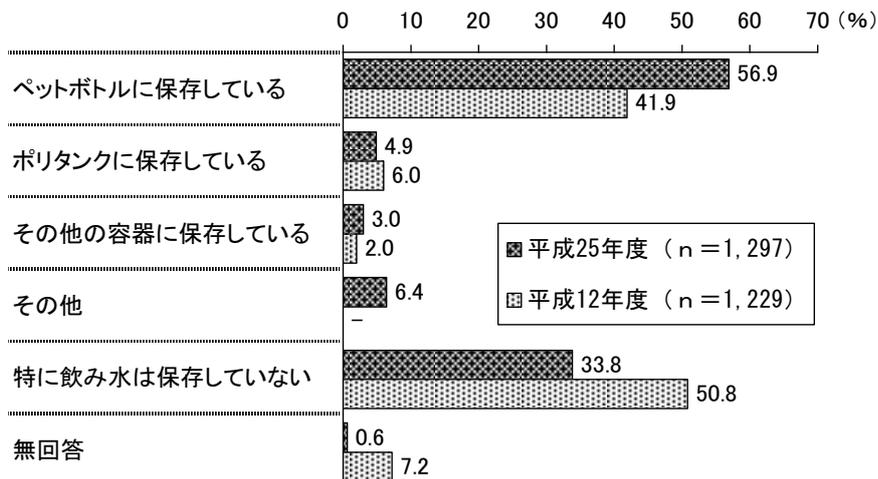


家庭での災害時に対する備えを聞いたところ、「市販のボトル入りの水などを備蓄している」(64.6%)が6割半ばで最も高く、次いで「非常用簡易トイレなどを用意している」(19.1%)、「災害時に配られる飲料水を受け取るための給水袋などの容器を用意している」(18.1%)となっている。一方、「何もしていない」(24.7%)は2割半ばとなっている。(図2-1-1)

過去の調査との比較は、選択肢が大幅に異なるため、過年度結果を参考に図示する。

(図2-1-2)

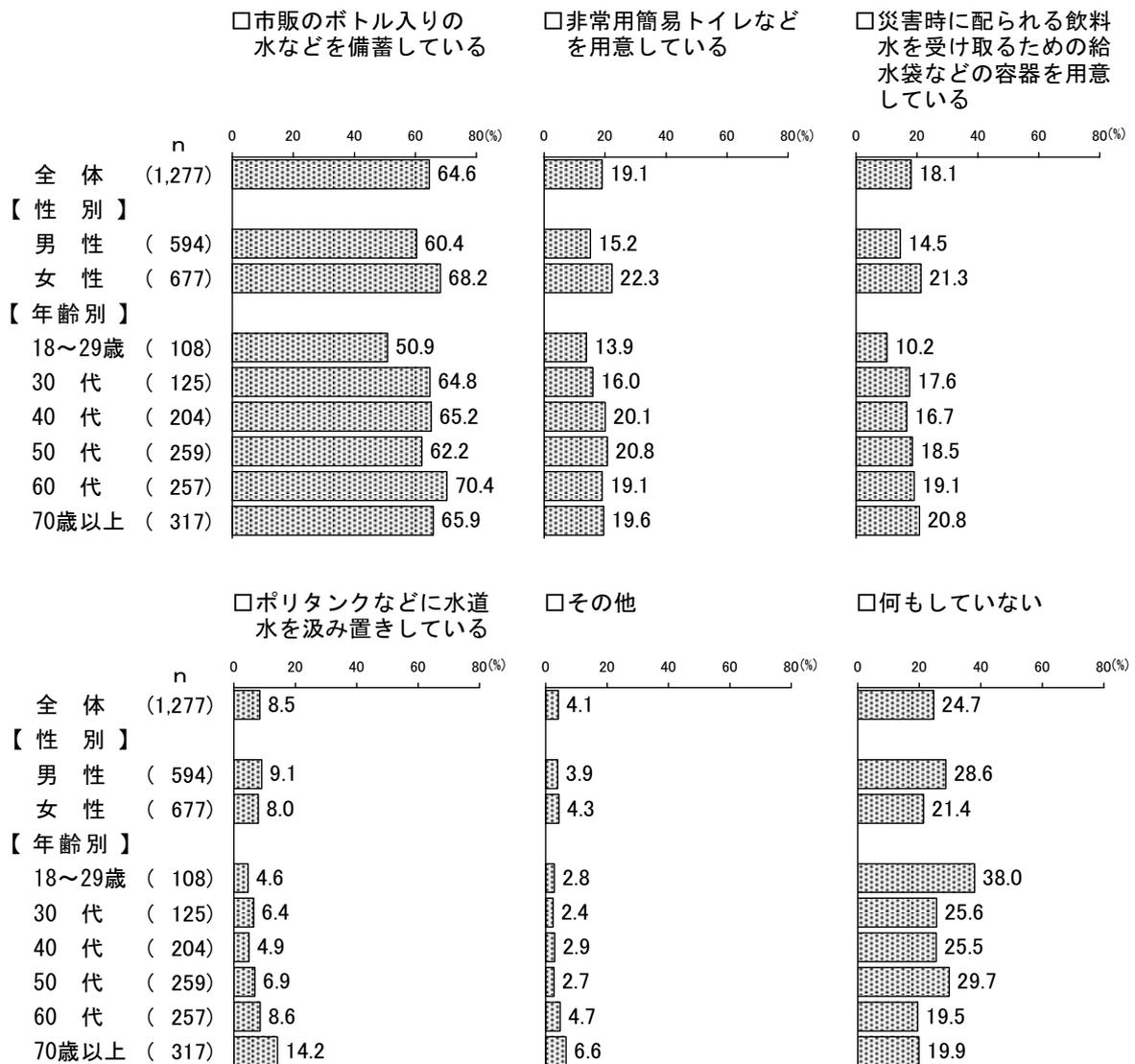
図2-1-2 災害時に対する備え (過年度結果)



性別にみると、「市販のボトル入りの水などを備蓄している」は女性（68.2%）が男性（60.4%）より7.8ポイント、「非常用簡易トイレなどを用意している」は女性（22.3%）が男性（15.2%）より7.1ポイント、「災害時に配られる飲料水を受け取るための給水袋などの容器を用意している」は女性（21.3%）が男性（14.5%）より6.8ポイント、それぞれ高くなっている。

年齢別にみると、「市販のボトル入りの水などを備蓄している」は60代（70.4%）で7割と高くなっている。「何もしていない」は18～29歳（38.0%）で4割近くと高くなっている。（図2-1-3）

図2-1-3 災害時に対する備え（性別・年齢別）

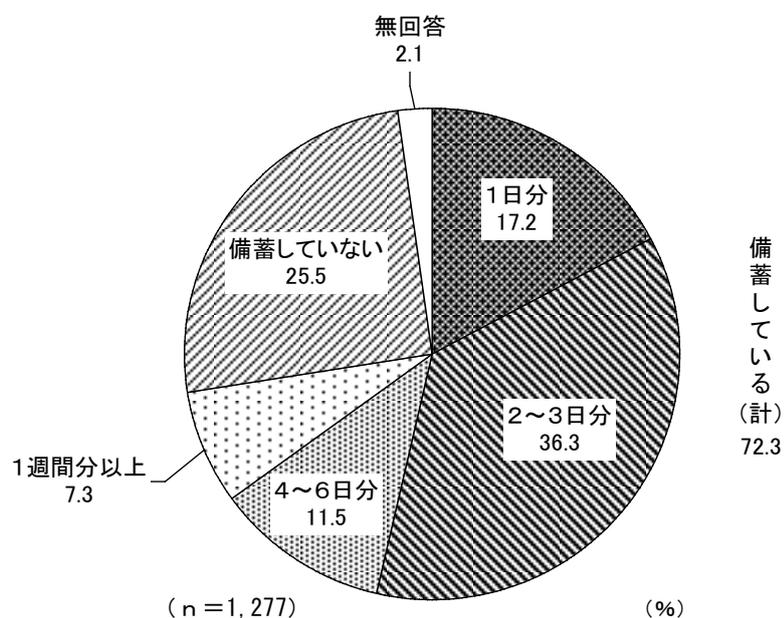


(2) 水の備蓄量

◇「2～3日分」が3割半ば

問5 人が生命を維持するため必要な水の量は、1人1日3リットルとされています。
あなたのご家庭では、何日分の水を備蓄していますか。(○は1つだけ)

図2-2-1 水の備蓄量

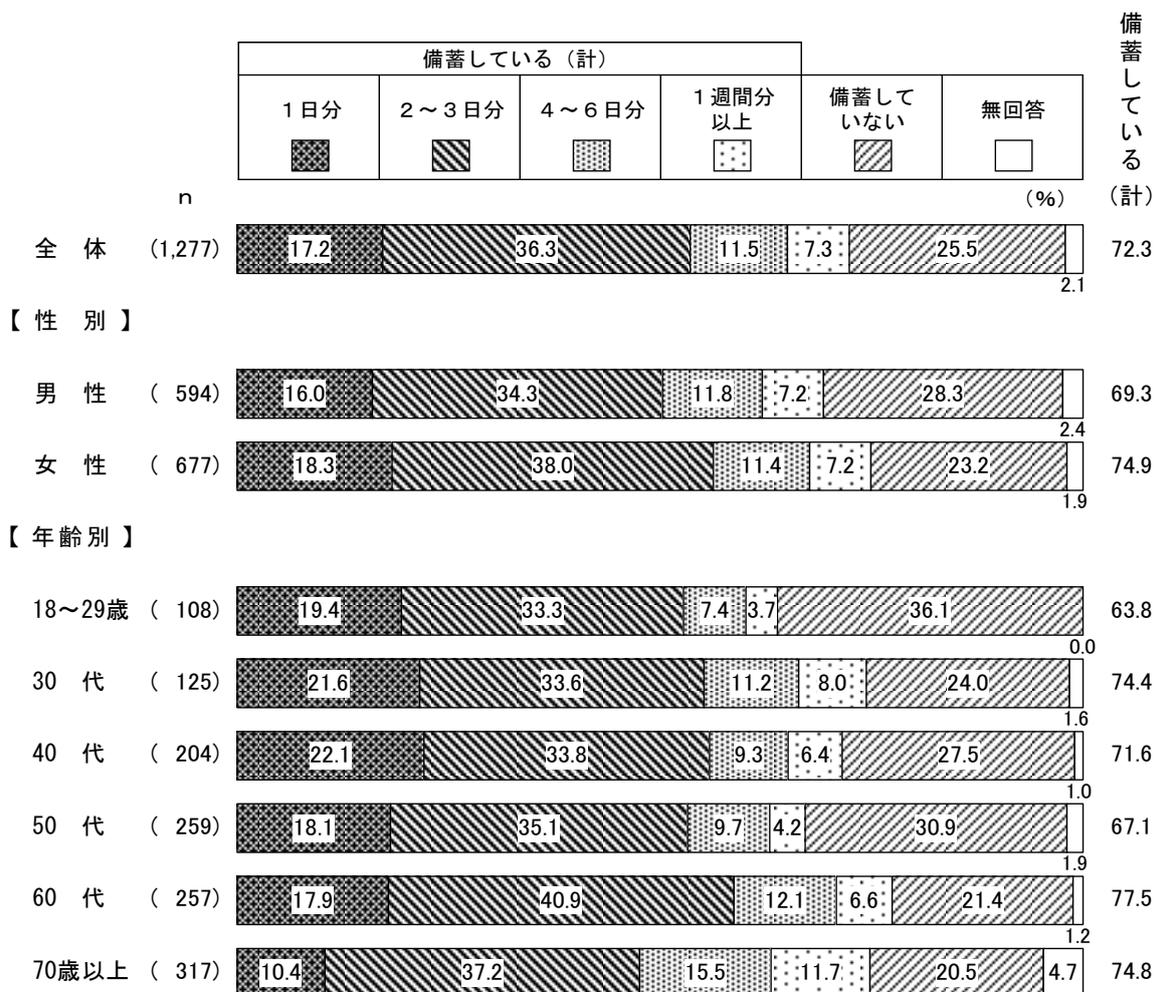


何日分の水を備蓄しているか聞いたところ、「2～3日分」(36.3%)が3割半ばで最も高く、これに「1日分」(17.2%)、「4～6日分」(11.5%)、「1週間分以上」(7.3%)を合わせた『備蓄している(計)』(72.3%)は7割を超えている。一方、「備蓄していない」(25.5%)は2割半ばとなっている。(図2-2-1)

性別にみると、「2～3日分」は女性（38.0%）が男性（34.3%）より3.7ポイント高くなっている。一方、「備蓄していない」は男性（28.3%）が女性（23.2%）より5.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「2～3日分」は60代（40.9%）で約4割と高くなっている。「備蓄していない」は18～29歳（36.1%）で3割半ばと高くなっている。（図2-2-2）

図2-2-2 水の備蓄量（性別・年齢別）

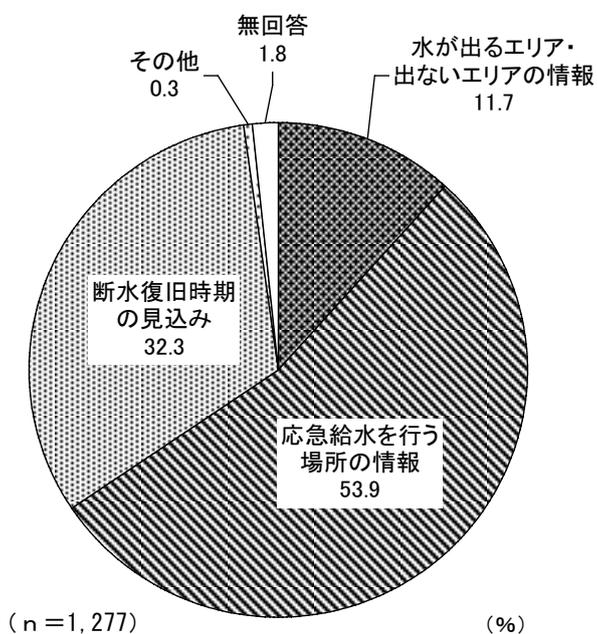


(3) 断水時に一番早く知りたい情報

◇「応急給水を行う場所の情報」が5割を超える

問6 大規模な災害等で一時的な断水となった場合に、一番早く知りたい情報は何ですか。
(○は1つだけ)

図2-3-1 断水時に一番早く知りたい情報

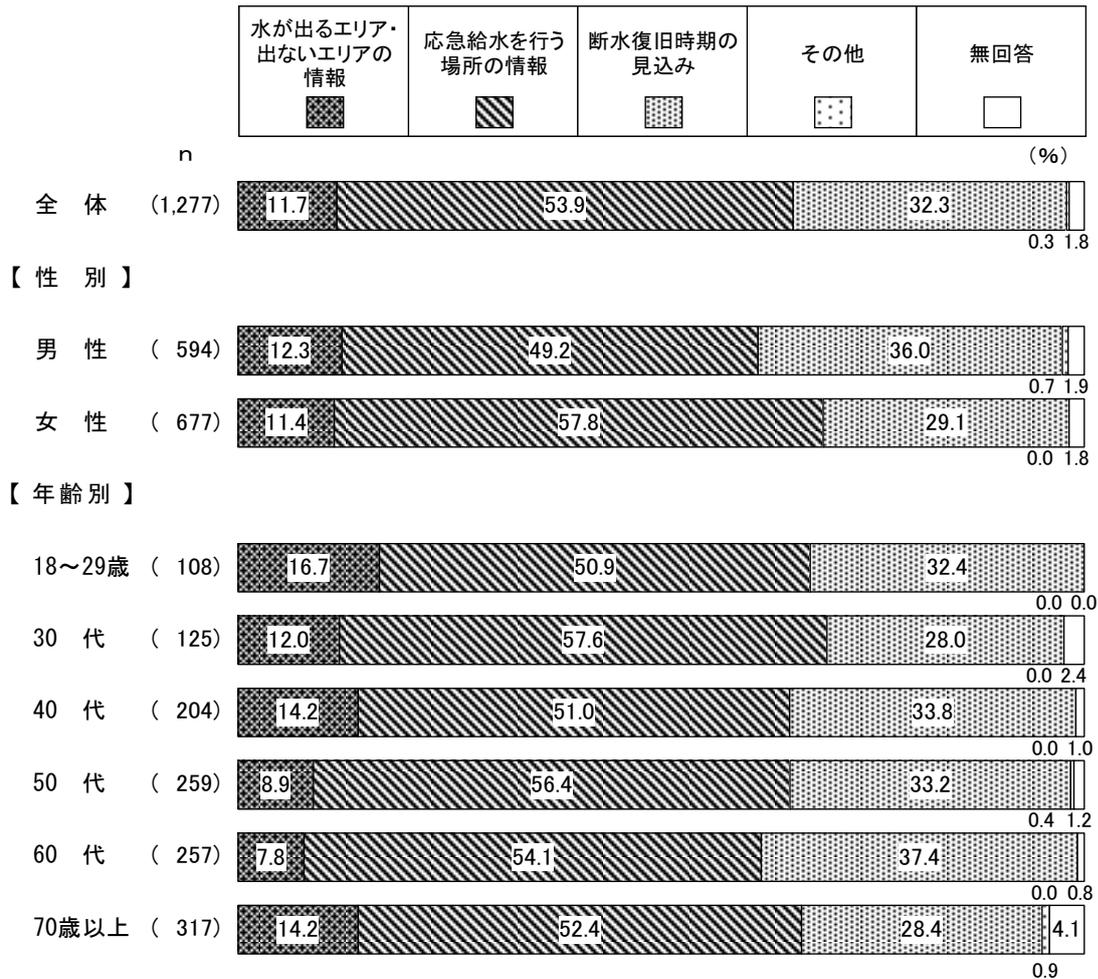


断水時に一番早く知りたい情報を聞いたところ、「応急給水を行う場所の情報」(53.9%)が5割を超えて最も高く、次いで「断水復旧時期の見込み」(32.3%)、「水が出るエリア・出ないエリアの情報」(11.7%)となっている。(図2-3-1)

性別にみると、「応急給水を行う場所の情報」は女性（57.8%）が男性（49.2%）より8.6ポイント高くなっている。一方、「断水復旧時期の見込み」は男性（36.0%）が女性（29.1%）より6.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「応急給水を行う場所の情報」は30代（57.6%）で6割近くと高くなっている。「断水復旧時期の見込み」は60代（37.4%）で4割近くと高くなっている。（図2-3-2）

図2-3-2 断水時に一番早く知りたい情報（性別・年齢別）



(4) 「応急給水所」の認知度

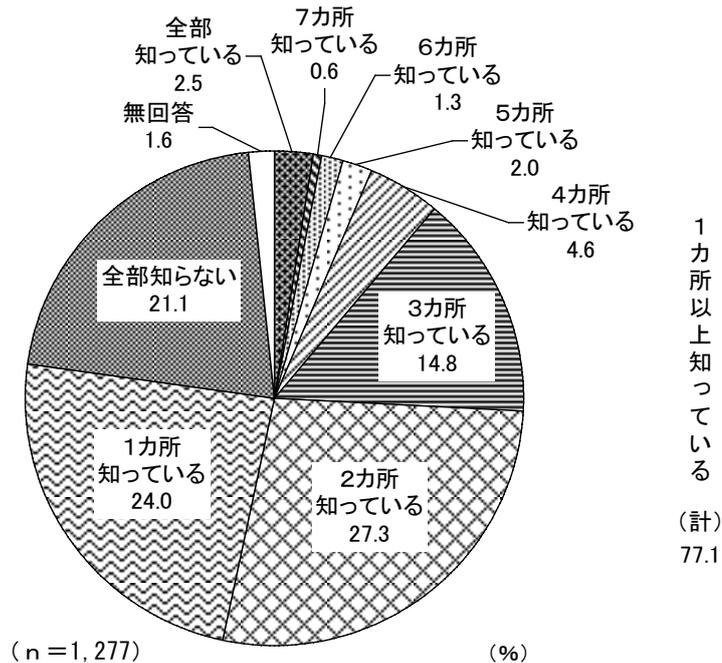
◇「2カ所知っている」が3割近く、「全部知らない」は2割を超える

問7 上下水道部では上下水道部防災計画を策定しています。万が一の災害等に備え、飲料水を供給する場所として、「応急給水所」を次の8カ所に指定しています。

【入間市役所・東金子支所・金子支所・宮寺支所・藤沢支所・西武支所・黒須出張所・東藤沢出張所】

上記8カ所のうち、所在地の分かるものは何カ所ありますか。(〇は1つだけ)

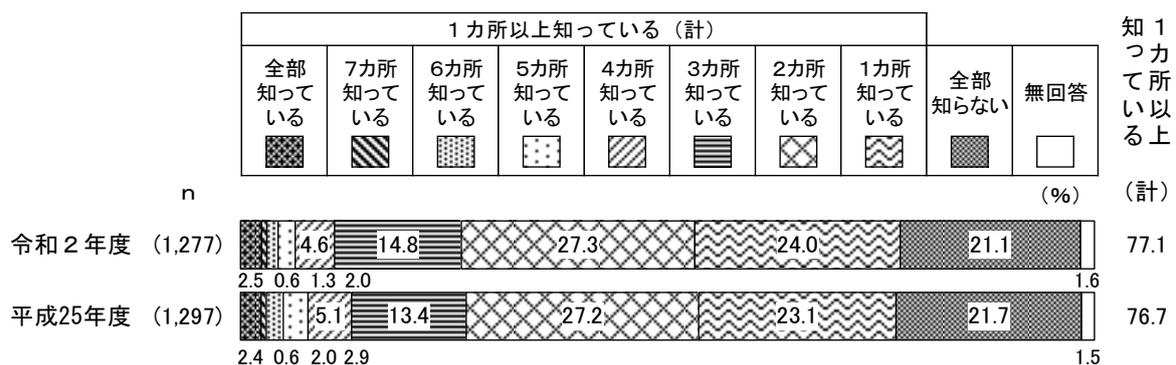
図2-4-1 「応急給水所」の認知度



「応急給水所」の所在地が分かるものは何カ所あるか聞いたところ、「2カ所知っている」(27.3%)が3割近くで最も高く、次いで「1カ所知っている」(24.0%)が2割半ばで、知っている割合を合わせた『1カ所以上知っている (計)』(77.1%)は8割近くとなっている。一方、「全部知らない」(21.1%)は2割を超えている。(図2-4-1)

過去の調査と比較すると、平成25年度と比べて大きな傾向の変化はみられない。(図2-4-2)

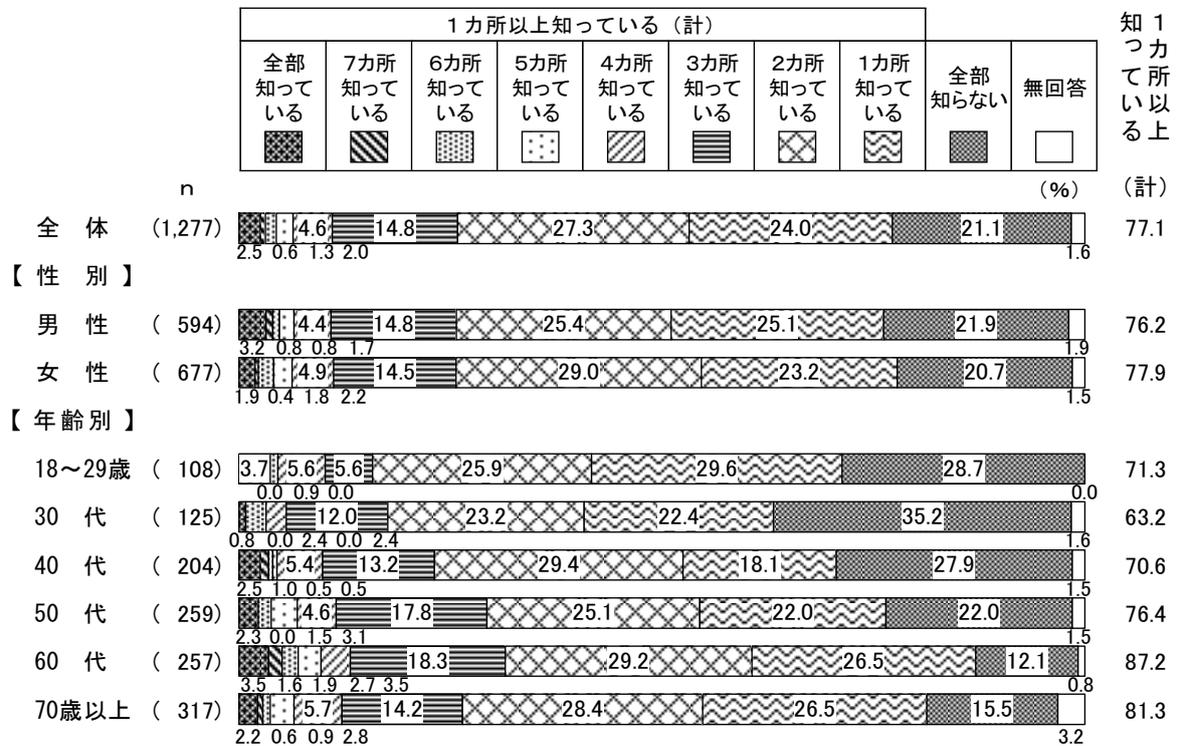
図2-4-2 「応急給水所」の認知度 (経年比較)



性別にみると、「2カ所知っている」は女性（29.0%）が男性（25.4%）より3.6ポイント高くなっている。

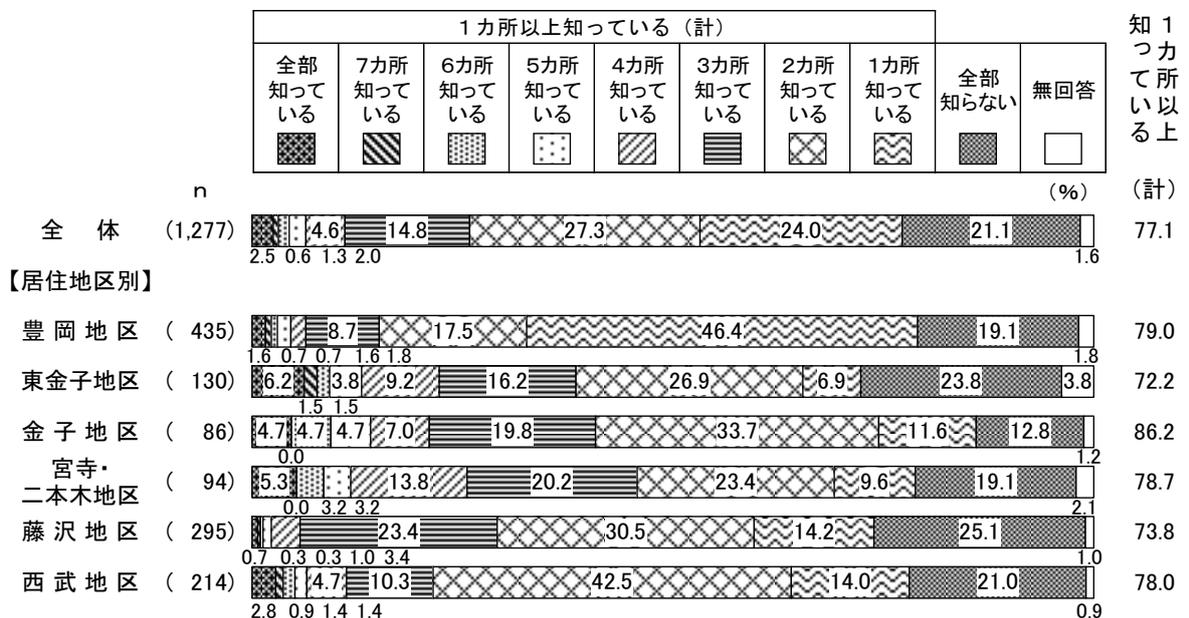
年齢別にみると、『1カ所以上知っている（計）』は60代（87.2%）で9割近くと高くなっている。一方、「全部知らない」は30代（35.2%）で3割半ばと高くなっている。（図2-4-3）

図2-4-3 「応急給水所」の認知度（性別・年齢別）



居住地区別にみると、『1カ所以上知っている（計）』は金子地区（86.2%）で8割半ばと高くなっている。一方、「全部知らない」は藤沢地区（25.1%）で2割半ばと高くなっている。（図2-4-4）

図2-4-4 「応急給水所」の認知度（居住地区別）



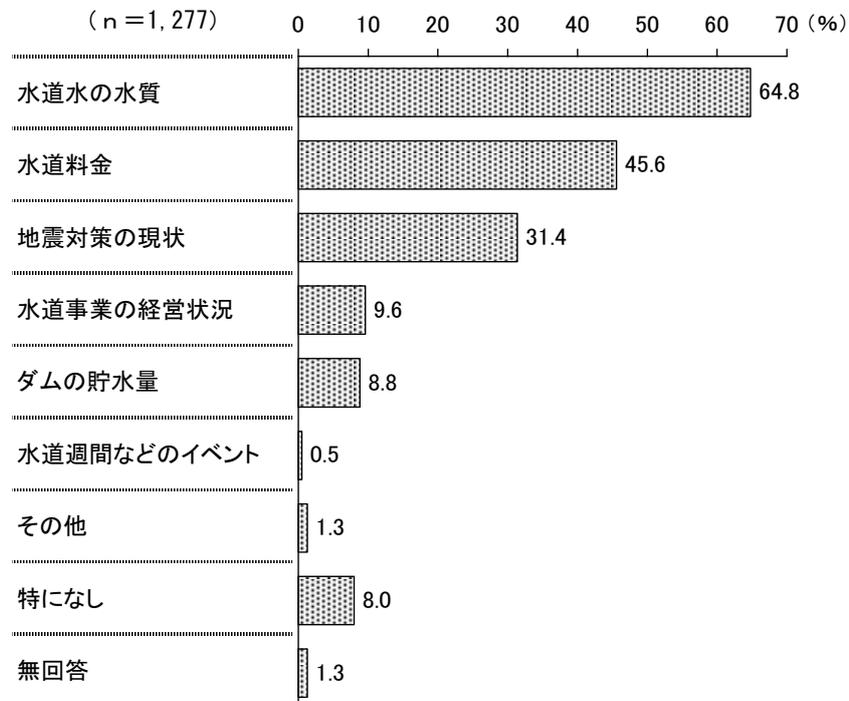
3. 上下水道部からの広報について

(1) 水道に関して知りたい情報

◇「水道水の水質」が6割半ば

問8 あなたは、水道に関してどのような情報を知りたいと思いますか。(○は2つまで)

図3-1-1 水道に関して知りたい情報

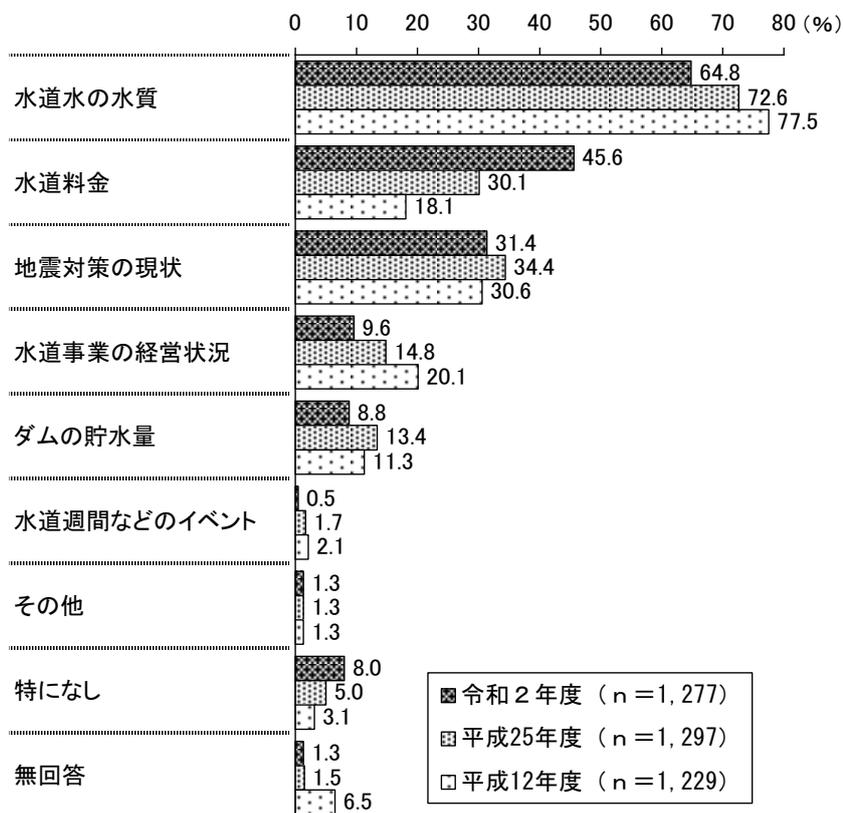


水道に関してどのような情報を知りたいか聞いたところ、「水道水の水質」(64.8%)が6割半ばで最も高く、次いで「水道料金」(45.6%)、「地震対策の現状」(31.4%)となっている。

(図3-1-1)

過去の調査と比較すると、「水道料金」は平成 25 年度より 15.5 ポイント増加している。一方、「水道水の水質」は平成 25 年度より 7.8 ポイント、「水道事業の経営状況」は平成 25 年度より 5.2 ポイント、それぞれ減少している。(図 3-1-2)

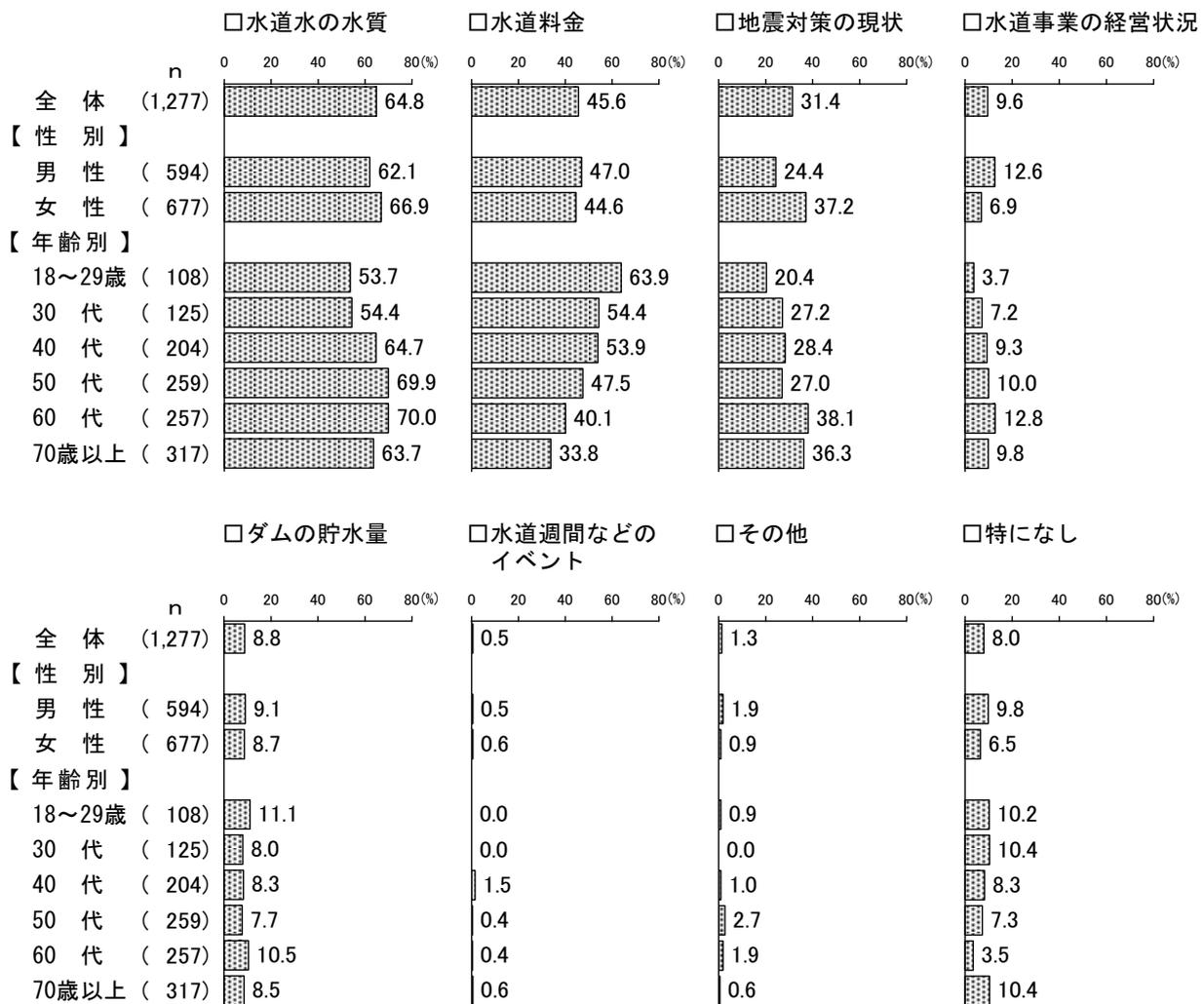
図 3-1-2 水道に関して知りたい情報（経年比較）



性別にみると、「地震対策の現状」は女性（37.2%）が男性（24.4%）より12.8ポイント高くなっている。一方、「水道事業の経営状況」は男性（12.6%）が女性（6.9%）より5.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「水道水の水質」は50代（69.9%）と60代（70.0%）で7割と高くなっている。「水道料金」は年齢が下がるほど割合が高く、18～29歳（63.9%）で6割を超えて高くなっている。（図3-1-3）

図3-1-3 水道に関して知りたい情報（性別・年齢別）

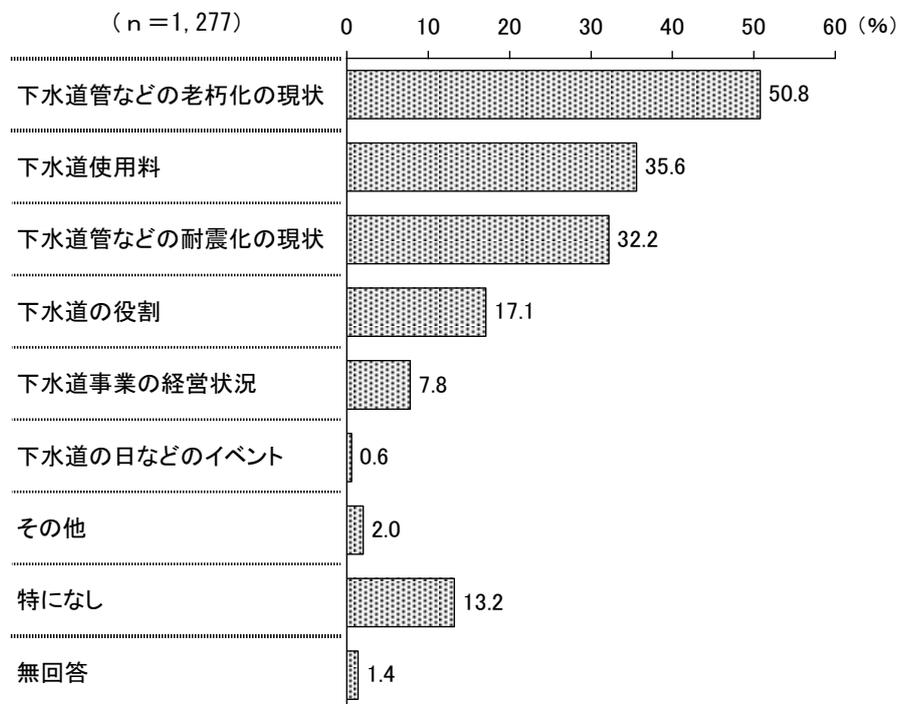


(2) 下水道に関して知りたい情報

◇「下水道管などの老朽化の現状」が約5割

問9 あなたは、下水道に関してどのような情報を知りたいと思いますか。(○は2つまで)

図3-2-1 下水道に関して知りたい情報

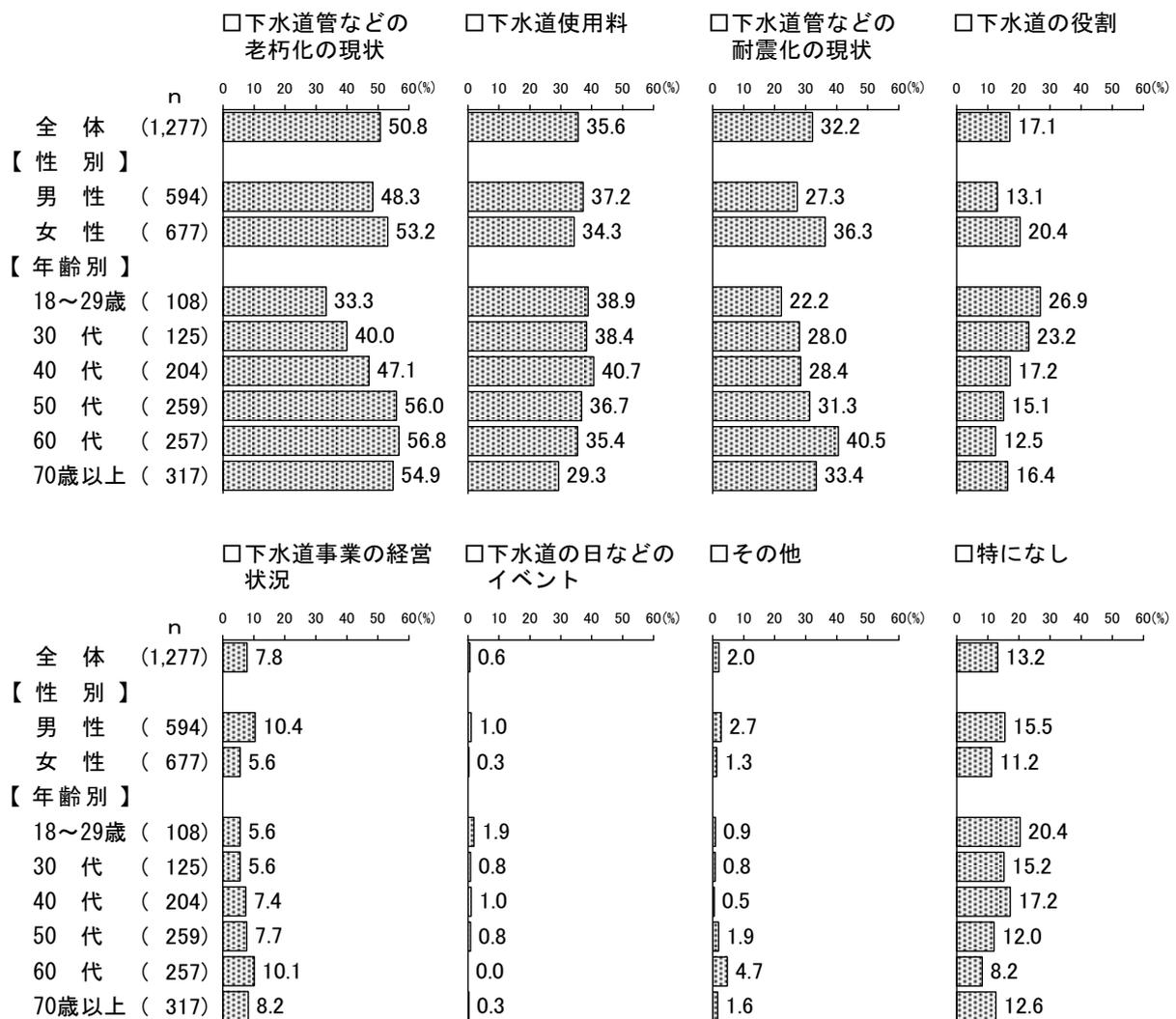


下水道に関してどのような情報を知りたいか聞いたところ、「下水道管などの老朽化の現状」(50.8%)が約5割で最も高く、次いで「下水道使用料」(35.6%)、「下水道管などの耐震化の現状」(32.2%)となっている。(図3-2-1)

性別にみると、「下水道管などの耐震化の現状」は女性（36.3%）が男性（27.3%）より9.0ポイント、「下水道の役割」は女性（20.4%）が男性（13.1%）より7.3ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「下水道事業の経営状況」は男性（10.4%）が女性（5.6%）より4.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「下水道管などの老朽化の現状」は50代（56.0%）、60代（56.8%）、70歳以上（54.9%）で5割台と高くなっている。「下水道管などの耐震化の現状」は60代（40.5%）で約4割と高くなっている。（図3-2-2）

図3-2-2 下水道に関して知りたい情報（性別・年齢別）

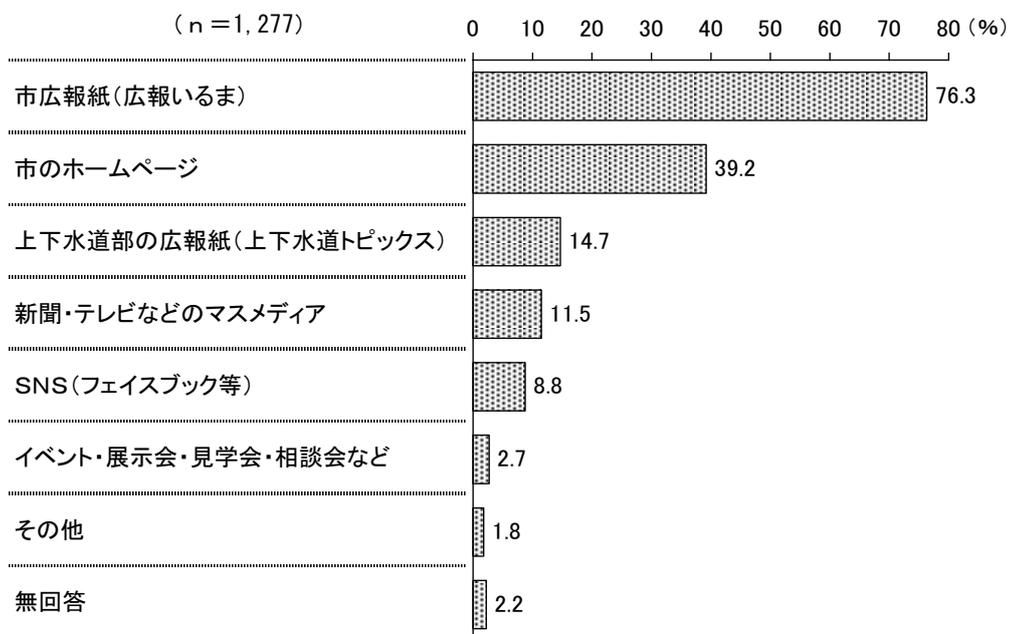


(3) 情報提供手段

◇「市広報紙（広報いるま）」が7割半ば

問10 問8、問9のような情報を、あなたは、どのような方法で知らせてほしいと思いますか。(〇は2つまで)

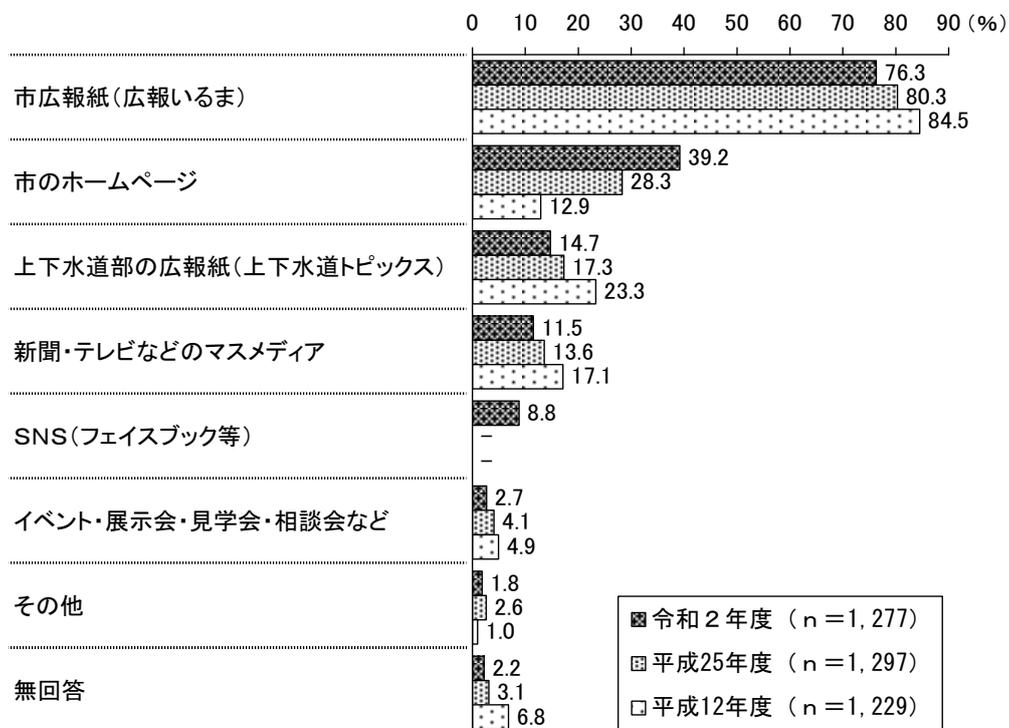
図3-3-1 情報提供手段



情報をどのような方法で知らせてほしいか聞いたところ、「市広報紙（広報いるま）」（76.3%）が7割半ばで最も高く、次いで「市のホームページ」（39.2%）、「上下水道部の広報紙（上下水道トピックス）」（14.7%）となっている。（図3-3-1）

過去の調査と比較すると、「市のホームページ」は平成 25 年度より 10.9 ポイント増加している。一方、「市広報紙（広報いるま）」は平成 25 年度より 4.0 ポイント減少している。（図 3-3-2）

図 3-3-2 情報提供手段（経年比較）



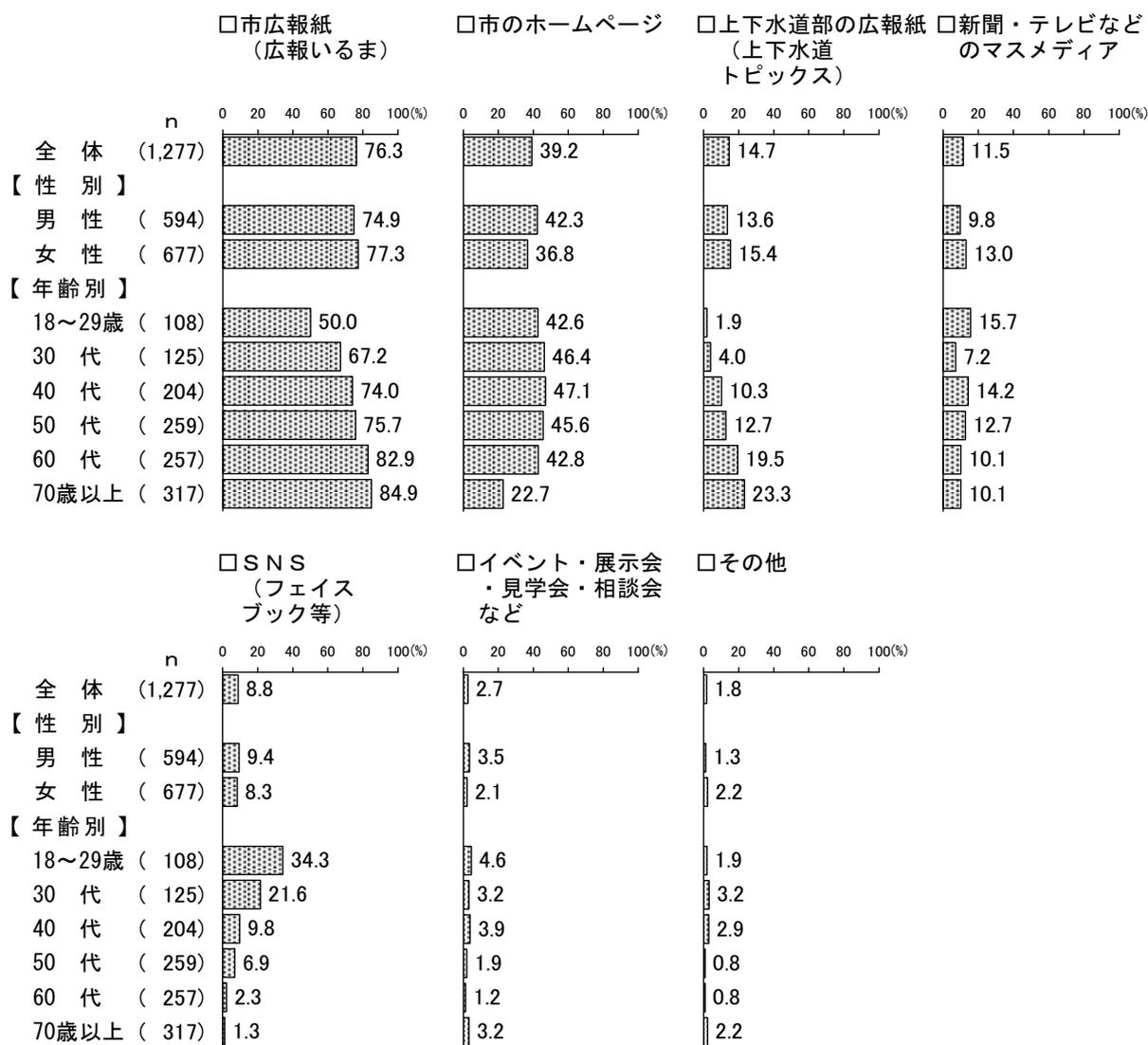
※「上下水道部の広報紙（上下水道トピックス）」は、平成 25 年度では「水道専用の広報紙（水道トピックス）」、平成 12 年度では「パンフレット」となっていた。

※「SNS（フェイスブック等）」は、令和 2 年度から追加された選択肢。

性別にみると、「市のホームページ」は男性（42.3%）が女性（36.8%）より 5.5 ポイント高くなっている。一方、「新聞・テレビなどのマスメディア」は女性（13.0%）が男性（9.8%）より 3.2 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「市広報紙（広報いるま）」は年齢が上がるほど割合が高く、70 歳以上（84.9%）で 8 割半ばと高くなっている。「SNS（フェイスブック等）」は年齢が下がるほど割合が高く、18～29 歳（34.3%）で 3 割半ばと高くなっている。（図 3-3-3）

図 3-3-3 情報提供手段（性別・年齢別）



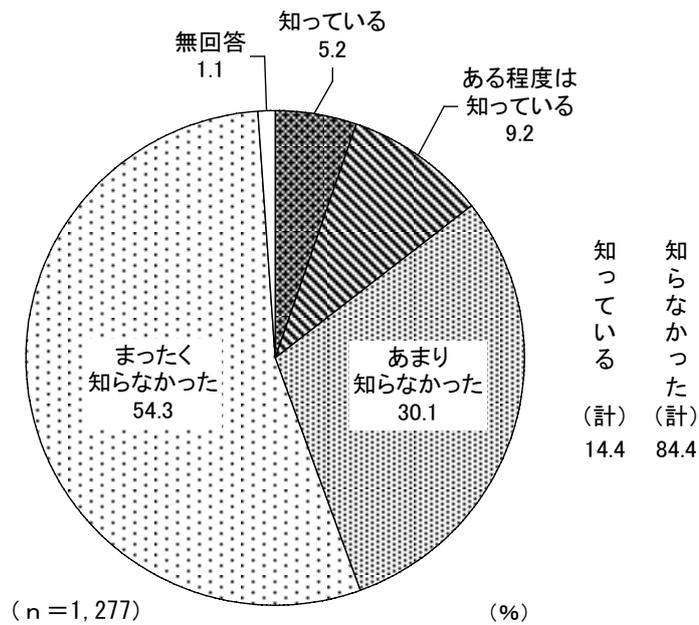
4. 水道の水源について

(1) 水源の周知度

◇『知らなかった（計）』が8割半ば

問 11 入間市の水道水は、入間川から取水した水が約2割、埼玉県営水道から購入した水が約8割となっています。このような入間市の水源についてご存知ですか。(○は1つだけ)

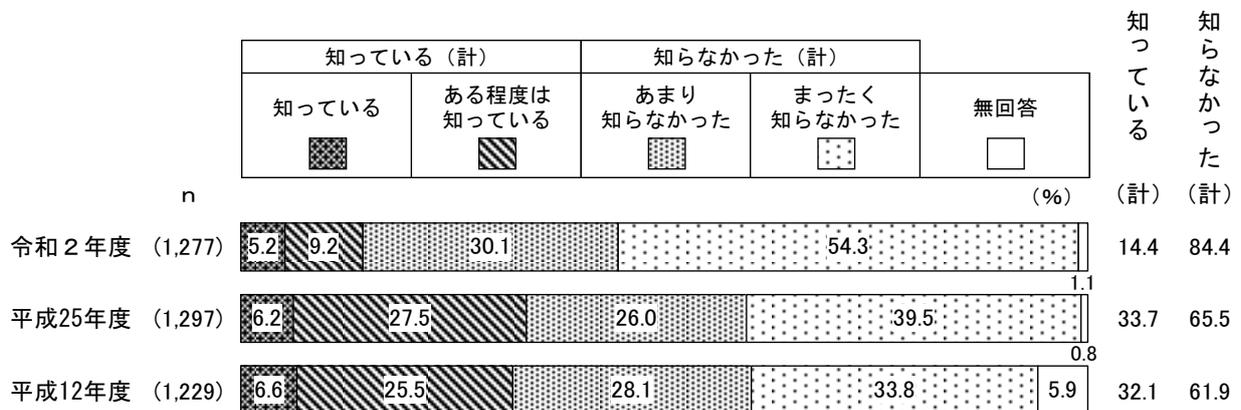
図 4-1-1 水源の周知度



入間市の水源について知っているか聞いたところ、「まったく知らなかった」(54.3%)が5割半ばで最も高く、これに「あまり知らなかった」(30.1%)を合わせた『知らなかった(計)』(84.4%)は8割半ばとなっている。一方、「知っている」(5.2%)と「ある程度は知っている」(9.2%)を合わせた『知っている(計)』(14.4%)は1割半ばとなっている。(図4-1-1)

過去の調査と比較すると、『知らなかった(計)』は平成25年度より18.9ポイント増加しており、平成12年度以降増加傾向にある。(図4-1-2)

図 4-1-2 水源の周知度 (経年比較)



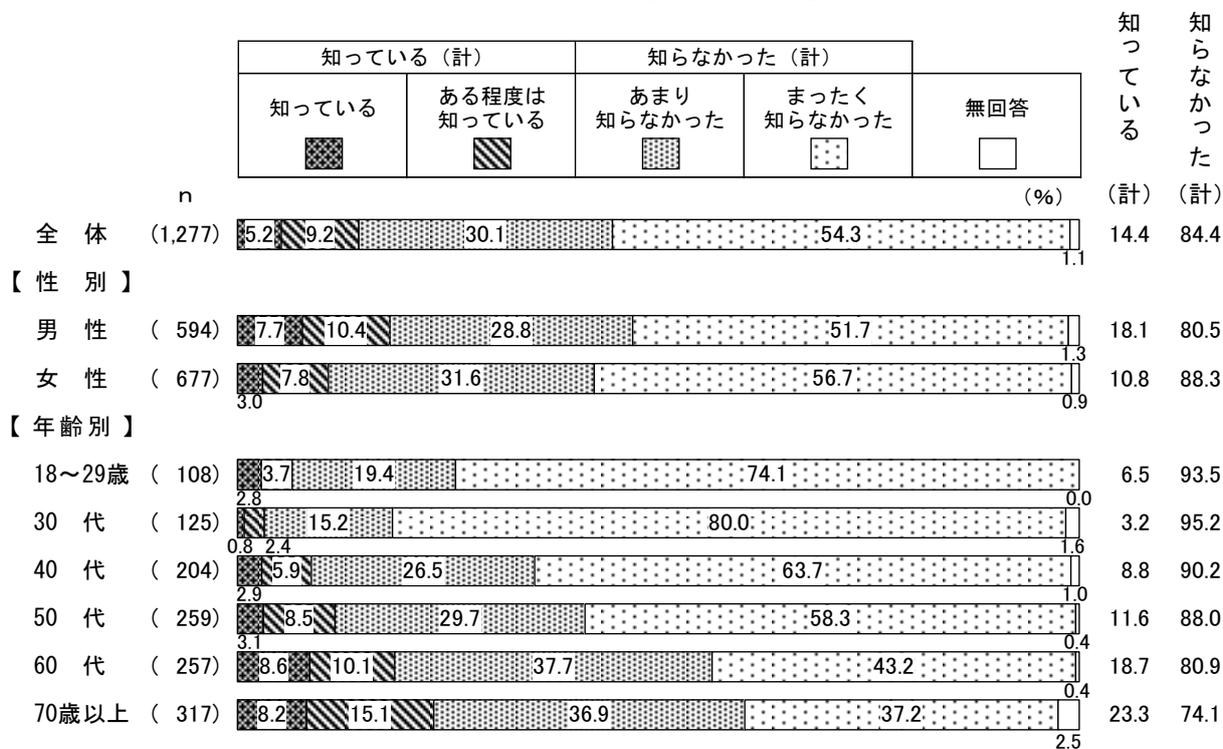
※「知っている」は、平成25年度までは「よく知っていた」となっていた。

※平成12年度では設問文が、「入間川から取水した水が約1割、埼玉県営水道から購入した水が約9割」となっていた。

性別にみると、『知らなかった（計）』は女性（88.3%）が男性（80.5%）より7.8ポイント高くなっている。

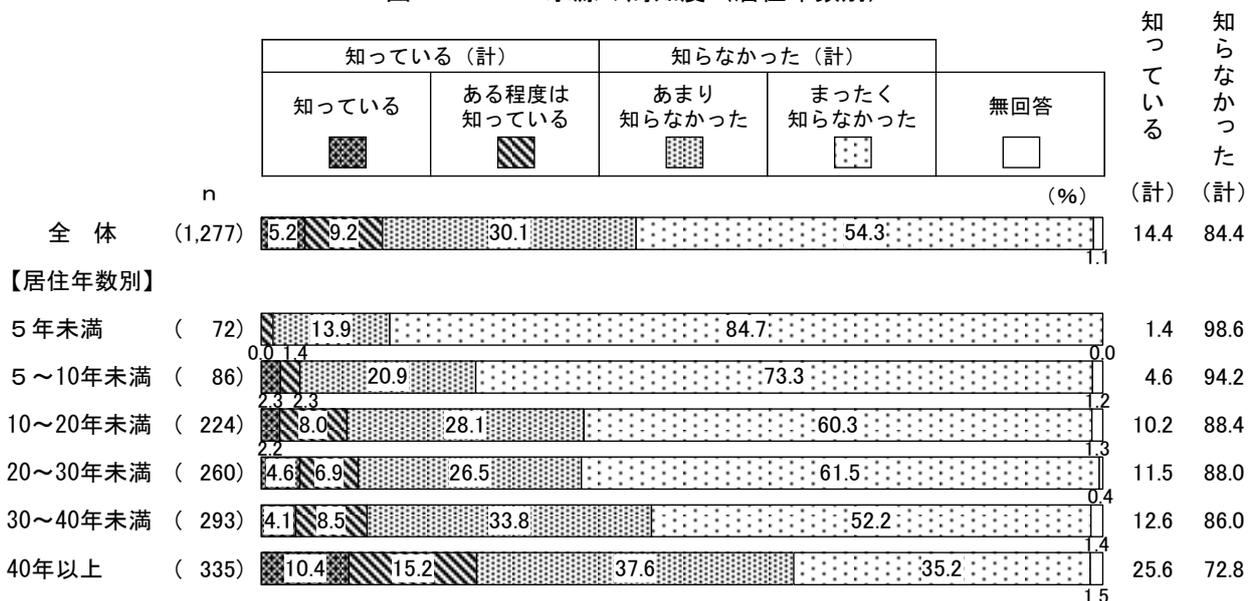
年齢別にみると、『知っている（計）』は70歳以上（23.3%）で2割を超えて高くなっている。一方、『知らなかった（計）』は30代（95.2%）で9割半ばと高くなっている。（図4-1-3）

図4-1-3 水源の周知度（性別・年齢別）



居住年数別にみると、『知っている（計）』は居住年数が長くなるほど割合が高く、40年以上（25.6%）で2割半ばと高くなっている。一方、『知らなかった（計）』は5年未満（98.6%）で10割近くと高くなっている。（図4-1-4）

図4-1-4 水源の周知度（居住年数別）

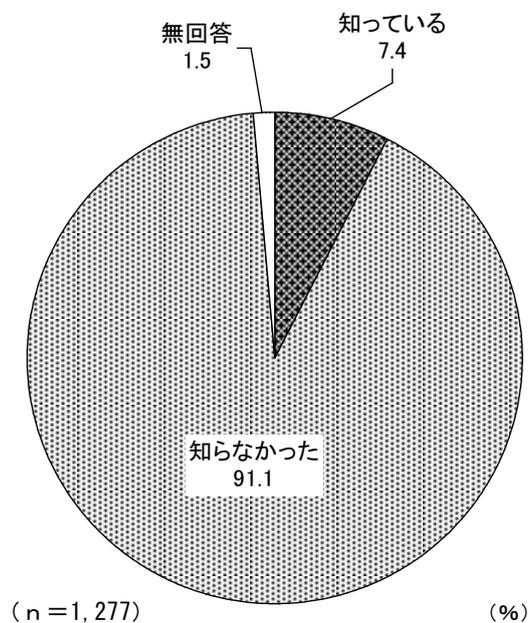


(2) 「親子ダム施設等見学会」の認知度

◇「知らなかった」が9割を超える

問 12 上下水道部では、水道事業の啓発を目的に小学4年生の親子を対象とした「親子ダム施設等見学会」を実施していますが、ご存知ですか。(○は1つだけ)

図4-2-1 「親子ダム施設等見学会」の認知度



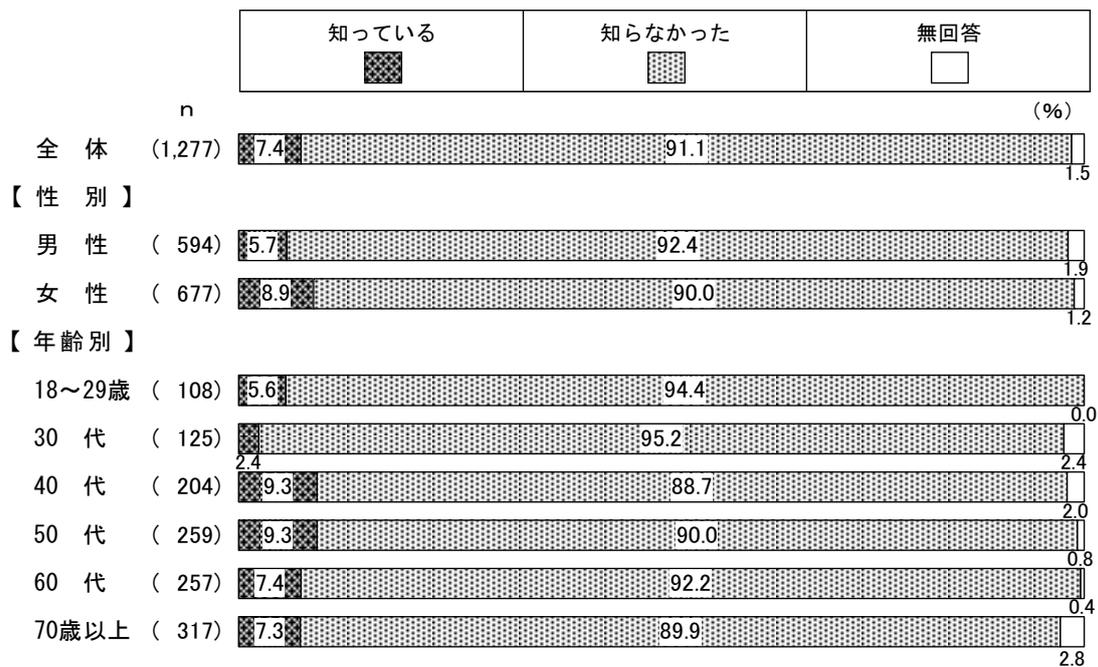
「親子ダム施設等見学会」を実施していることを知っているか聞いたところ、「知っている」(7.4%)は1割未満となっており、「知らなかった」(91.1%)が9割を超えている。(図4-2-1)

性別にみると、「知っている」は女性（8.9%）が男性（5.7%）より3.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「知っている」は40代と50代（ともに9.3%）で約1割となっている。一方、「知らなかった」は18～29歳（94.4%）と30代（95.2%）で9割半ばと高くなっている。

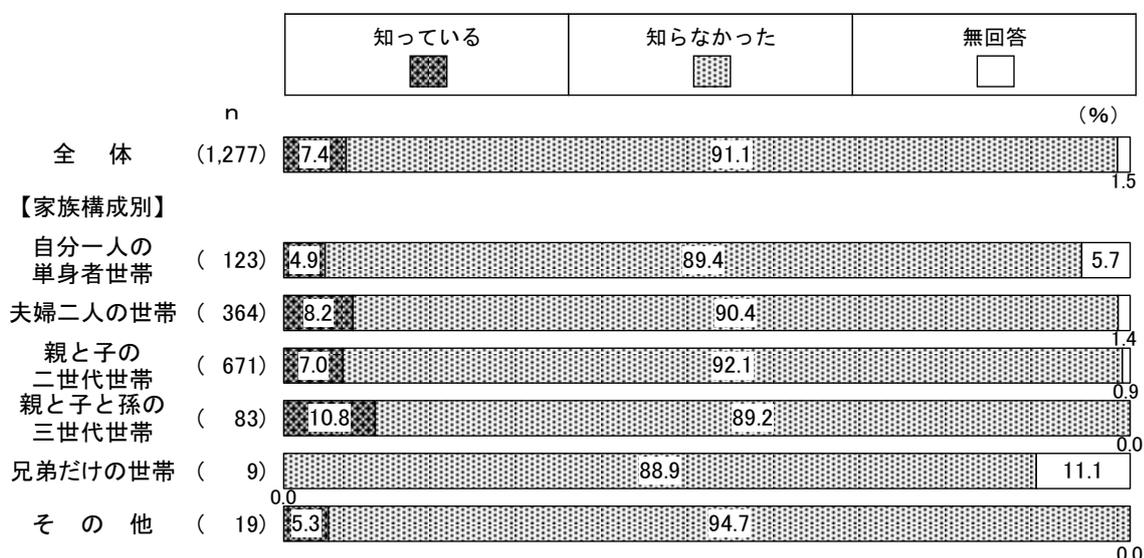
（図4-2-2）

図4-2-2 「親子ダム施設等見学会」の認知度（性別・年齢別）



家族構成別にみると、「知っている」は親と子と孫の三世帯世帯（10.8%）で約1割となっている。一方、「知らなかった」は親と子の二世帯世帯（92.1%）と夫婦二人の世帯（90.4%）で9割台と高くなっている。（図4-2-3）

図4-2-3 「親子ダム施設等見学会」の認知度（家族構成別）



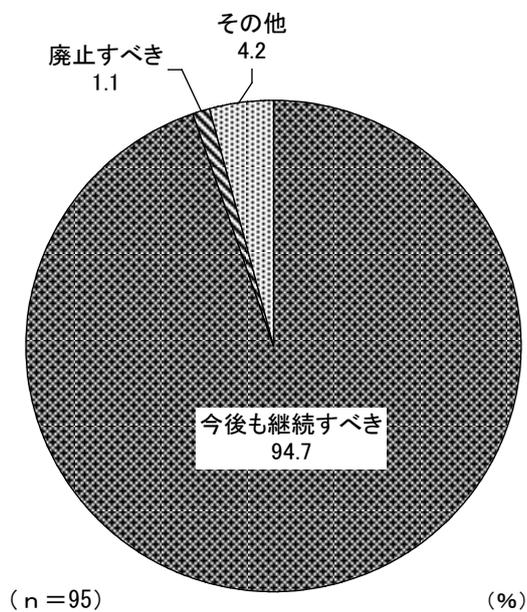
(3) 「親子ダム施設等見学会」の実施

◇「今後も継続すべき」が9割半ば

(問12で、「知っている」とお答えの方に)

問12-1 この事業の今後の実施について、どうお考えですか。(〇は1つだけ)

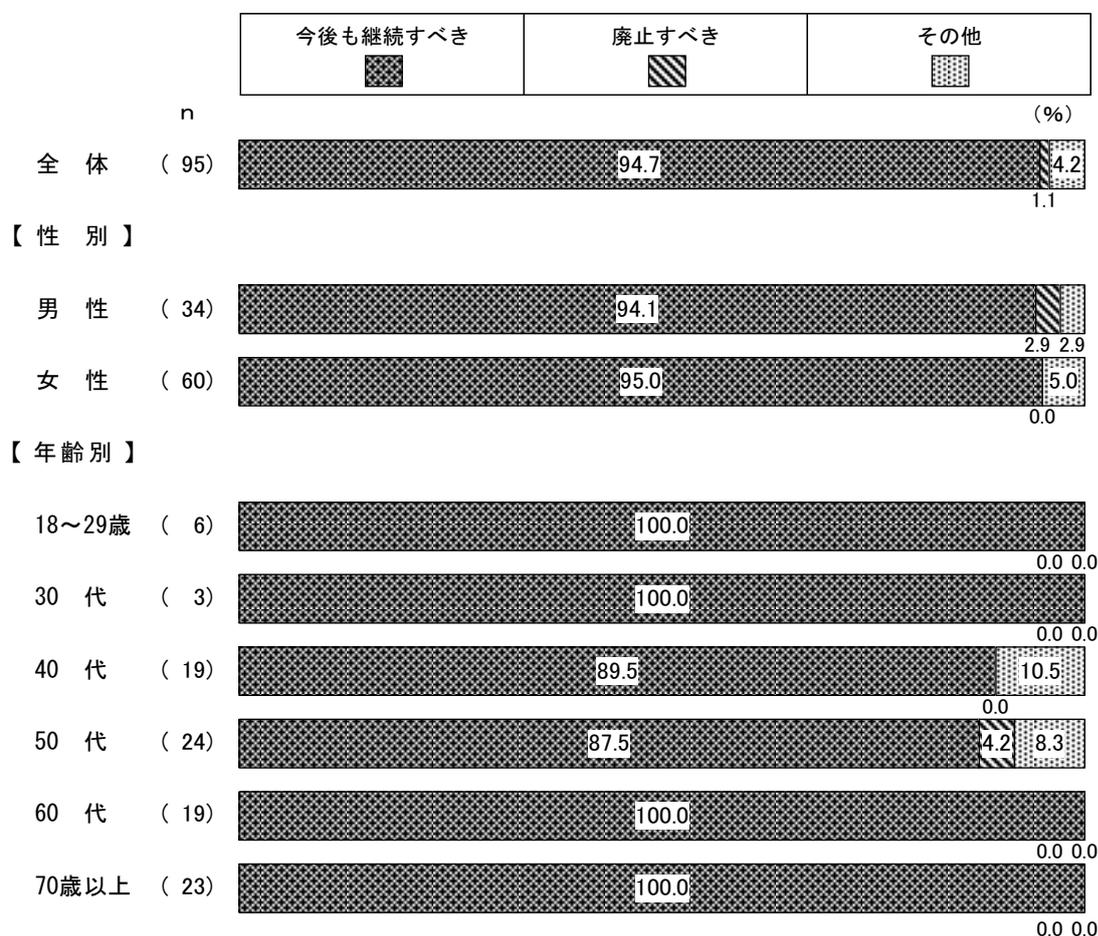
図4-3-1 「親子ダム施設等見学会」の実施



「親子ダム施設等見学会」を「知っている」と答えた人に、今後の実施について聞いたところ、「今後も継続すべき」(94.7%)、「廃止すべき」(1.1%)となっている。(図4-3-1)

性別にみると、大きな違いはみられない。
 年齢別は基数が少ないため参考に図示する。(図4-3-2)

図4-3-2 「親子ダム施設等見学会」の実施(性別・年齢別)



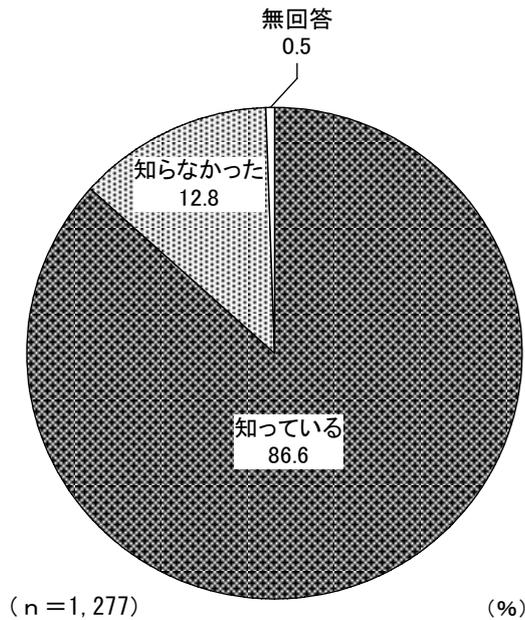
5. 水道料金について

(1) 水道料金の認知度

◇「知っている」が9割近く

問 13 水道料金は2カ月に1度（下水道を利用している家庭では下水道使用料と合わせて）お支払いいただいておりますが、あなたは、ご自宅の水道料金がおよそいくらかご存知ですか。（〇は1つだけ）

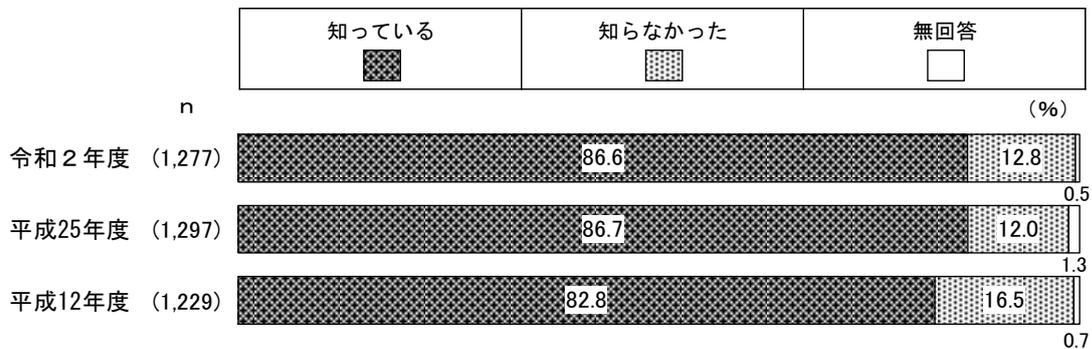
図 5-1-1 水道料金の認知度



自宅の水道料金を知っているか聞いたところ、「知っている」(86.6%)が9割近く、「知らなかった」(12.8%)は1割を超えている。(図5-1-1)

過去の調査と比較すると、平成25年度と比べて大きな傾向の変化はみられない。(図5-1-2)

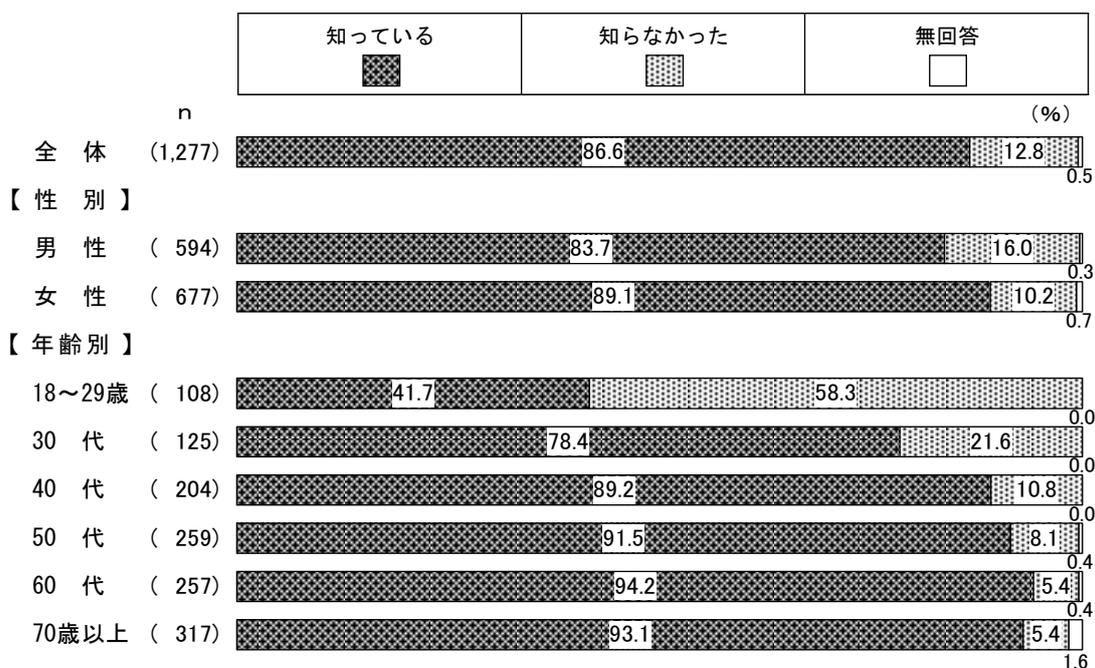
図 5-1-2 水道料金の認知度（経年比較）



性別にみると、「知っている」は女性（89.1%）が男性（83.7%）より 5.4 ポイント高くなっている。

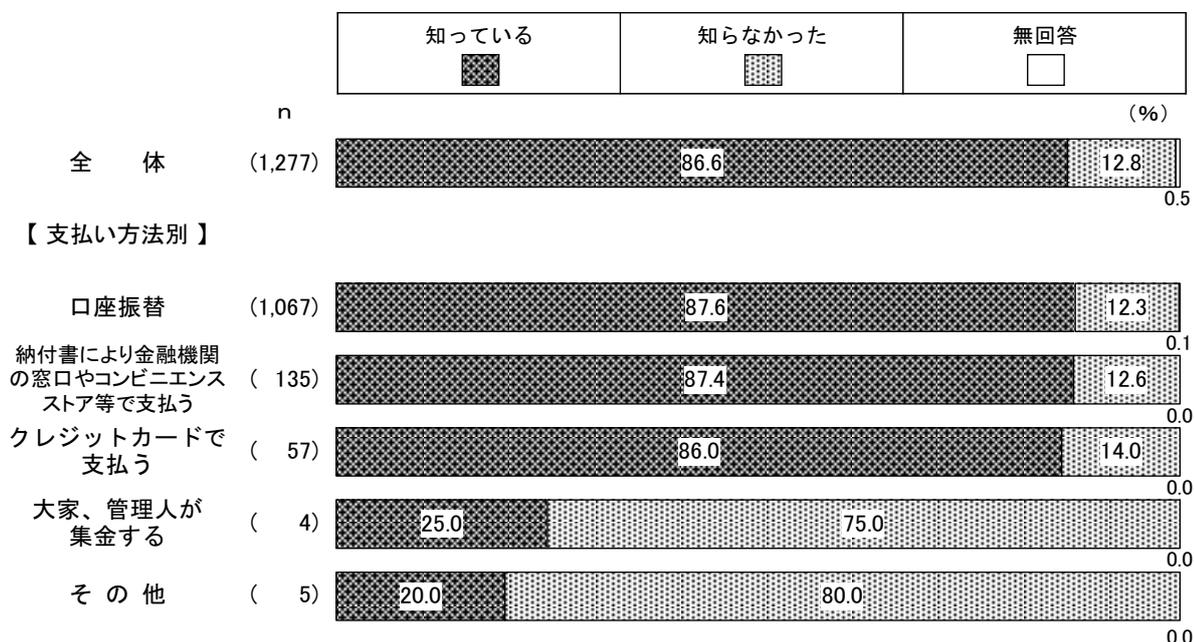
年齢別にみると、「知っている」はおおむね年齢が上がるほど割合が高く、60代（94.2%）で9割半ばと高くなっている。一方、「知らなかった」は18～29歳（58.3%）で6割近くと高くなっている。（図5-1-3）

図5-1-3 水道料金の認知度（性別・年齢別）



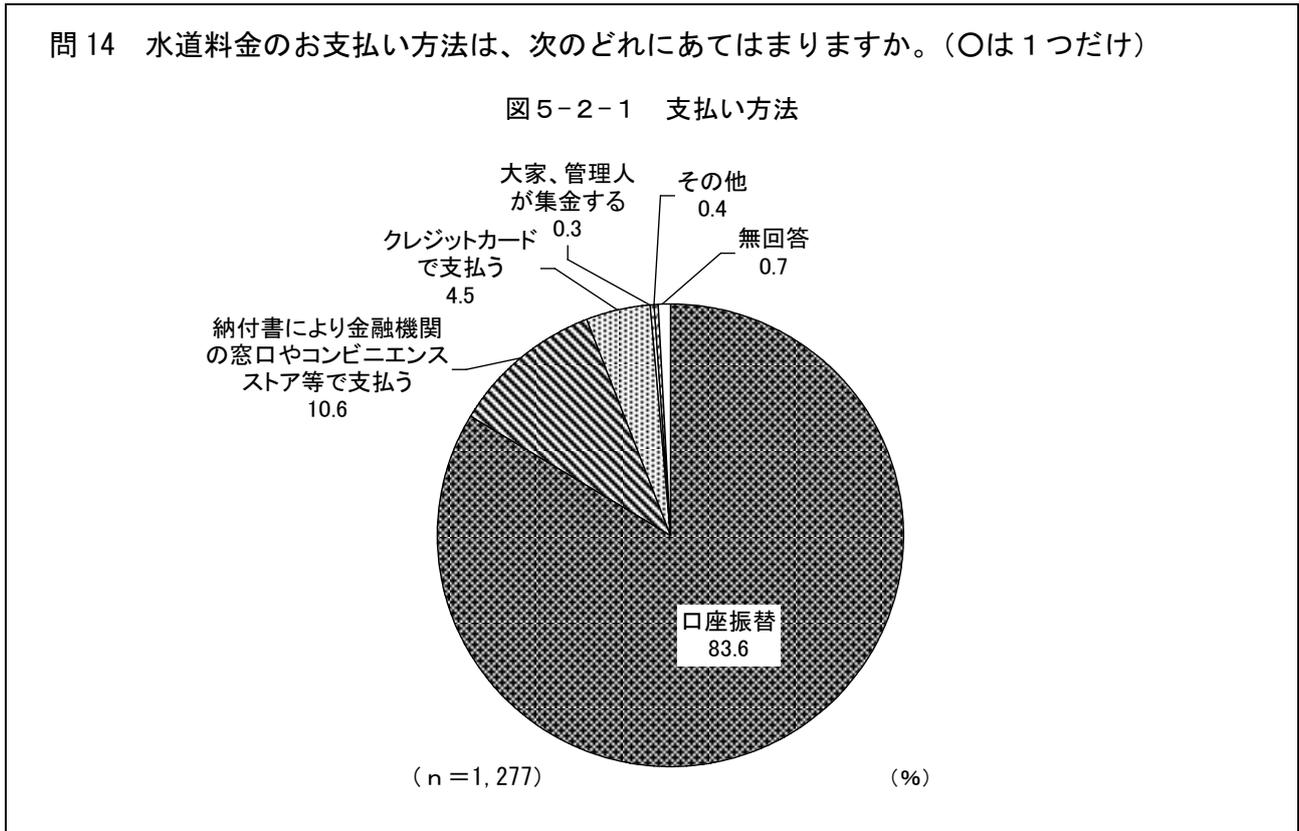
支払い方法別にみると、大きな違いはみられない。（図5-1-4）

図5-1-4 水道料金の認知度（支払い方法別）



(2) 支払い方法

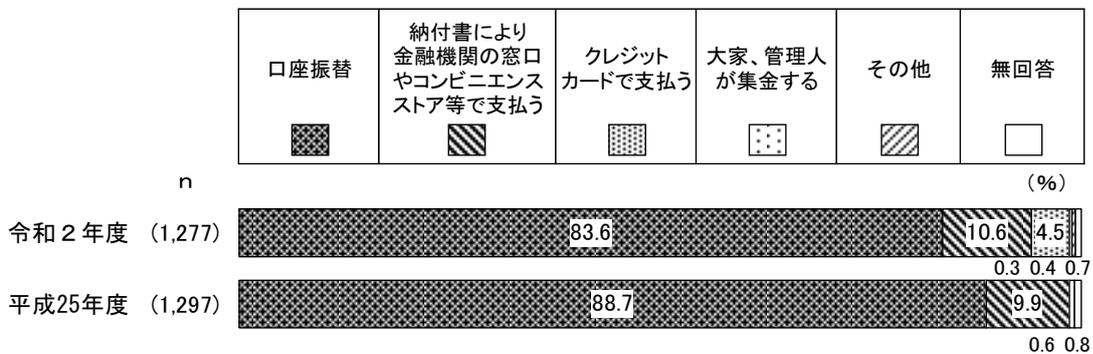
◇「口座振替」が8割を超える



水道料金の支払い方法を聞いたところ、「口座振替」(83.6%)が8割を超えて最も高く、次いで「納付書により金融機関の窓口やコンビニエンスストア等で支払う」(10.6%)、「クレジットカードで支払う」(4.5%)となっている。(図5-2-1)

過去の調査と比較すると、選択肢が異なるため参考となるが、「口座振替」は平成25年度より5.1ポイント減少している。(図5-2-2)

図 5-2-2 支払い方法 (経年比較)



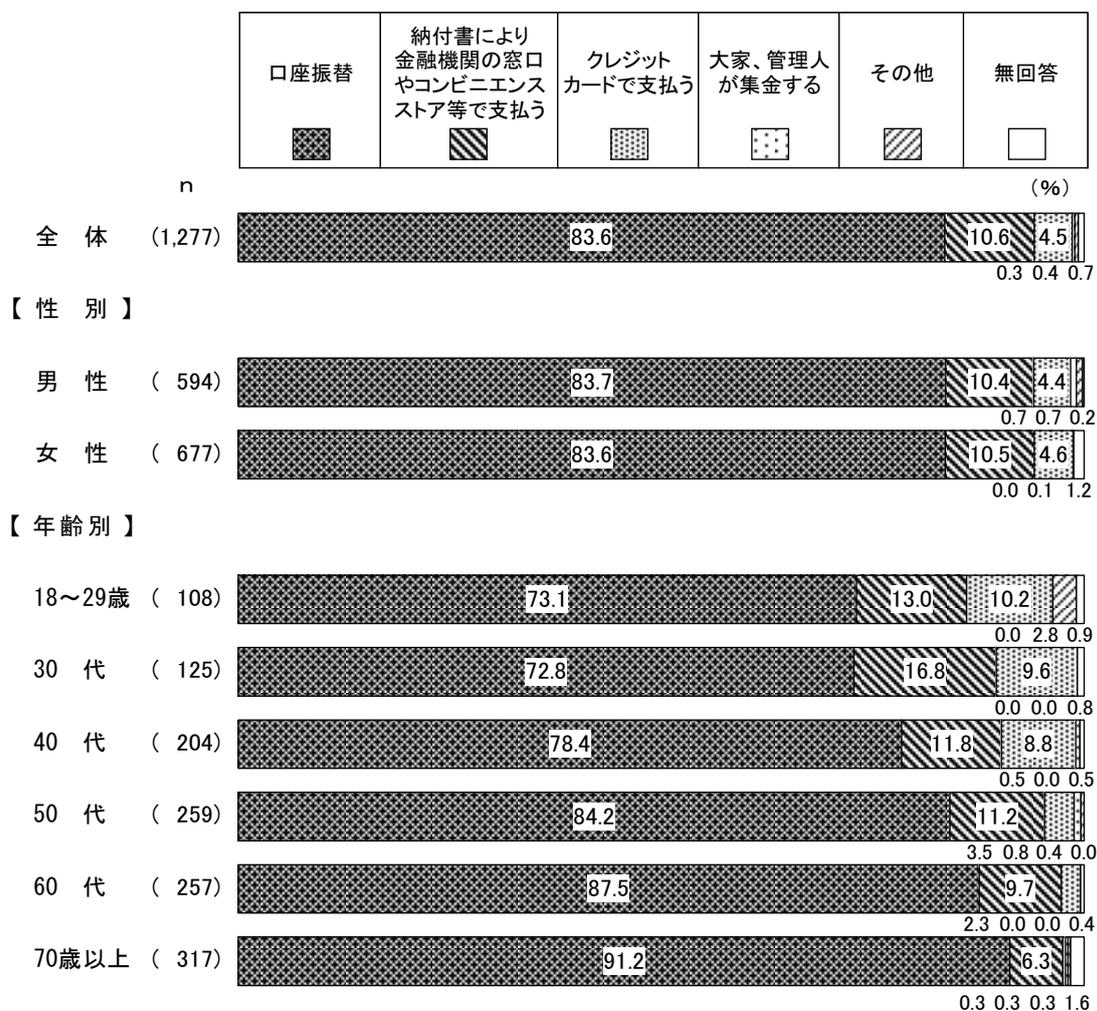
※「納付書により金融機関の窓口やコンビニエンスストア等で支払う」は、平成25年度では「金融機関の窓口やコンビニエンスストア等で払い込む」となっていた。

※「クレジットカードで支払う」と「その他」は、令和2年度から追加された選択肢。

性別にみると、大きな違いはみられない。

年齢別にみると、「口座振替」はおおむね年齢が上がるほど割合が高く、70歳以上（91.2%）で9割を超えて高くなっている。（図5-2-3）

図5-2-3 支払い方法（性別・年齢別）

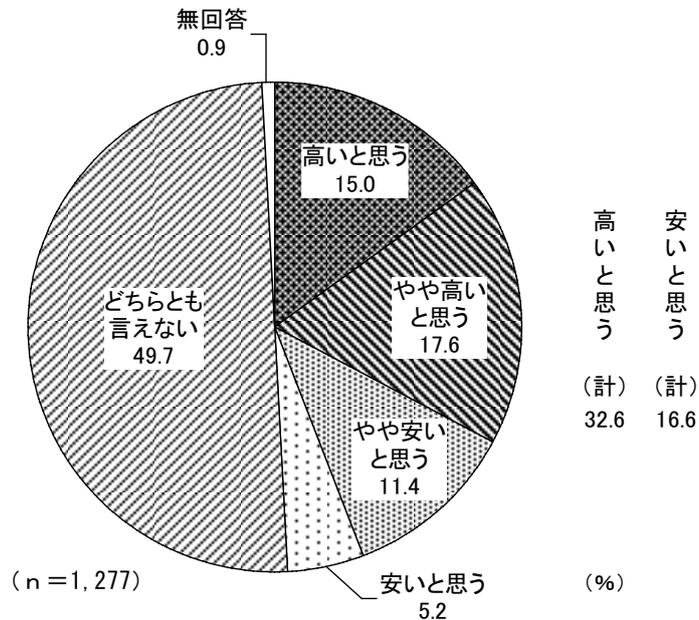


(3) 他の公共料金との比較

◇『高いと思う(計)』が3割を超える

問15 水道料金は、他の公共料金と比べて高いと思いますか。それとも安いと思いますか。
ただし、水道料金は2カ月分ですので、1/2で比較してください。(○は1つだけ)

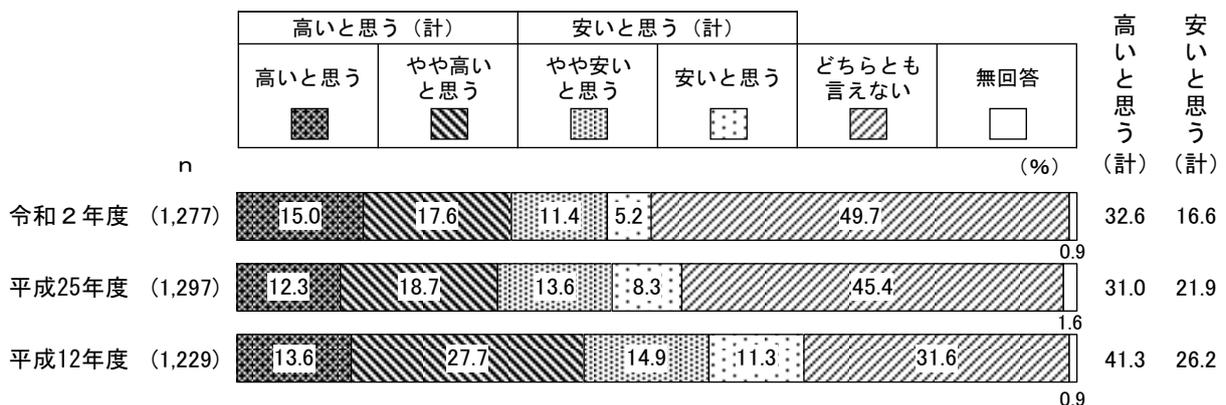
図5-3-1 他の公共料金との比較



水道料金は、他の公共料金と比べて高いと思うか、安いと思うか聞いたところ、「どちらとも言えない」(49.7%)が5割で最も高くなっている。また、「高いと思う」(15.0%)と「やや高いと思う」(17.6%)を合わせた『高いと思う(計)』(32.6%)は3割を超えている。一方、「やや安いと思う」(11.4%)と「安いと思う」(5.2%)を合わせた『安いと思う(計)』(16.6%)は2割近くとなっている。(図5-3-1)

過去の調査と比較すると、『安いと思う(計)』は平成25年度より5.3ポイント減少しており、平成12年度以降減少傾向にある。(図5-3-2)

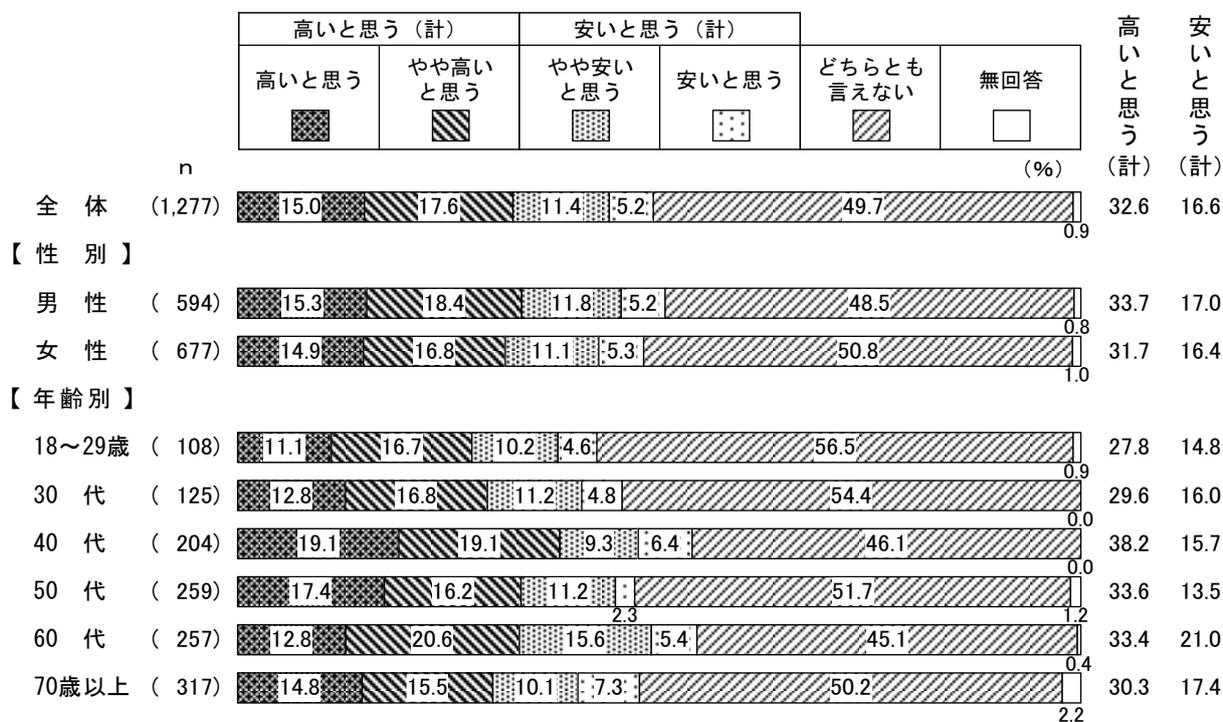
図5-3-2 他の公共料金との比較(経年比較)



性別にみると、大きな違いはみられない。

年齢別にみると、『高いと思う（計）』は40代（38.2%）で4割近くと高くなっている。一方、『安いと思う（計）』は60代（21.0%）で2割を超えて高くなっている。（図5-3-3）

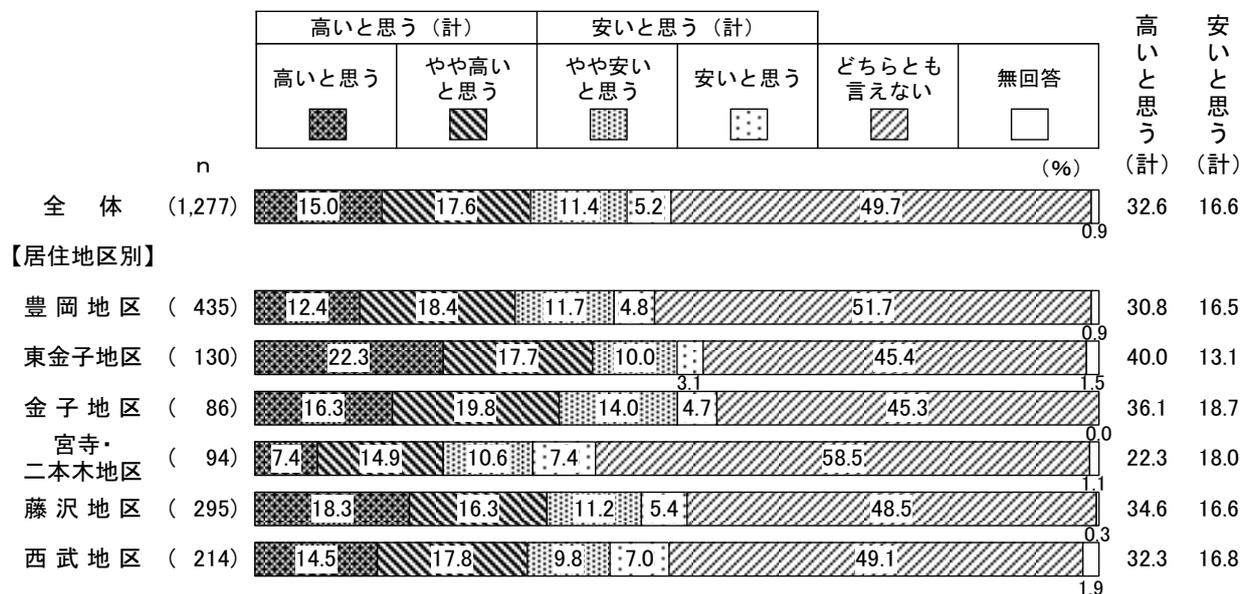
図5-3-3 他の公共料金との比較（性別・年齢別）



居住地区別にみると、『高いと思う（計）』は東金子地区（40.0%）で4割と高くなっている。

（図5-3-4）

図5-3-4 他の公共料金との比較（居住地区別）

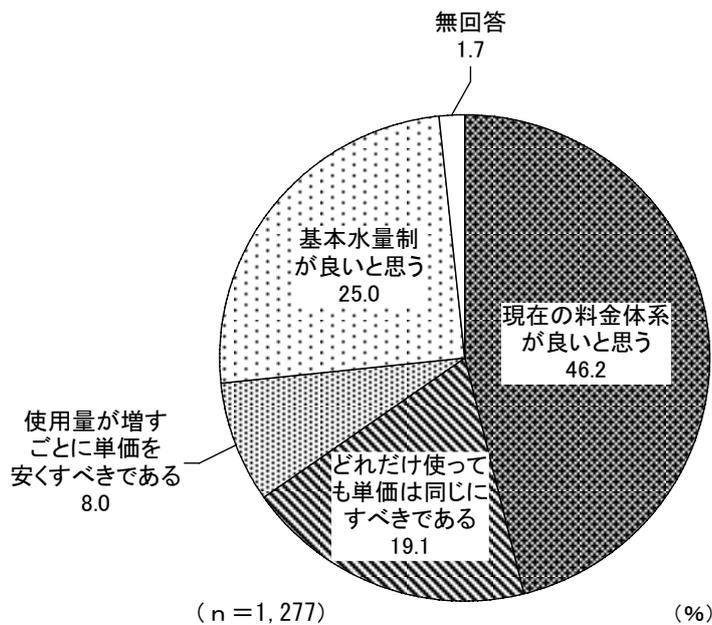


(4) 料金体系

◇「現在の料金体系が良いと思う」が4割半ば

問 16 入間市の水道料金は、使用量が増すごとに1㎡当たりの単価が高くなる仕組みになっており、これにより、無駄な水利用の抑制と、生活水の低廉化を目指しています。あなたは、この料金体系についてどのように考えますか。(○は1つだけ)

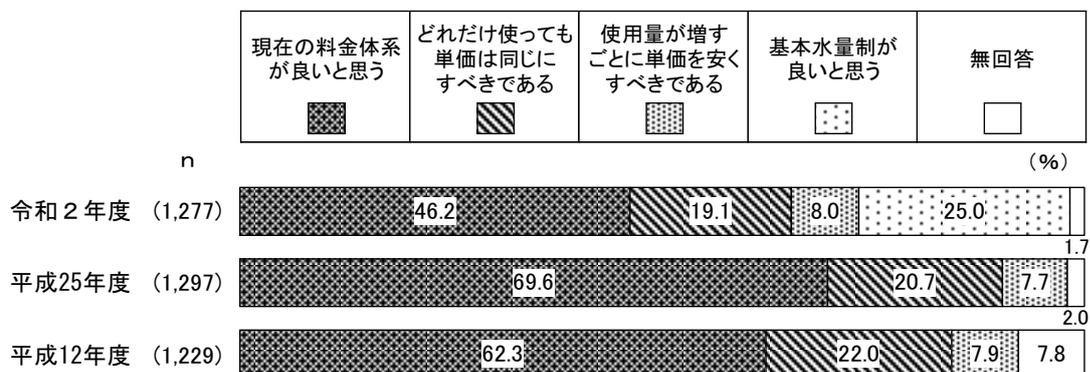
図 5-4-1 料金体系



水道料金の料金体系について聞いたところ、「現在の料金体系が良いと思う」(46.2%)が4割半ばで最も高く、次いで「基本水量制が良いと思う」(25.0%)、「どれだけ使っても単価は同じにすべきである」(19.1%)、「使用量が増すごとに単価を安くすべきである」(8.0%)となっている。
(図 5-4-1)

過去の調査との比較は、選択肢が異なるため参考に図示する。(図 5-4-2)

図 5-4-2 料金体系 (経年比較)

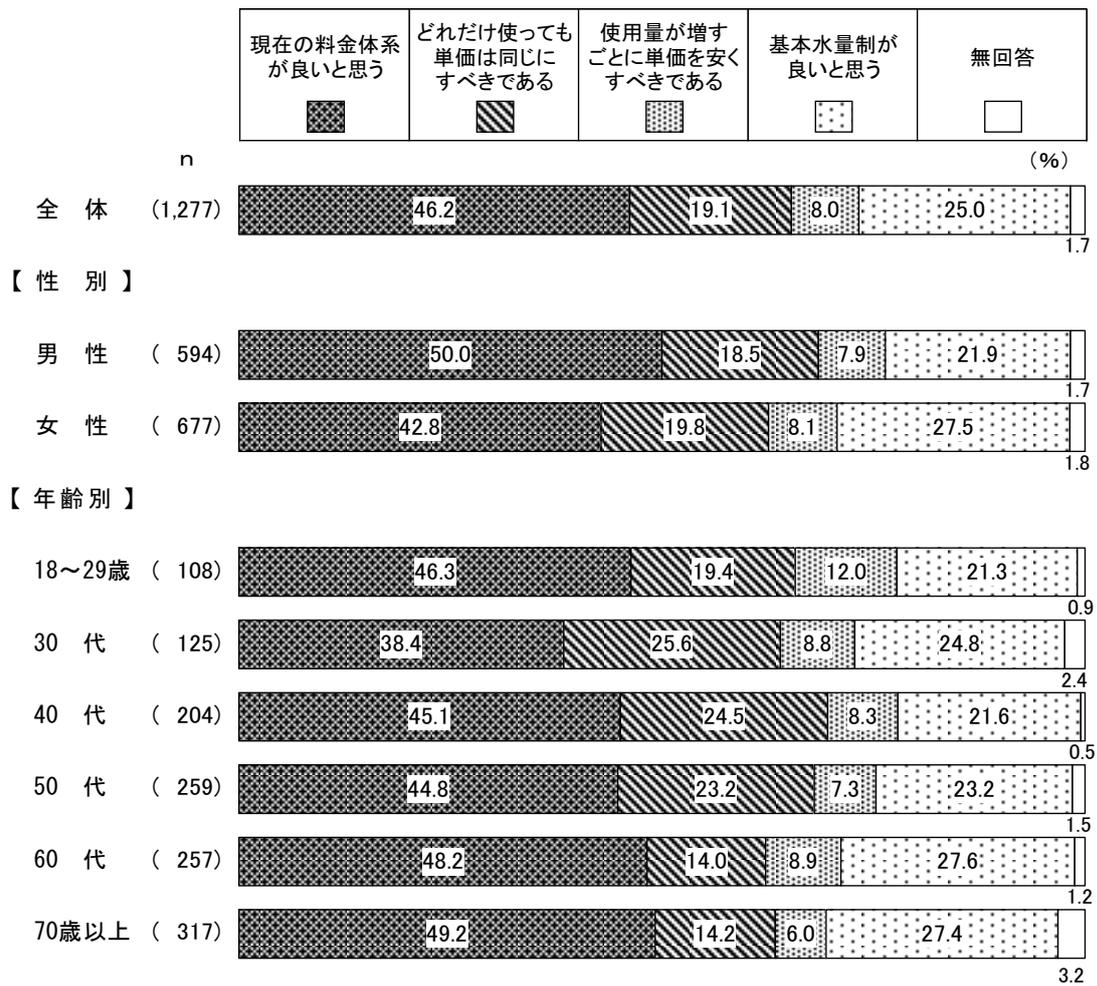


※「基本水量制が良いと思う」は、令和2年度から追加された選択肢。

性別にみると、「現在の料金体系が良いと思う」は男性（50.0%）が女性（42.8%）より7.2ポイント高くなっている。一方、「基本水量制が良いと思う」は女性（27.5%）が男性（21.9%）より5.6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「現在の料金体系が良いと思う」は70歳以上（49.2%）で約5割と高くなっている。「どれだけ使っても単価は同じにすべきである」は30代（25.6%）と40代（24.5%）で2割半ばと高くなっている。「基本水量制が良いと思う」は60代（27.6%）と70歳以上（27.4%）で3割近くと高くなっている。（図5-4-3）

図5-4-3 料金体系（性別・年齢別）



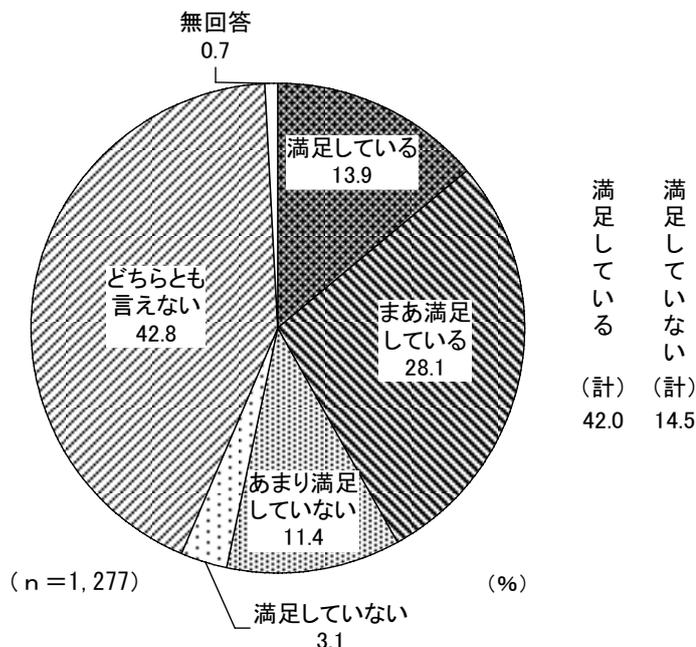
6. 水道事業について

(1) 水道サービスに対する満足度

◇『満足している（計）』が4割を超える

問 17 電気・ガスなど他の公共事業と比較し、現在の水道サービスに対してあなたは満足していますか。（○は1つだけ）

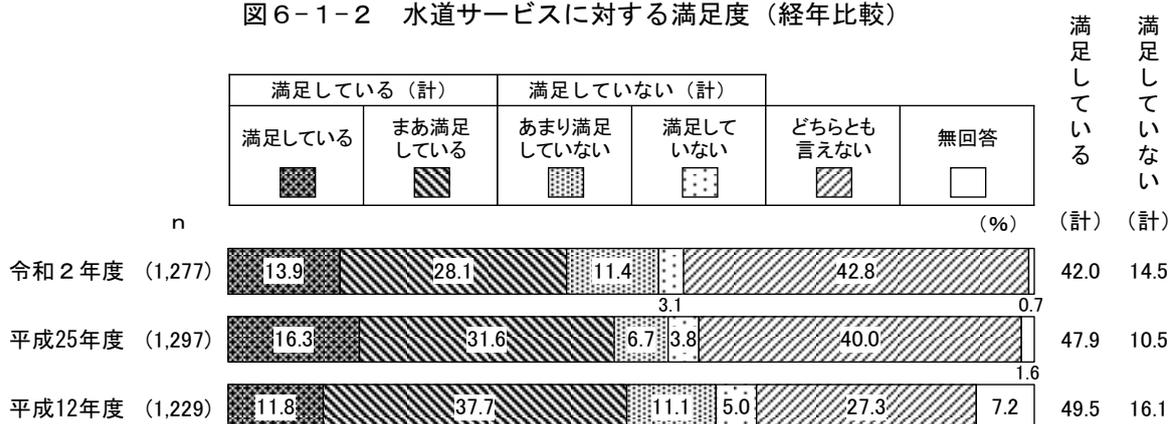
図 6-1-1 水道サービスに対する満足度



現在の水道サービスに対して満足しているか聞いたところ、「どちらとも言えない」(42.8%)が4割を超えて最も高くなっている。また、「満足している」(13.9%)と「まあ満足している」(28.1%)を合わせた『満足している（計）』(42.0%)は4割を超えている。一方、「あまり満足していない」(11.4%)と「満足していない」(3.1%)を合わせた『満足していない（計）』(14.5%)は1割半ばとなっている。(図6-1-1)

過去の調査と比較すると、『満足していない（計）』は平成25年度より4.0ポイント増加している。一方、『満足している（計）』は平成25年度より5.9ポイント減少している。(図6-1-2)

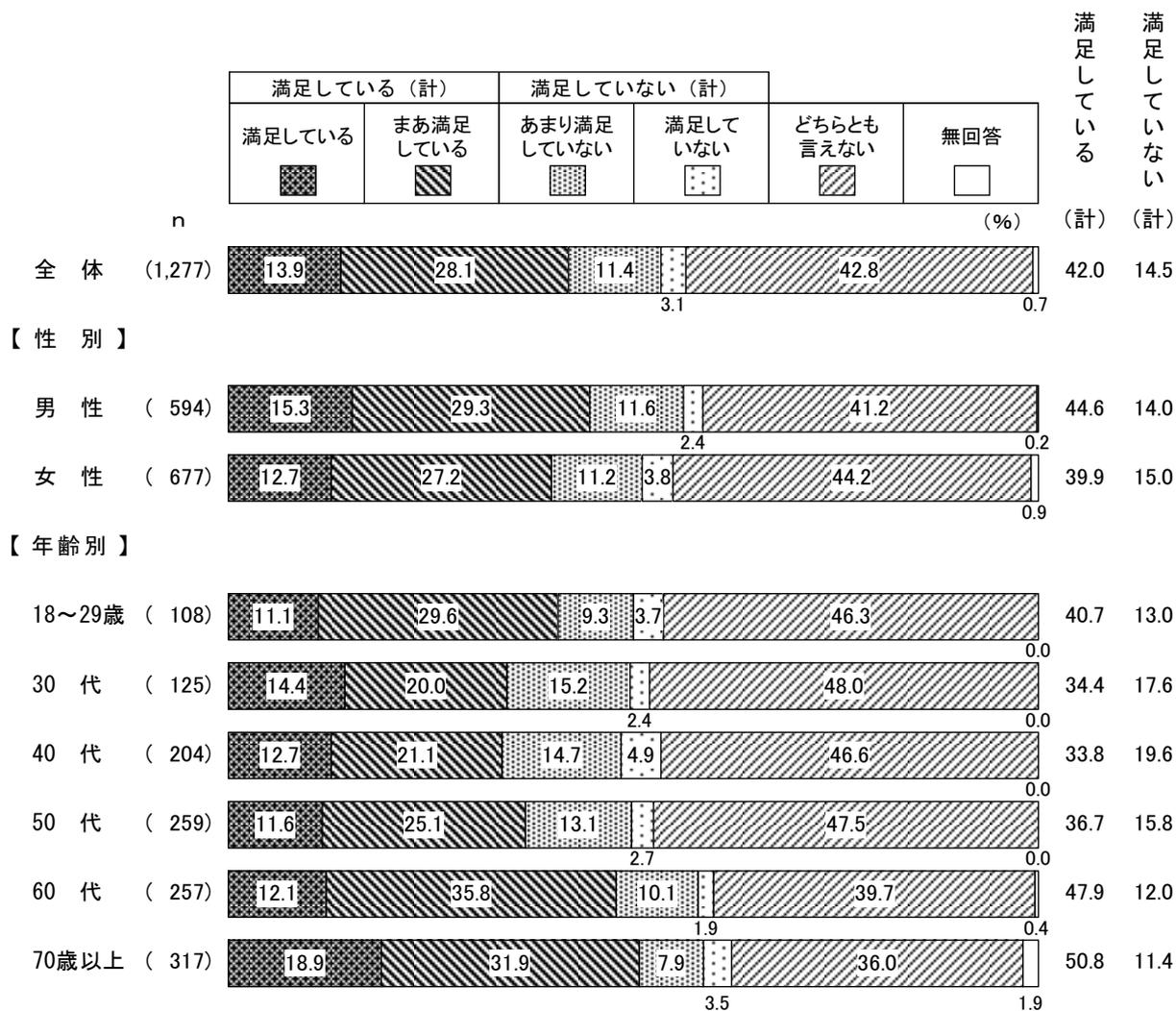
図 6-1-2 水道サービスに対する満足度（経年比較）



性別にみると、『満足している（計）』は男性（44.6%）が女性（39.9%）より4.7ポイント高くなっている。

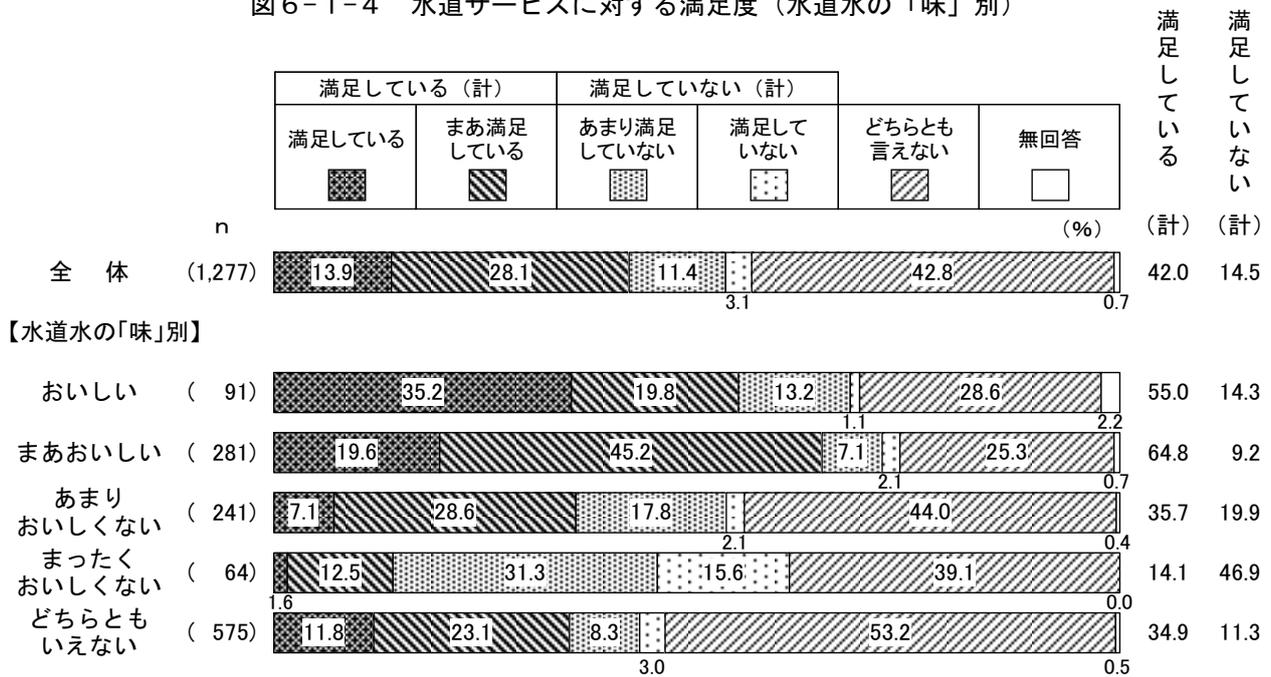
年齢別にみると、『満足している（計）』は70歳以上（50.8%）で約5割と高くなっている。一方、『満足していない（計）』は40代（19.6%）で2割となっている。（図6-1-3）

図6-1-3 水道サービスに対する満足度（性別・年齢別）



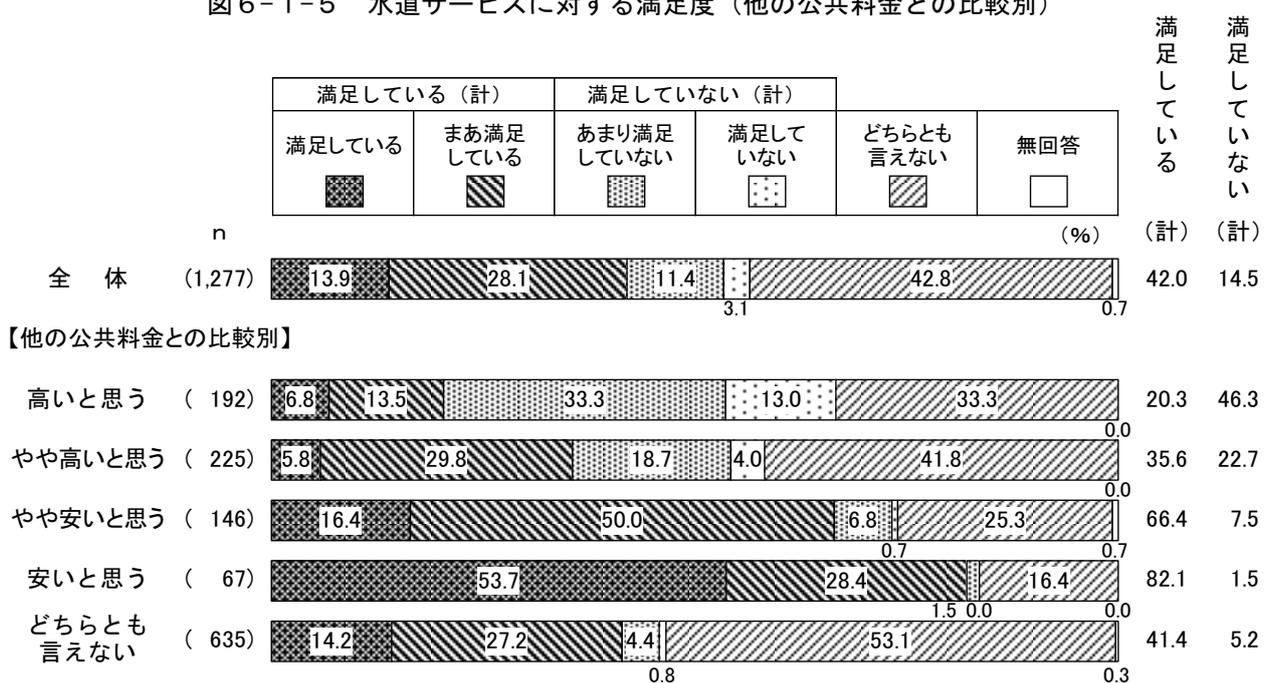
水道水の「味」別にみると、『満足している（計）』は“まあおいしいと感じる人”（64.8%）で6割半ばと高くなっている。一方、『満足していない（計）』は“まったくおいしくないと感じる人”（46.9%）で5割近くと高くなっている。（図6-1-4）

図6-1-4 水道サービスに対する満足度（水道水の「味」別）



他の公共料金との比較別にみると、『満足している（計）』は“他の公共料金と比べて安いと思う人”（82.1%）で8割を超えて高くなっている。一方、『満足していない（計）』は“他の公共料金と比べて高いと思う人”（46.3%）で4割半ばと高くなっている。（図6-1-5）

図6-1-5 水道サービスに対する満足度（他の公共料金との比較別）

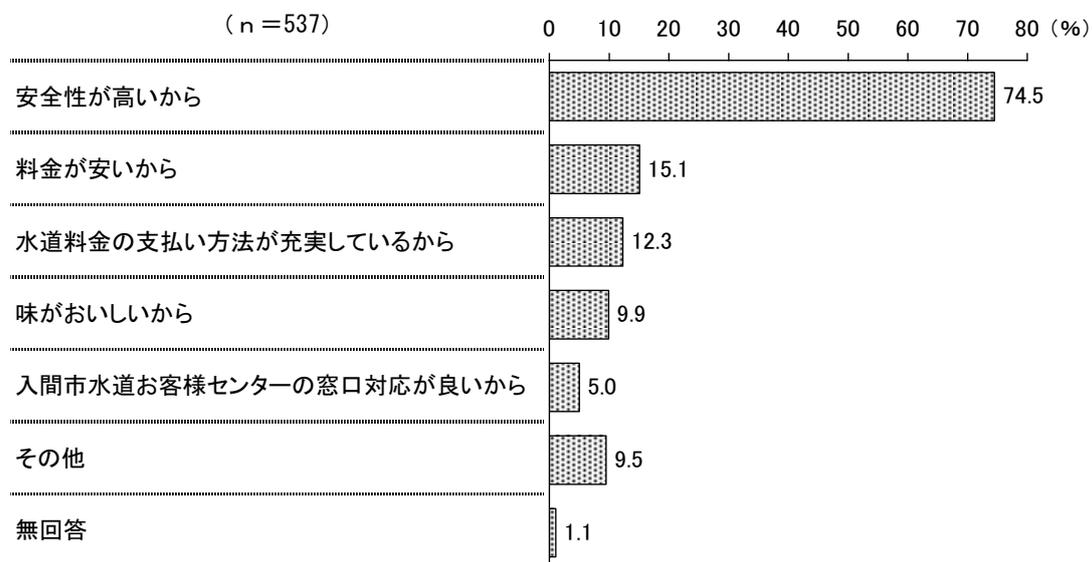


(2) 満足している理由

◇「安全性が高いから」が7割半ば

(問17で、「満足している」「まあ満足している」とお答えの方に)
問17-1 その理由をお答えください。(〇は2つまで)

図6-2-1 満足している理由

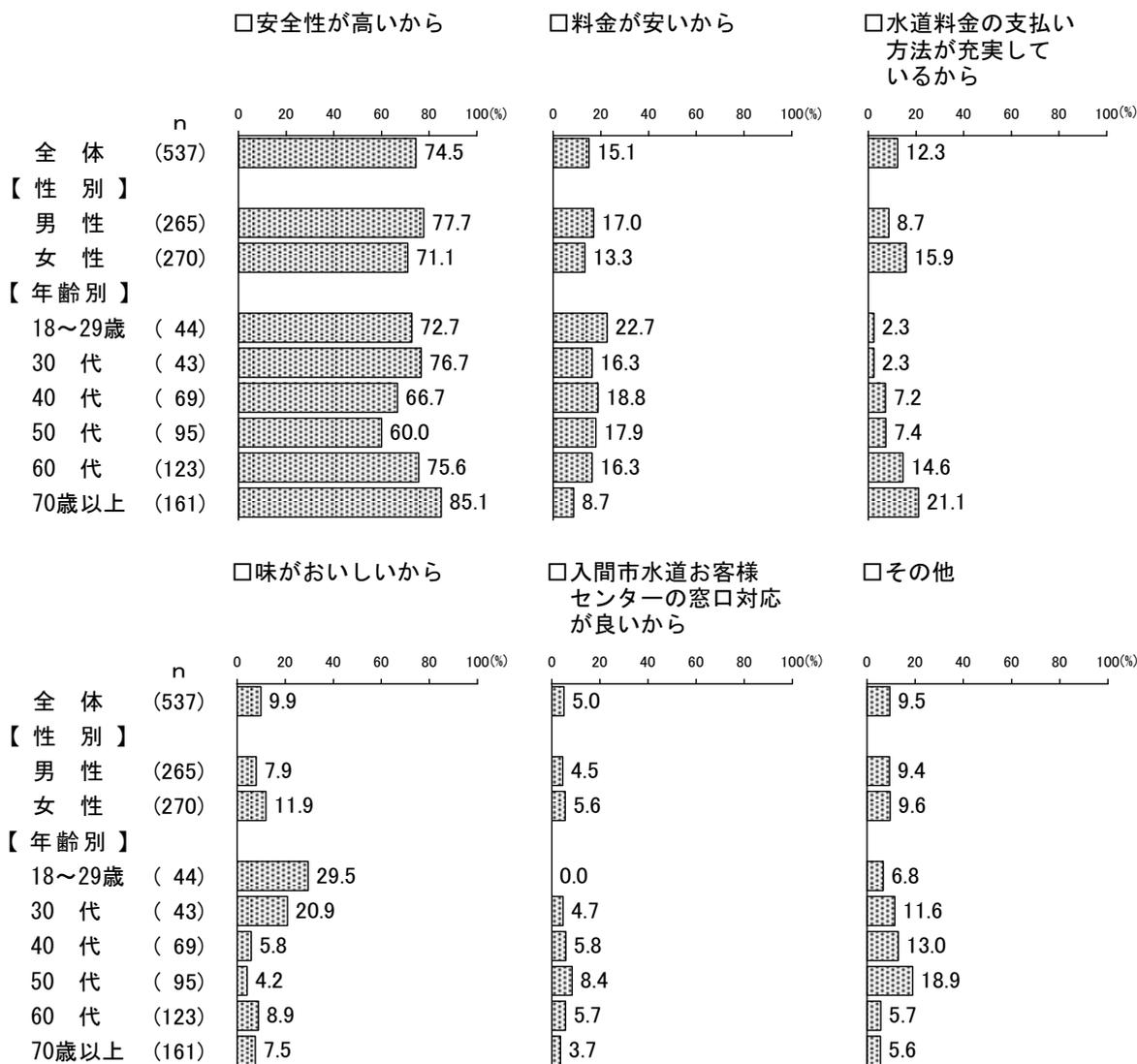


現在の水道サービスに「満足している」「まあ満足している」と答えた人に、その理由を聞いたところ、「安全性が高いから」(74.5%)が7割半ばで最も高く、次いで「料金が安いから」(15.1%)、「水道料金の支払い方法が充実しているから」(12.3%)、「味がおいしいから」(9.9%)となっている。(図6-2-1)

性別にみると、「安全性が高いから」は男性（77.7%）が女性（71.1%）より6.6ポイント高くなっている。一方、「水道料金の支払い方法が充実しているから」は女性（15.9%）が男性（8.7%）より7.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「安全性が高いから」は70歳以上（85.1%）で8割半ばと高くなっている。「料金が安いから」は18～29歳（22.7%）で2割を超えて高くなっている。「味がおいしいから」は18～29歳（29.5%）で3割と高くなっている。（図6-2-2）

図6-2-2 満足している理由（性別・年齢別）

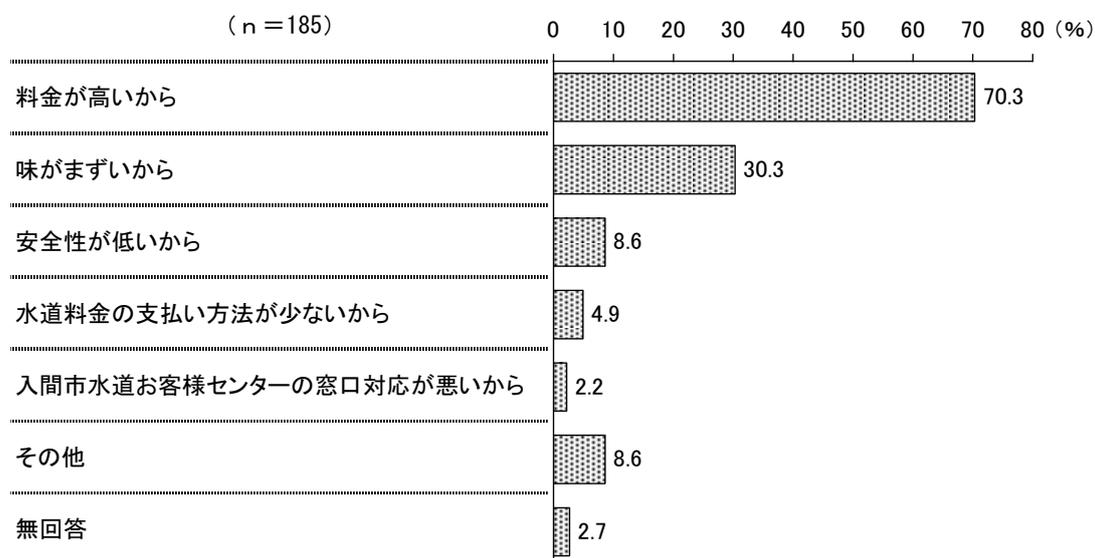


(3) 満足していない理由

◇「料金が高いから」が7割

(問17で、「あまり満足していない」「満足していない」とお答えの方に)
問17-2 その理由をお答えください。(〇は2つまで)

図6-3-1 満足していない理由



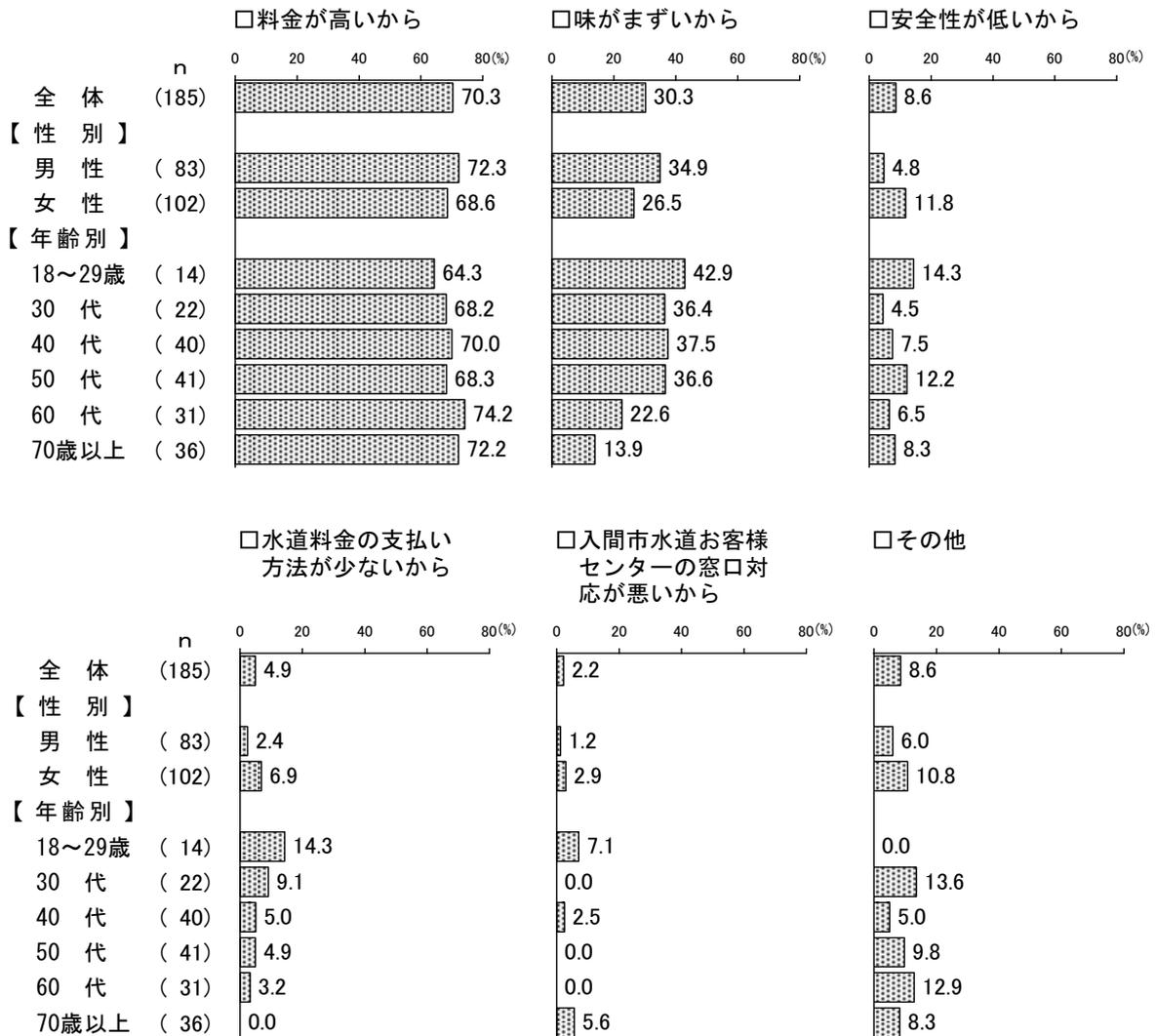
現在の水道サービスに「あまり満足していない」「満足していない」と答えた人に、その理由を聞いたところ、「料金が高いから」(70.3%)が7割で最も高く、次いで「味がまずいから」(30.3%)、「安全性が低いから」(8.6%)となっている。(図6-3-1)

性別にみると、「味がまずいから」は男性（34.9%）が女性（26.5%）より8.4ポイント高くなっている。一方、「安全性が低いから」は女性（11.8%）が男性（4.8%）より7.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「料金が安いから」は60代（74.2%）で7割半ばと高くなっている。

(図6-3-2)

図6-3-2 満足していない理由（性別・年齢別）

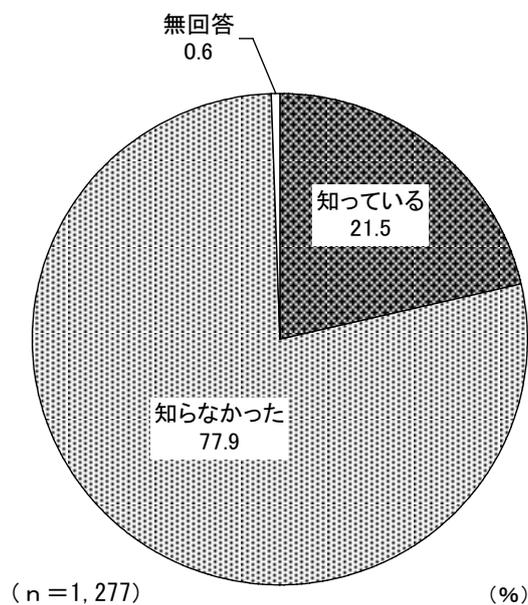


(4) 財源の認知度

◇「知らなかった」が8割近く

問 18 水道事業は、お客様にお支払いいただいた水道料金を財源として独立採算で経営されています。水道事業の経営に税金が使われていないことをご存知ですか。(○は1つだけ)

図 6-4-1 財源の認知度

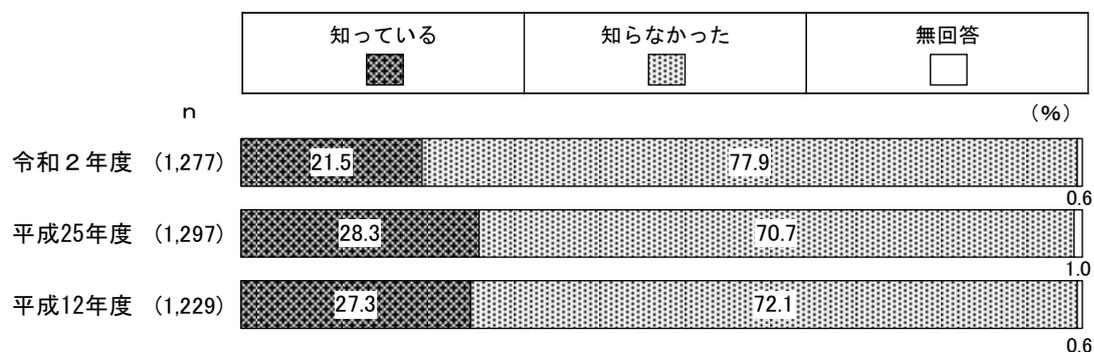


水道事業の経営に税金が使われていないことを知っているか聞いたところ、「知っている」(21.5%)が2割を超え、「知らなかった」(77.9%)は8割近くとなっている。(図6-4-1)

過去の調査と比較すると、「知らなかった」は平成25年度より7.2ポイント増加している。

(図6-4-2)

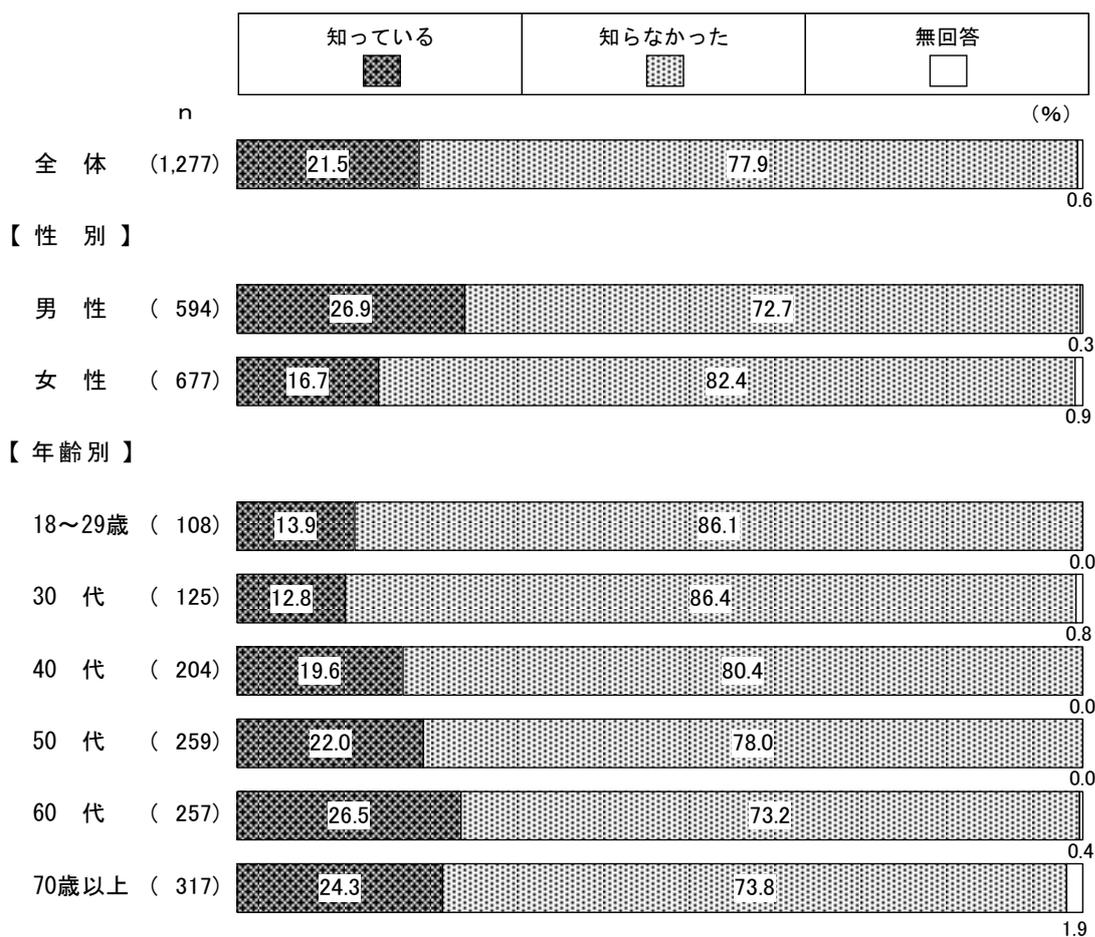
図 6-4-2 財源の認知度 (経年比較)



性別にみると、「知っている」は男性（26.9%）が女性（16.7%）より10.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「知っている」は60代（26.5%）で3割近くと高くなっている。一方、「知らなかった」は18～29歳（86.1%）と30代（86.4%）で8割半ばと高くなっている。（図6-4-3）

図6-4-3 財源の認知度（性別・年齢別）



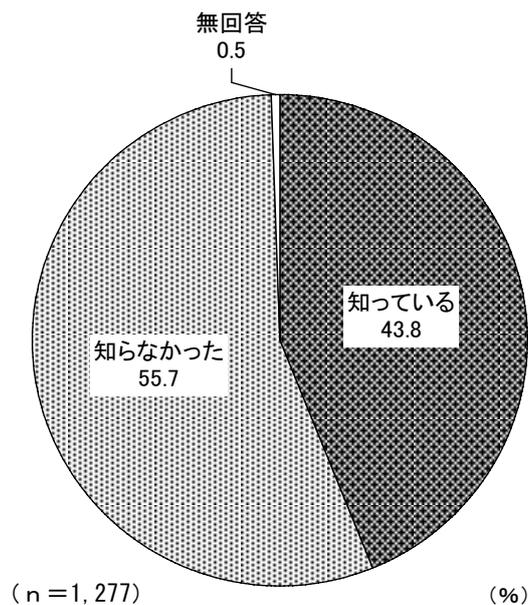
(5) 耐震管への取替工事の認知度

◇「知っている」が4割を超える

問 19 給水人口の減少などに伴い給水収益が減少する中、昭和40年代から50年代に整備した水道管は老朽化が進み、取替時期を迎えています。古くなった水道管は漏水したり、地震の影響により破損して断水する恐れがあるため、市では古くなった水道管を地震に強い水道管（耐震管）に取り替える工事を計画的に実施しています。

このような取り組みをご存知ですか。（○は1つだけ）

図6-5-1 耐震管への取替工事の認知度

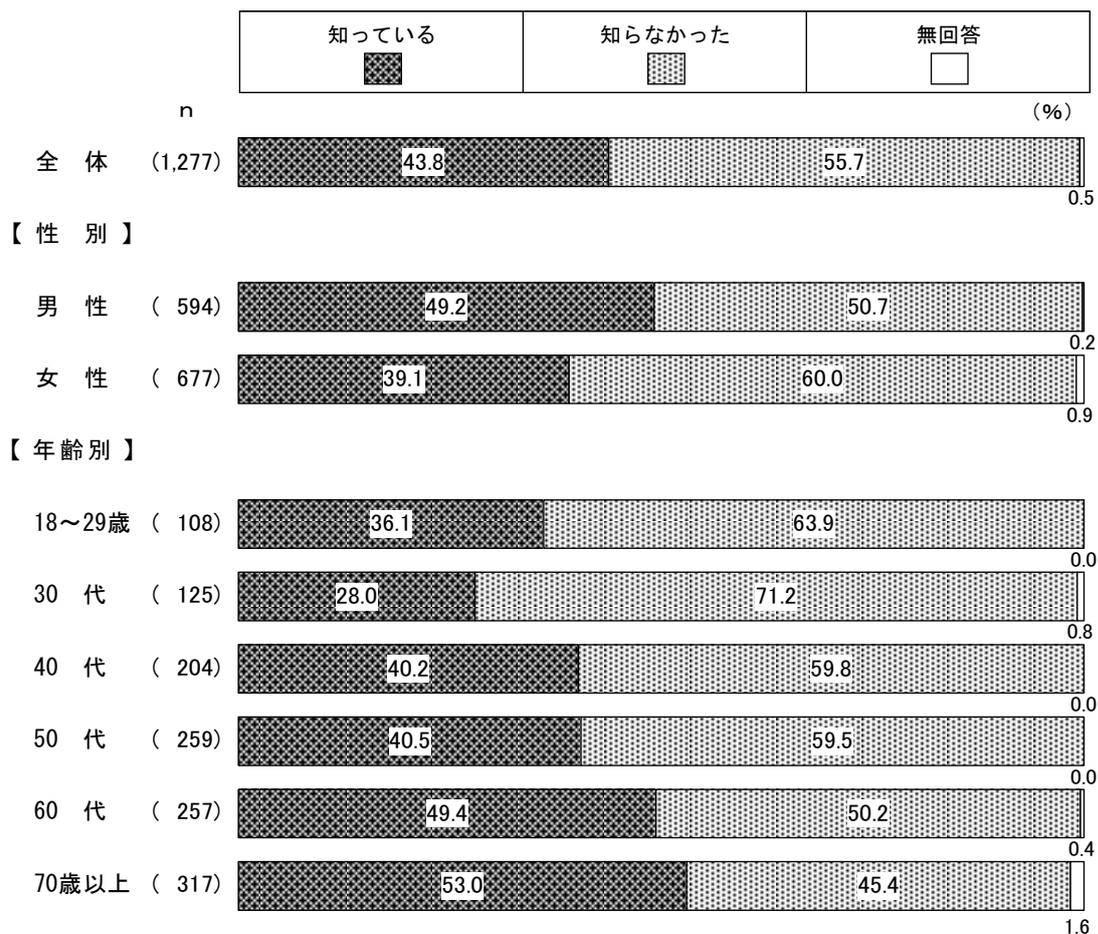


耐震管に取り替える工事を計画的に実施していることを知っているか聞いたところ、「知っている」(43.8%)が4割を超え、「知らなかった」(55.7%)は5割半ばとなっている。(図6-5-1)

性別にみると、「知っている」は男性（49.2%）が女性（39.1%）より10.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「知っている」は70歳以上（53.0%）で5割を超えて高くなっている。一方、「知らなかった」は30代（71.2%）で7割を超え、18～29歳（63.9%）で6割を超えて高くなっている。（図6-5-2）

図6-5-2 耐震管への取替工事の認知度（性別・年齢別）



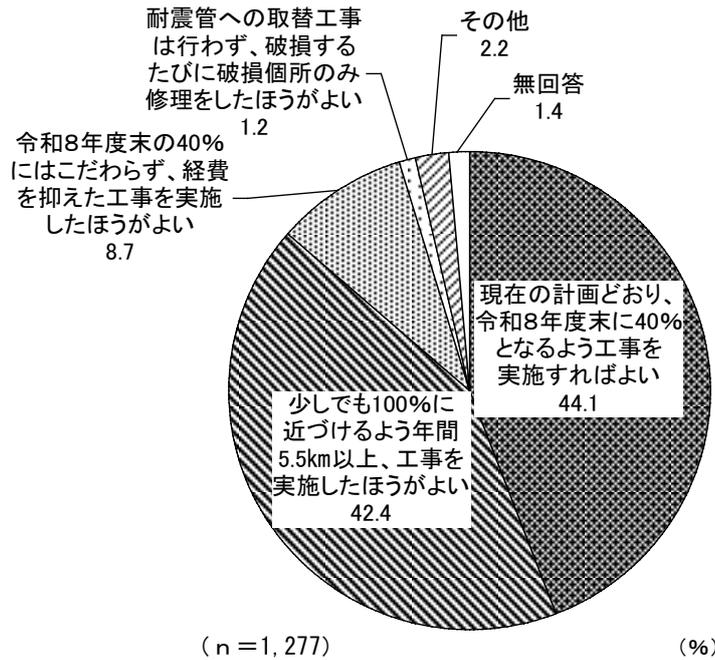
(6) 耐震管への取替工事の実施

◇「現在の計画どおり、令和8年度末に40%となるよう工事を実施すればよい」が4割半ば

問 20 令和元年度末の送配水管の耐震化率は約32.6%となっております。市では令和8年度末に40%となるよう、年間平均約5.5km取り替える工事を実施しています。このような取り組みについてどのように思いますか。(○は1つだけ)

※令和元年度末…送配水管総延長約506km、耐震性能を有する送配水管延長約165km

図6-6-1 耐震管への取替工事の実施



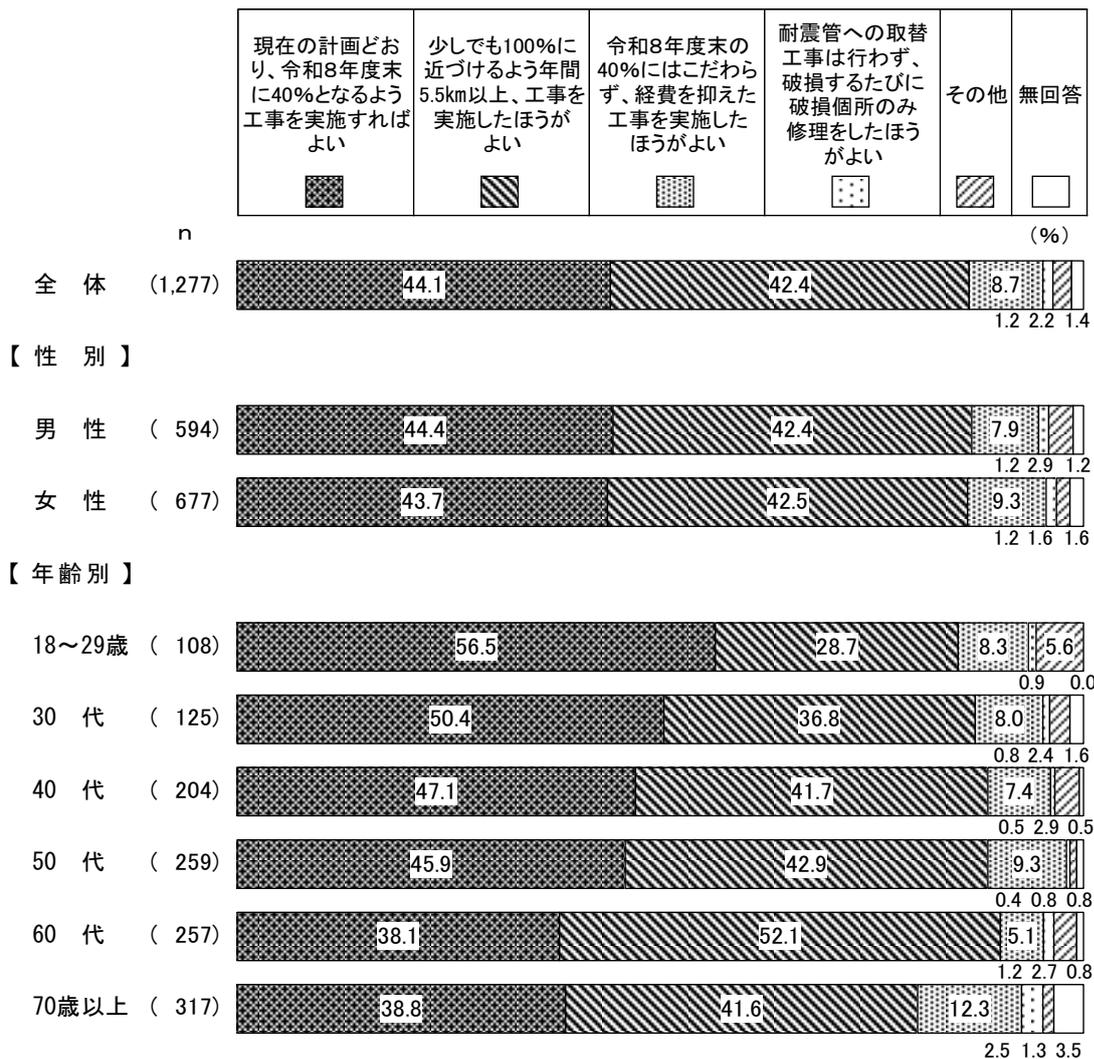
耐震管への取替工事の実施について聞いたところ、「現在の計画どおり、令和8年度末に40%となるよう工事を実施すればよい」(44.1%)が4割半ば、「少しでも100%に近づけるよう年間5.5km以上、工事を実施したほうがよい」(42.4%)が4割を超えて高くなっている。次いで「令和8年度末の40%にはこだわらず、経費を抑えた工事を実施したほうがよい」(8.7%)となっている。

(図6-6-1)

性別にみると、大きな違いはみられない。

年齢別にみると、「現在の計画どおり、令和8年度末に40%となるよう工事を実施すればよい」はおおむね年齢が下がるほど割合が高く、18～29歳（56.5%）で6割近くと高くなっている。「少しでも100%に近づけるよう年間5.5km以上、工事を実施したほうがよい」はおおむね年齢が上がるほど割合が高く、60代（52.1%）で5割を超えて高くなっている。（図6-6-2）

図6-6-2 耐震管への取替工事の実施（性別・年齢別）



(7) 水道事業の費用負担

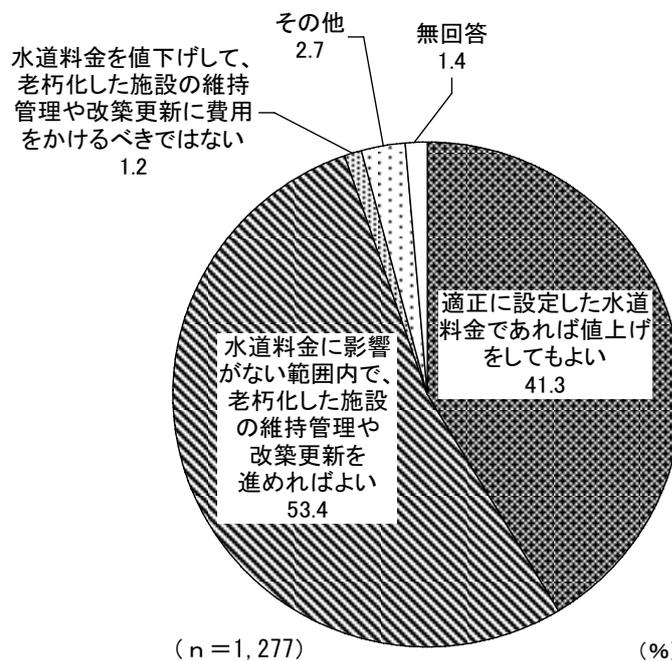
◇「日常生活に欠かせないライフラインであるが、水道料金に影響がない範囲内で、老朽化した施設の維持管理や改築更新を進めればよい」が5割を超える

問 21 水道事業の費用負担について伺います。安定した水道水の供給のためには、老朽化した施設の維持管理や改築更新が必要になりますが、その事業費は水道料金としてご負担いただくこととなります。また、平成28年度に策定した「入間市新水道ビジョン」では、令和5年度に料金を改定する試算を行っています。

安定した水道水の供給のための費用負担について、あなたはどのように思いますか。

(○は1つだけ)

図6-7-1 水道事業の費用負担



※選択肢を一部省略して表記している。

「適正に設定した水道料金であれば値上げをしてもよい」は、「日常生活に欠かせないライフラインなので、老朽化した施設の維持管理や改築更新のためには、維持管理の効率化を図った上で、適正に設定した水道料金であれば値上げをしてもよい」

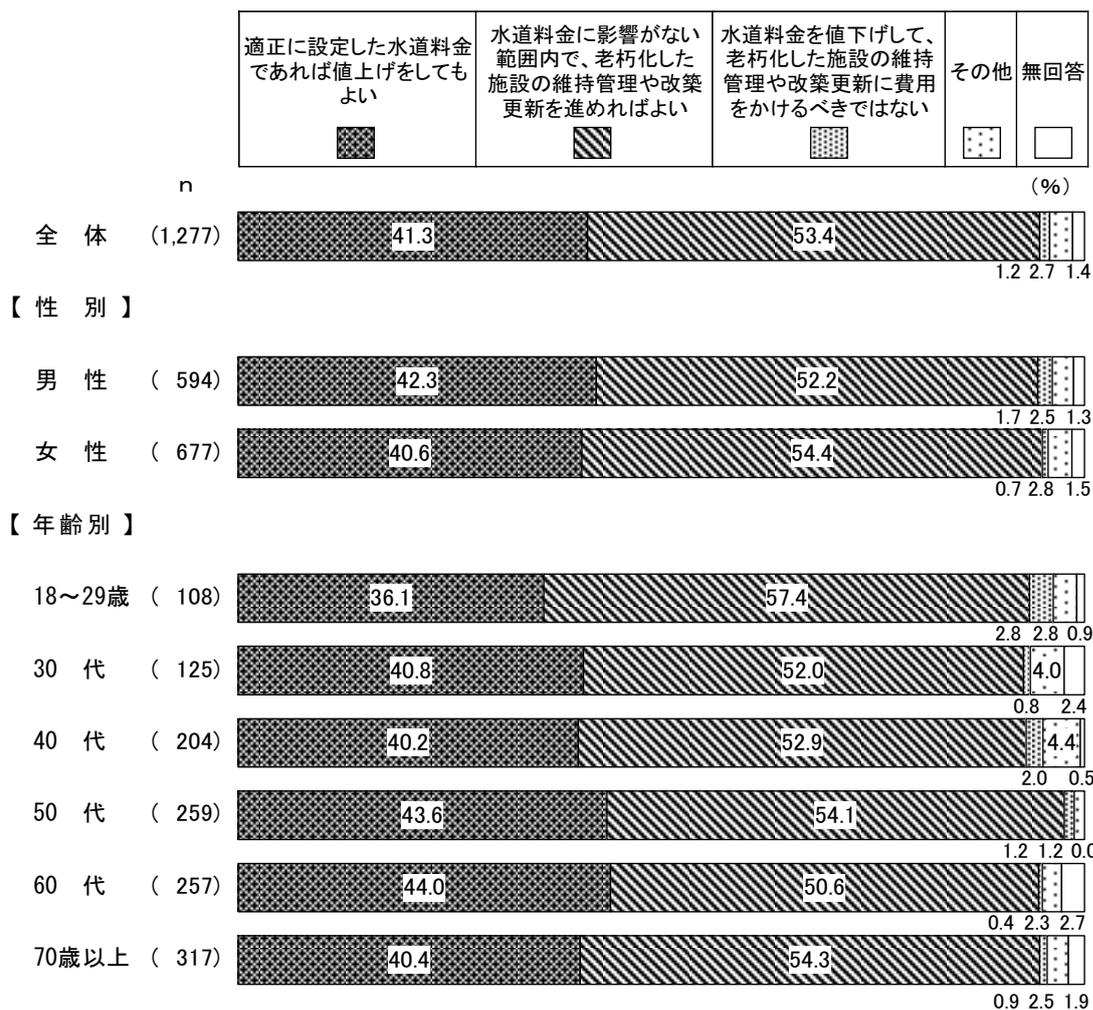
「水道料金に影響がない範囲内で、老朽化した施設の維持管理や改築更新を進めればよい」は、「日常生活に欠かせないライフラインであるが、水道料金に影響がない範囲内で、老朽化した施設の維持管理や改築更新を進めればよい」

安定した水道水の供給のための費用負担について聞いたところ、「日常生活に欠かせないライフラインであるが、水道料金に影響がない範囲内で、老朽化した施設の維持管理や改築更新を進めればよい」(53.4%)が5割を超え、「日常生活に欠かせないライフラインなので、老朽化した施設の維持管理や改築更新のためには、維持管理の効率化を図った上で、適正に設定した水道料金であれば値上げをしてもよい」(41.3%)が4割を超えて高くなっている。(図6-7-1)

性別にみると、大きな違いはみられない。

年齢別にみると、「日常生活に欠かせないライフラインなので、老朽化した施設の維持管理や改築更新のためには、維持管理の効率化を図った上で、適正に設定した水道料金であれば値上げをしてもよい」は60代（44.0%）で4割半ばと高くなっている。「日常生活に欠かせないライフラインであるが、水道料金に影響がない範囲内で、老朽化した施設の維持管理や改築更新を進めればよい」は18～29歳（57.4%）で6割近くと高くなっている。（図6-7-2）

図6-7-2 水道事業の費用負担（性別・年齢別）



※選択肢を一部省略して表記している。

「適正に設定した水道料金であれば値上げをしてもよい」は、「日常生活に欠かせないライフラインなので、老朽化した施設の維持管理や改築更新のためには、維持管理の効率化を図った上で、適正に設定した水道料金であれば値上げをしてもよい」

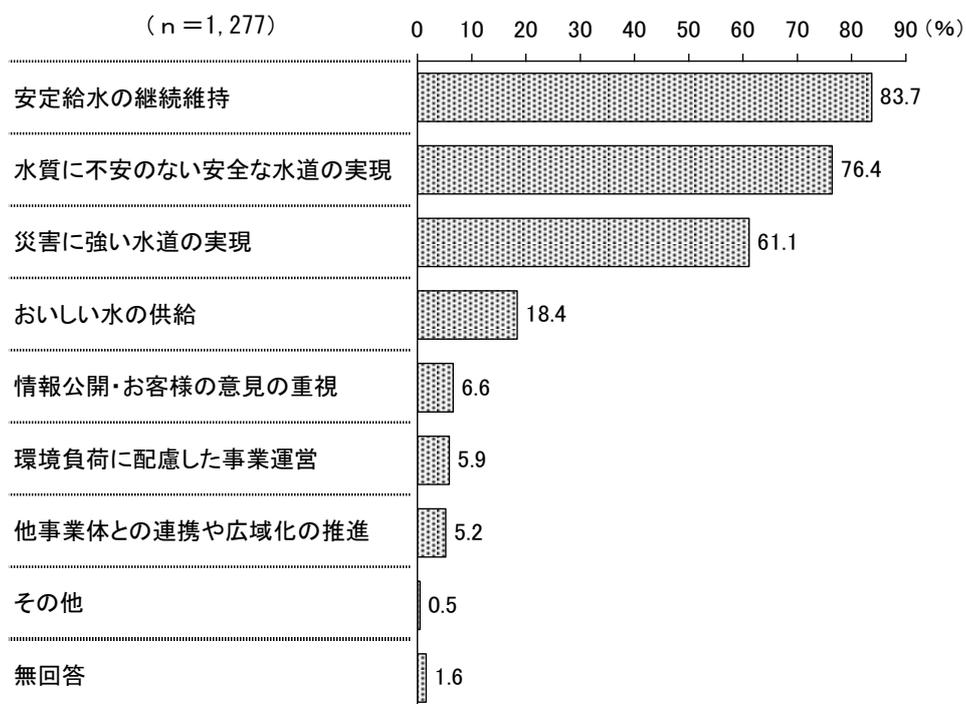
「水道料金に影響がない範囲内で、老朽化した施設の維持管理や改築更新を進めればよい」は、「日常生活に欠かせないライフラインであるが、水道料金に影響がない範囲内で、老朽化した施設の維持管理や改築更新を進めればよい」

(8) 優先的に実施すべき水道事業の取り組み

◇「安定給水の継続維持」が8割を超える

問 22 あなたは、今後の水道事業の取り組みについて、適切なコストをかけて優先的に実施すべきと思う取り組みはどれだと思いますか。次の中から選んでください。(〇は3つまで)

図 6-8-1 優先的に実施すべき水道事業の取り組み

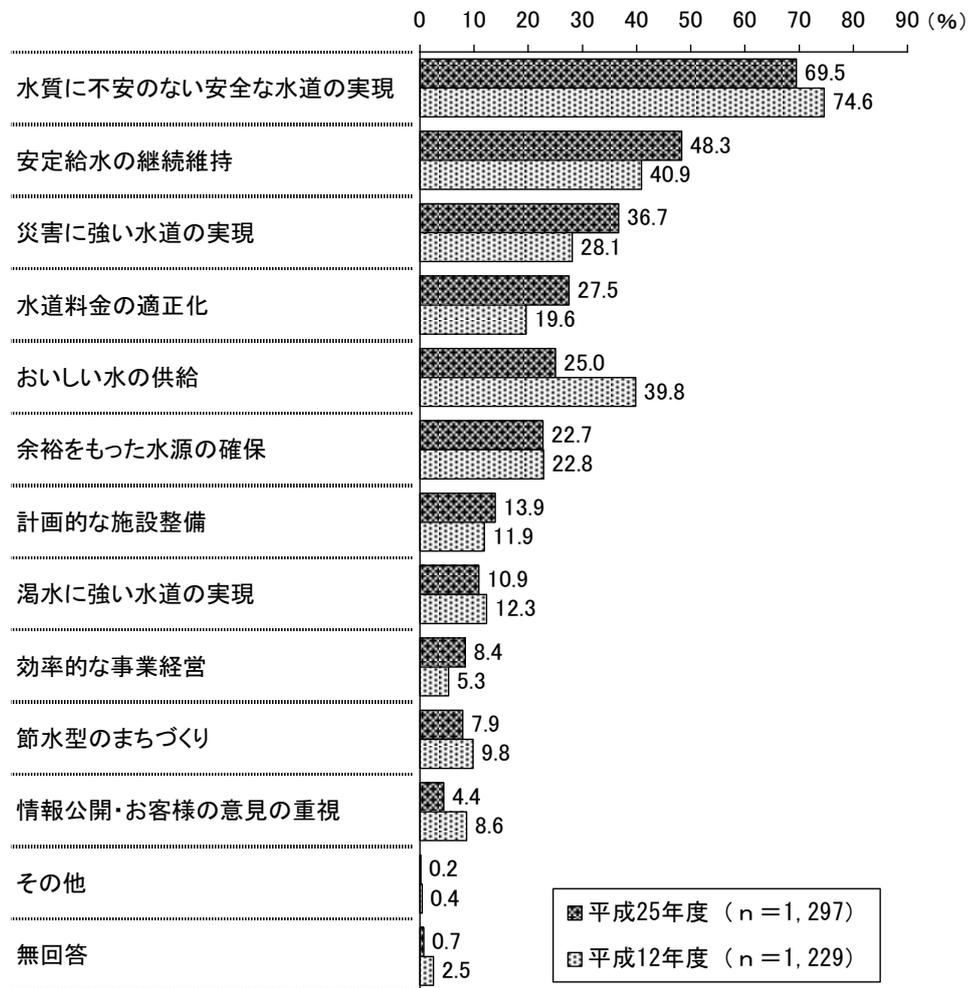


水道事業の取り組みについて、適切なコストをかけて優先的に実施すべきと思う取り組みを聞いたところ、「安定給水の継続維持」(83.7%)が8割を超えて最も高く、次いで「水質に不安のない安全な水道の実現」(76.4%)、「災害に強い水道の実現」(61.1%)、「おいしい水の供給」(18.4%)となっている。(図6-8-1)

過去の調査との比較は、選択肢が大幅に異なるため、過年度結果を参考に図示する。

(図 6-8-2)

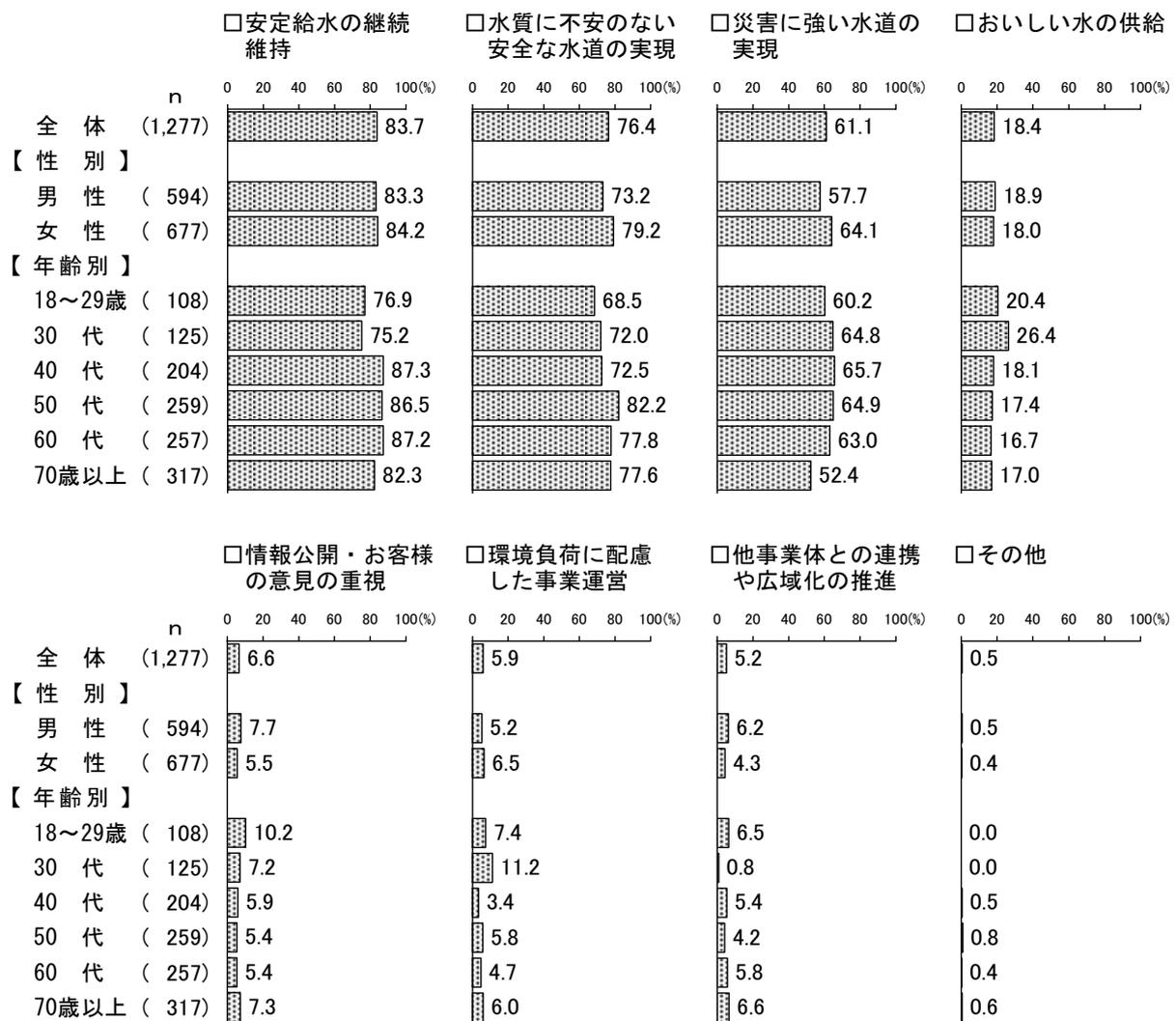
図 6-8-2 優先的に実施すべき水道事業の取り組み（過年度結果）



性別にみると、「災害に強い水道の実現」は女性（64.1%）が男性（57.7%）より6.4ポイント、「水質に不安のない安全な水道の実現」は女性（79.2%）が男性（73.2%）より6.0ポイント、それぞれ高くなっている。

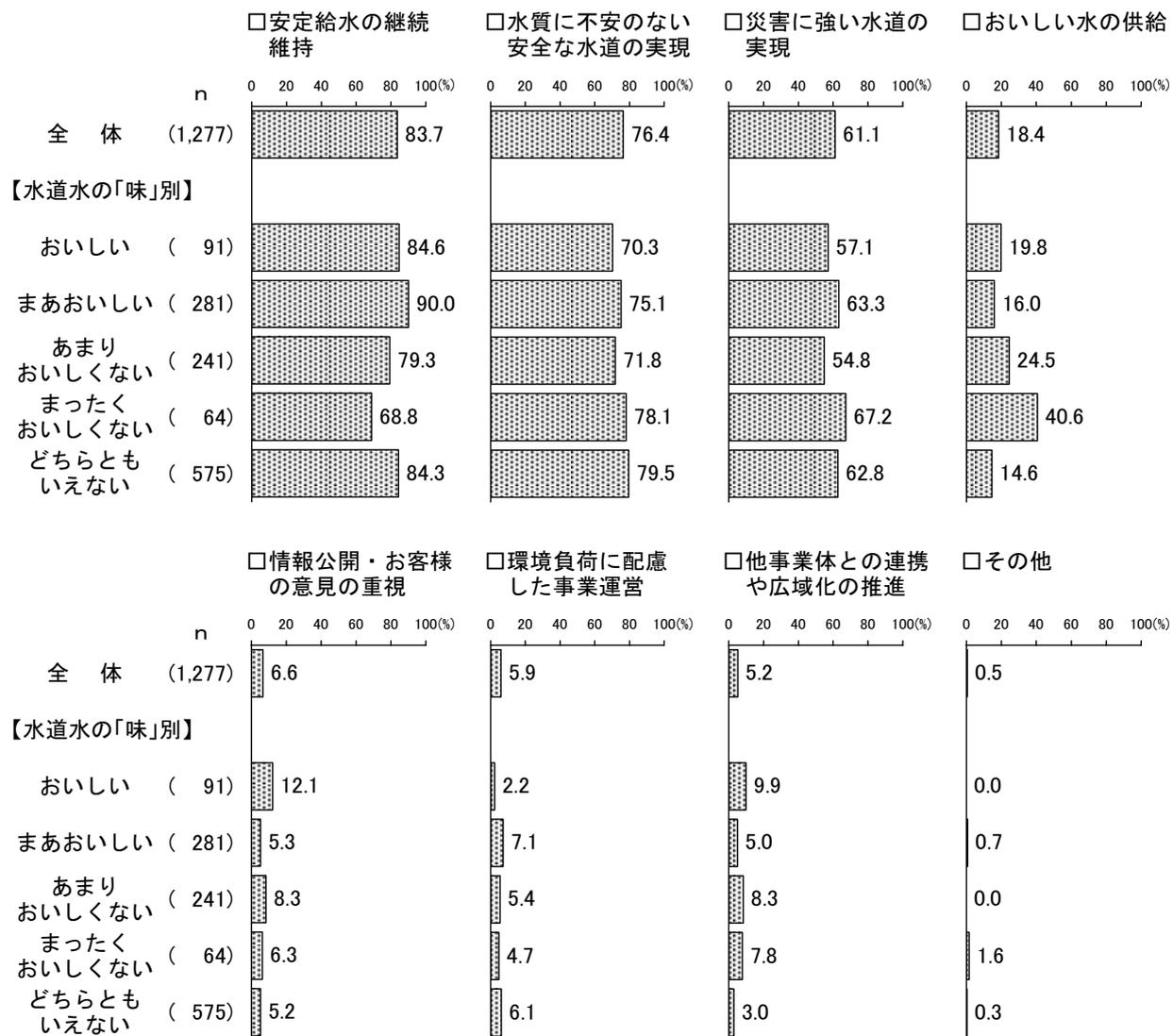
年齢別にみると、「水質に不安のない安全な水道の実現」は50代（82.2%）で8割を超えて高くなっている。「おいしい水の供給」は30代（26.4%）で2割半ばと高くなっている。（図6-8-3）

図6-8-3 優先的に実施すべき水道事業の取り組み（性別・年齢別）



水道水の「味」別にみると、「安定給水の継続維持」は“まあおいしいと感じる人”（90.0%）で9割と高くなっている。「おいしい水の供給」は“まったくおいしくないと感じる人”（40.6%）で約4割と高くなっている。（図6-8-4）

図6-8-4 優先的に実施すべき水道事業の取り組み（水道水の「味」別）



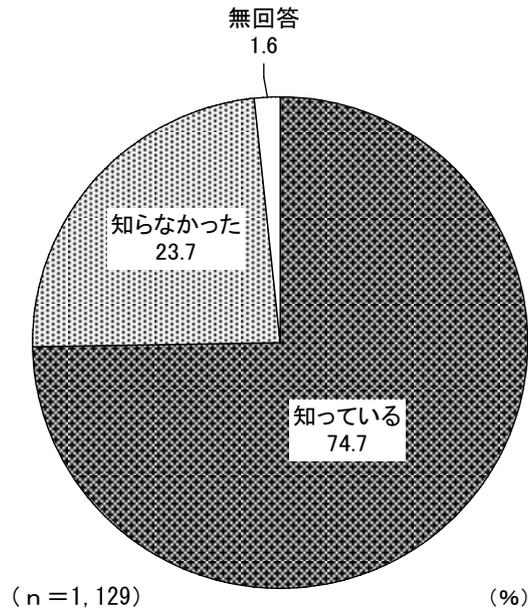
7. 下水道使用料について

(1) 下水道使用料の認知度

◇「知っている」が7割半ば

問 23 下水道使用料は2カ月に1度（水道料金と合わせて）お支払いいただいておりますが、あなたは、ご自宅の下水道使用料がおよそいくらかご存知ですか。（○は1つだけ）

図 7-1-1 下水道使用料の認知度



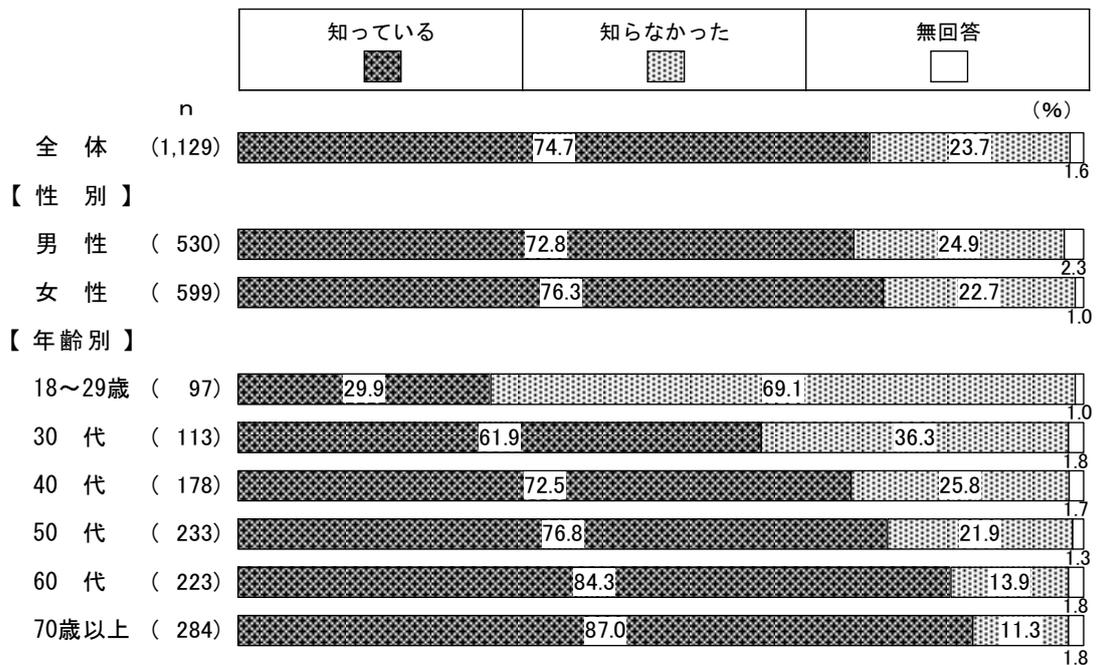
自宅の下水道使用料を知っているか聞いたところ、「知っている」(74.7%)が7割半ば、「知らなかった」(23.7%)は2割を超えている。(図 7-1-1)

性別にみると、「知っている」は女性（76.3%）が男性（72.8%）より 3.5 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「知っている」は年齢が上がるほど割合が高く、70 歳以上（87.0%）で 9 割近くと高くなっている。一方、「知らなかった」は 18～29 歳（69.1%）で約 7 割と高くなっている。

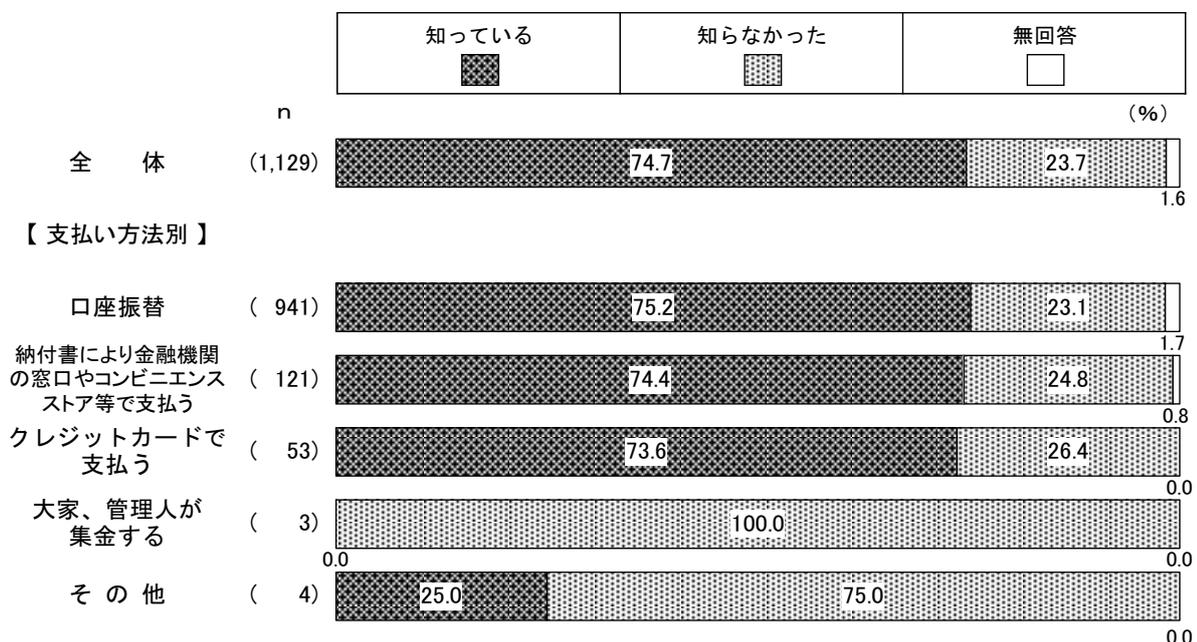
（図 7-1-2）

図 7-1-2 下水道使用料の認知度（性別・年齢別）



支払い方法別にみると、大きな違いはみられない。（図 7-1-3）

図 7-1-3 下水道使用料の認知度（支払い方法別）

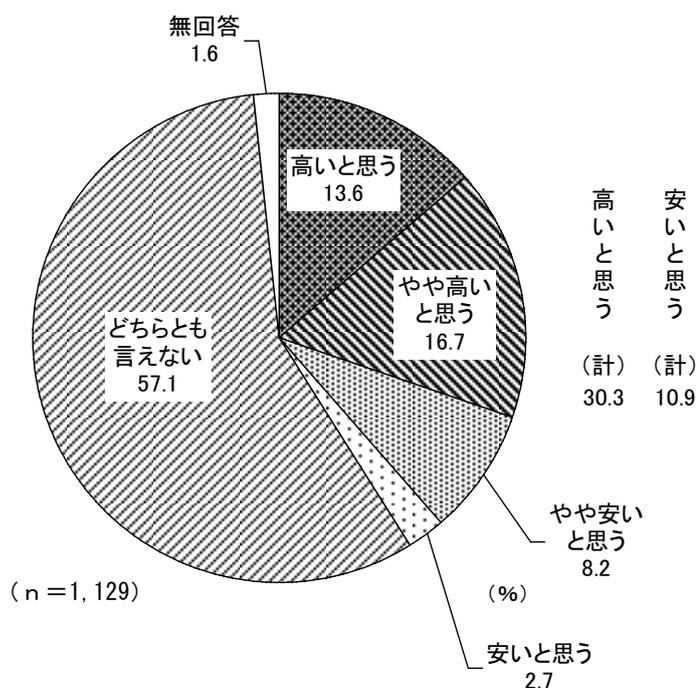


(2) 他の公共料金との比較

◇『高いと思う(計)』が3割

問 24 下水道使用料は、他の公共料金と比べて高いと思いますか。それとも安いと思いますか。
ただし、下水道使用料は2カ月分ですので、1/2で比較してください。(○は1つだけ)

図 7-2-1 他の公共料金との比較



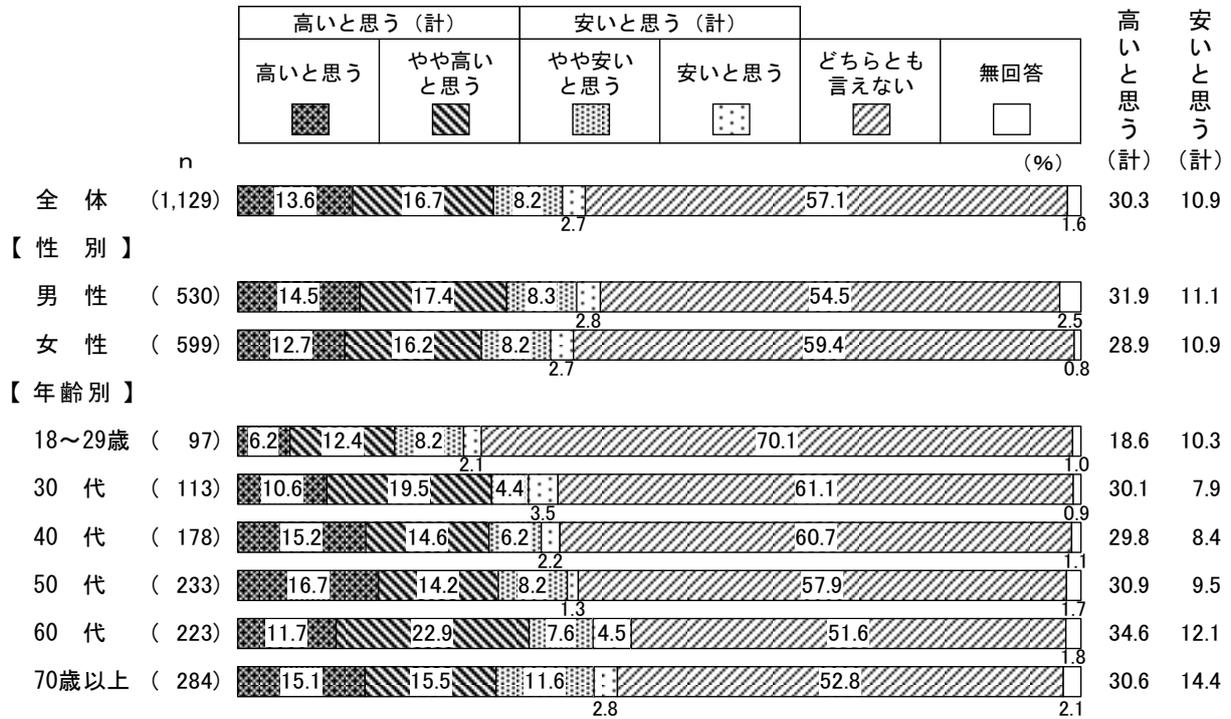
下水道使用料は、他の公共料金と比べて高いと思うか、安いと思うか聞いたところ、「どちらとも言えない」(57.1%)が6割近くで最も高くなっている。また、「高いと思う」(13.6%)と「やや高いと思う」(16.7%)を合わせた『高いと思う(計)』(30.3%)は3割となっている。一方、「やや安いと思う」(8.2%)と「安いと思う」(2.7%)を合わせた『安いと思う(計)』(10.9%)は約1割となっている。(図7-2-1)

性別にみると、『高いと思う（計）』は男性（31.9%）が女性（28.9%）より3.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『高いと思う（計）』は60代（34.6%）で3割半ばと高くなっている。

（図7-2-2）

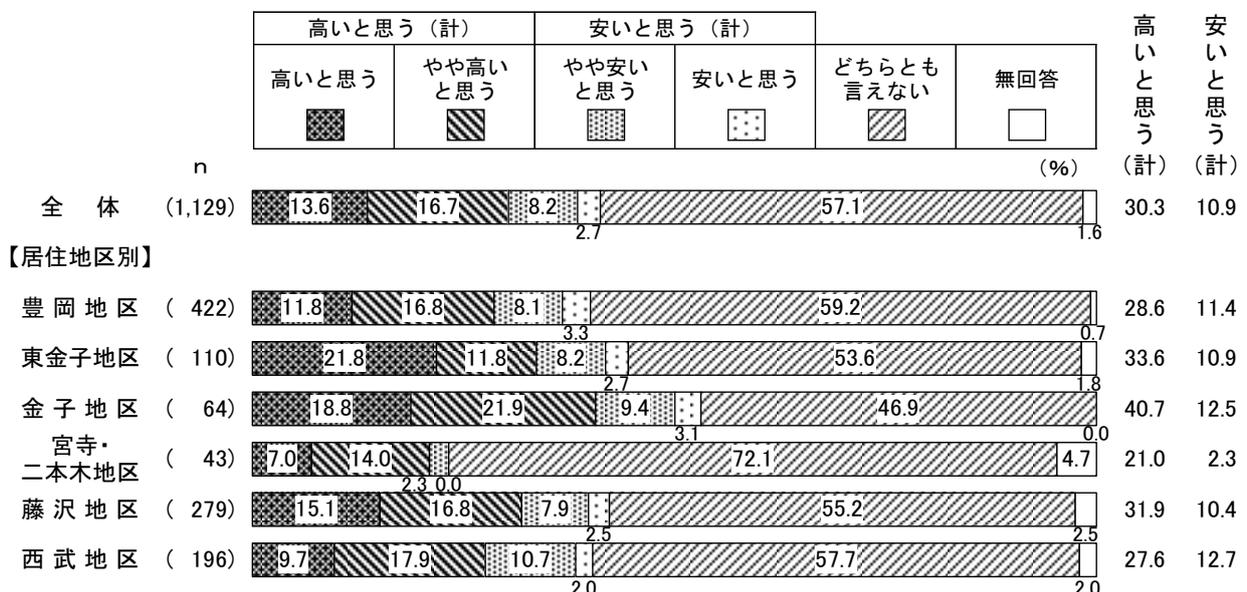
図7-2-2 他の公共料金との比較（性別・年齢別）



居住地区別にみると、『高いと思う（計）』は金子地区（40.7%）で約4割と高くなっている。

（図7-2-3）

図7-2-3 他の公共料金との比較（居住地区別）



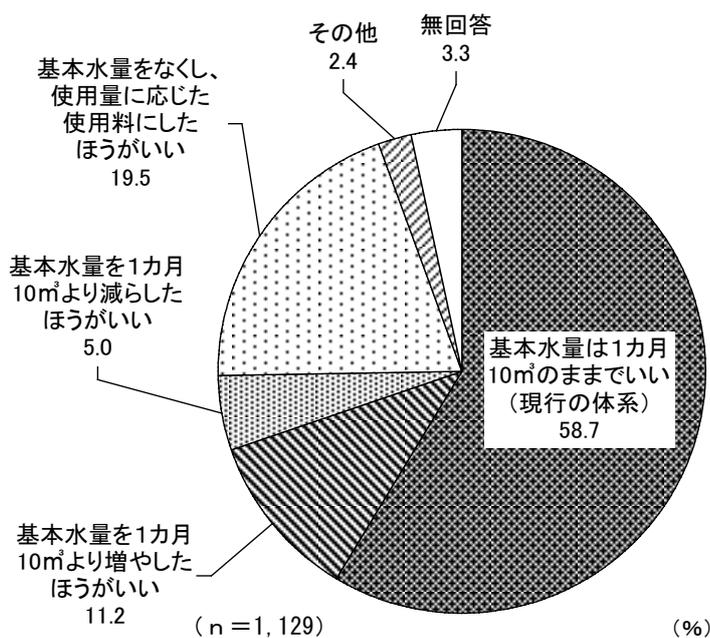
(3) 使用料体系

◇「基本水量は1カ月 10 m³のままでいい（現行の体系）」が6割近く

問 25 入間市の下水道使用料は基本使用料と従量使用料の合計でご負担いただいております。基本使用料には1カ月で 10 m³までの基本水量が設定されており、この範囲内であれば使用量に関わらず同額の負担となるため、「節水をしたとしても使用料が変わらないのでは努力が報われない」などの意見もあります。

あなたは、この使用料体系についてどのように考えますか。（○は1つだけ）

図 7-3-1 使用料体系

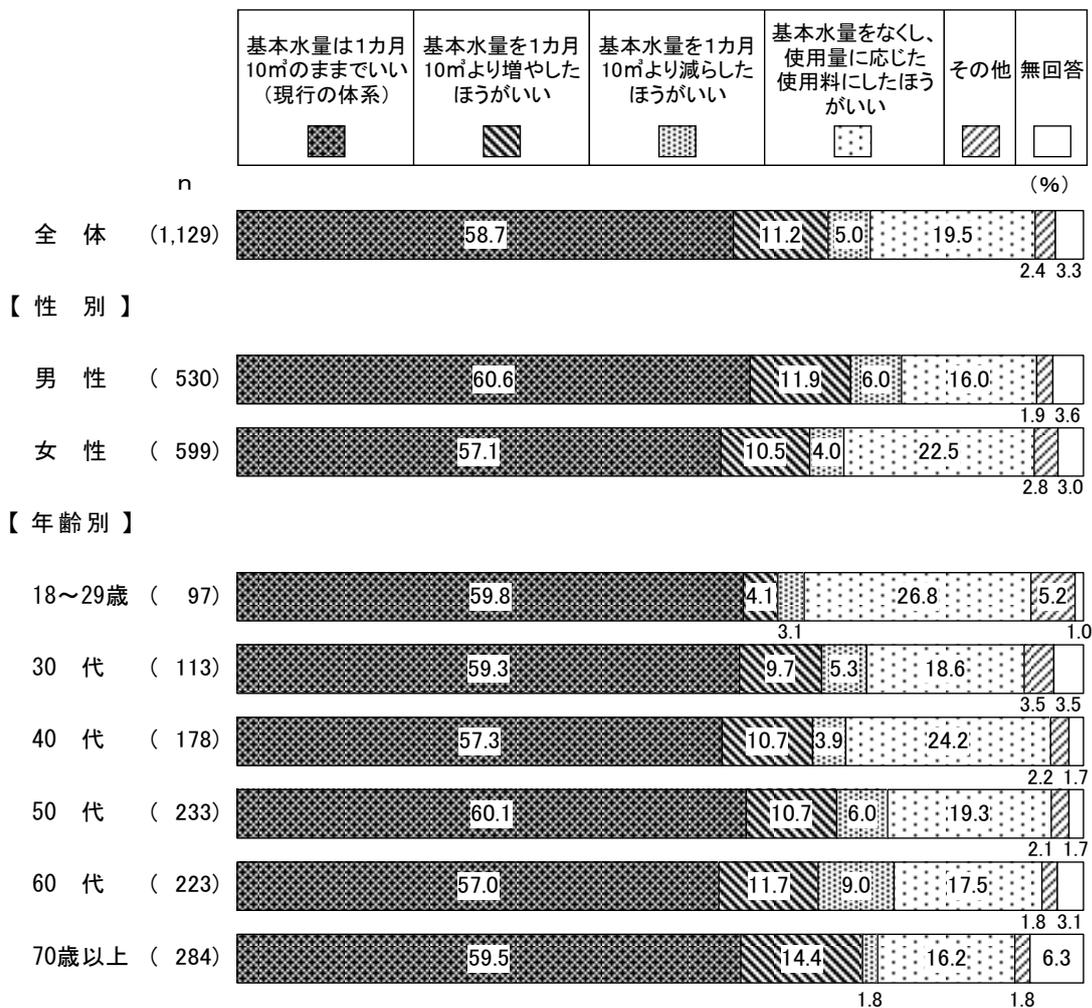


下水道使用料の使用料体系について聞いたところ、「基本水量は1カ月 10 m³のままでいい（現行の体系）」（58.7%）が6割近くで最も高く、次いで「基本水量をなくし、使用量に応じた使用料にしたほうがいい」（19.5%）、「基本水量を1カ月 10 m³より増やしたほうがいい」（11.2%）となっている。（図 7-3-1）

性別にみると、「基本水量をなくし、使用量に応じた使用料にしたほうがいい」は女性（22.5%）が男性（16.0%）より6.5ポイント高くなっている。一方、「基本水量は1カ月10m³のままでいい（現行の体系）」は男性（60.6%）が女性（57.1%）より3.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「基本水量をなくし、使用量に応じた使用料にしたほうがいい」は18～29歳（26.8%）で3割近くと高くなっている。（図7-3-2）

図7-3-2 使用料体系（性別・年齢別）



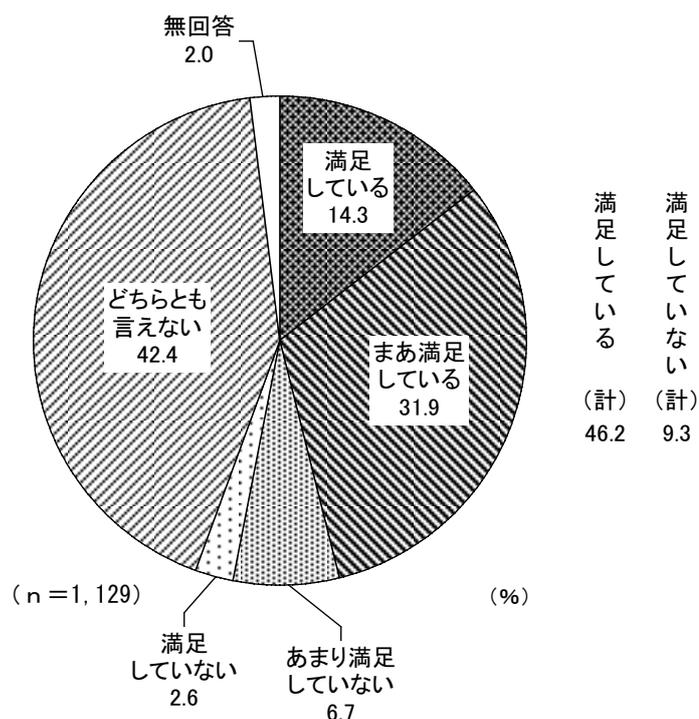
8. 下水道事業について

(1) 下水道サービスに対する満足度

◇『満足している（計）』が4割半ば

問 26 電気・ガスなど他の公共事業と比較し、現在の下水道サービスに対してあなたは満足していますか。(○は1つだけ)

図8-1-1 下水道サービスに対する満足度



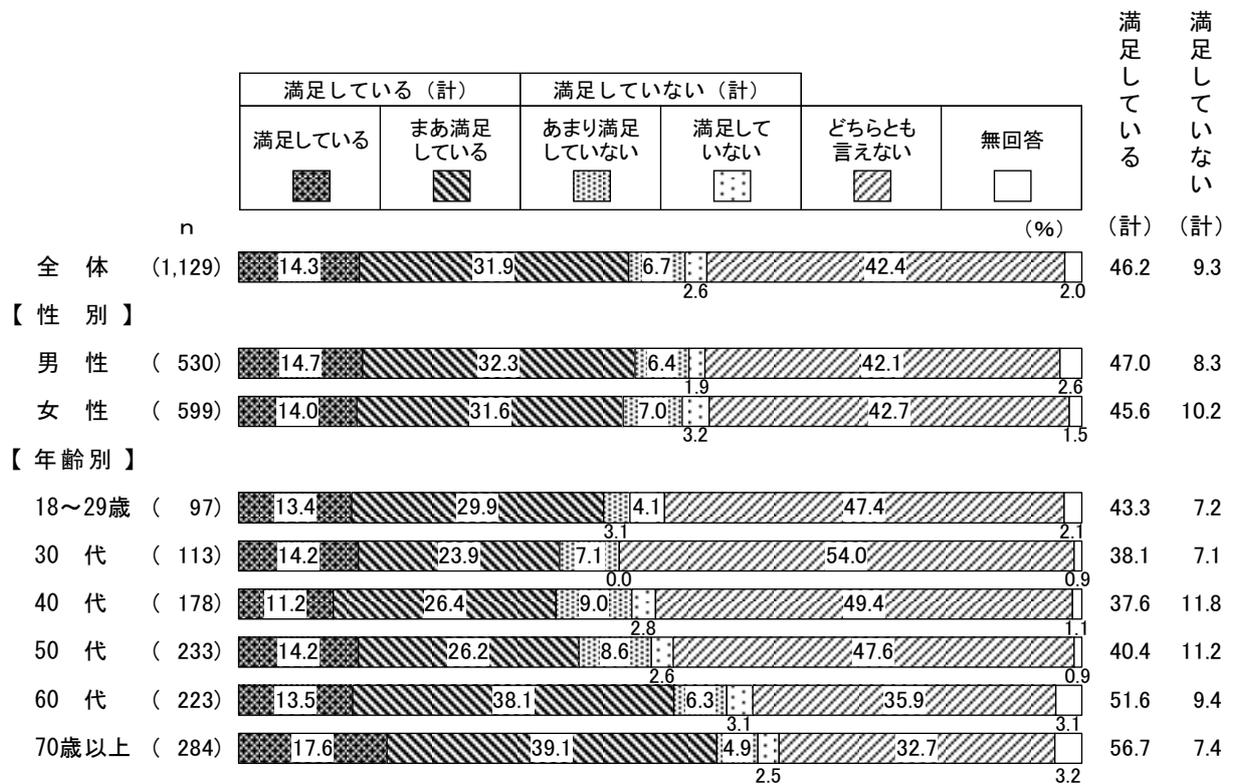
現在の下水道サービスに対して満足しているか聞いたところ、「どちらとも言えない」(42.4%)が4割を超えて最も高くなっている。また、「満足している」(14.3%)と「まあ満足している」(31.9%)を合わせた『満足している (計)』(46.2%)は4割半ばとなっている。一方、「あまり満足していない」(6.7%)と「満足していない」(2.6%)を合わせた『満足していない (計)』(9.3%)は約1割となっている。(図8-1-1)

性別にみると、大きな違いはみられない。

年齢別にみると、『満足している（計）』は70歳以上（56.7%）で6割近くと高くなっている。

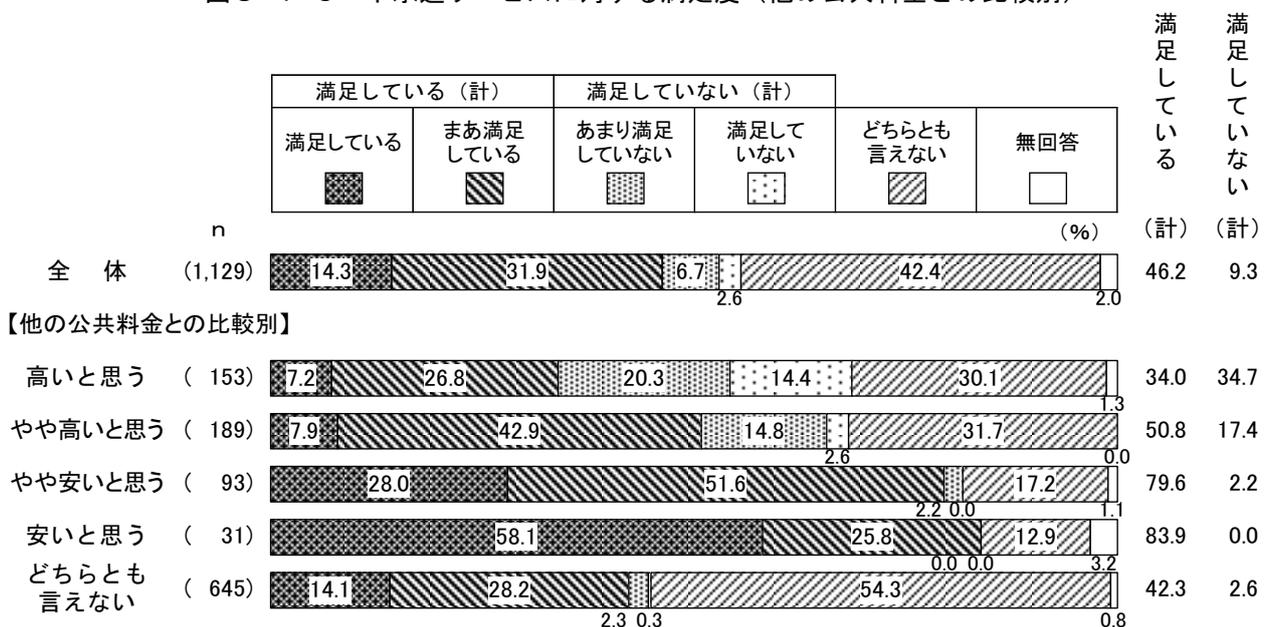
（図8-1-2）

図8-1-2 下水道サービスに対する満足度（性別・年齢別）



他の公共料金との比較別にみると、『満足している（計）』は“他の公共料金と比べて安いと思う人”（83.9%）で8割を超えて高くなっている。一方、『満足していない（計）』は“他の公共料金と比べて高いと思う人”（34.7%）で3割半ばと高くなっている。（図8-1-3）

図8-1-3 下水道サービスに対する満足度（他の公共料金との比較別）



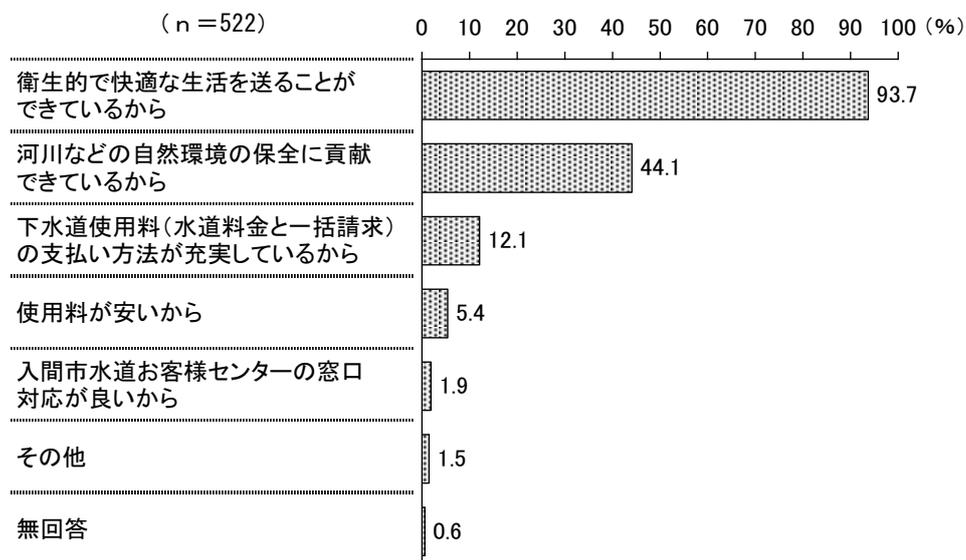
(2) 満足している理由

◇「衛生的で快適な生活を送ることができているから」が9割を超える

(問26で、「満足している」「まあ満足している」とお答えの方に)

問26-1 その理由をお答えください。(〇は2つまで)

図8-2-1 満足している理由



現在の下水道サービスに「満足している」「まあ満足している」と答えた人に、その理由を聞いたところ、「衛生的で快適な生活を送ることができているから」(93.7%)が9割を超えて最も高く、次いで「河川などの自然環境の保全に貢献できているから」(44.1%)、「下水道使用料(水道料金と一括請求)の支払い方法が充実しているから」(12.1%)となっている。(図8-2-1)

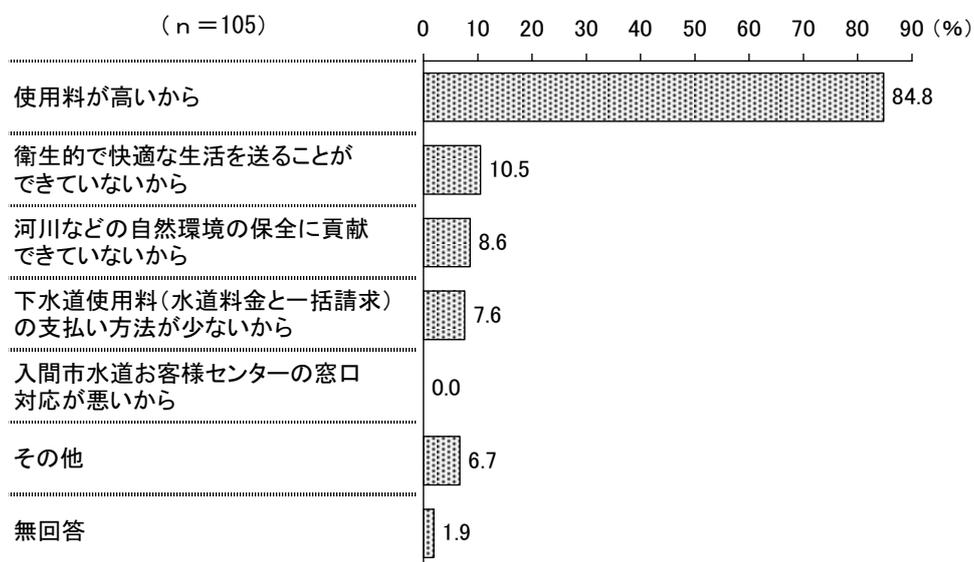
(3) 満足していない理由

◇「使用料が高いから」が8割半ば

(問 26 で、「あまり満足していない」「満足していない」とお答えの方に)

問 26-2 その理由をお答えください。(○は2つまで)

図 8-3-1 満足していない理由

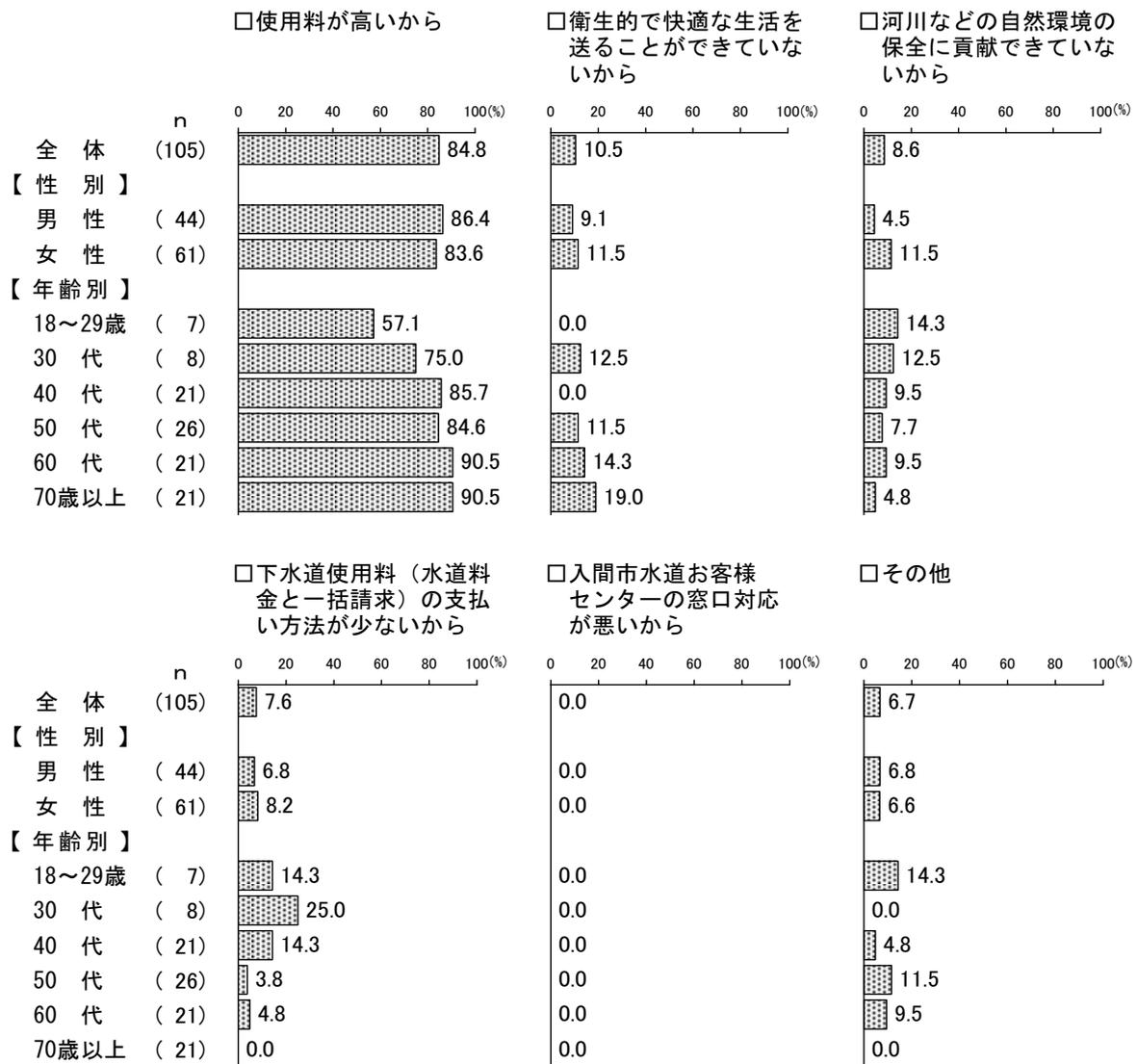


現在の下水道サービスに「あまり満足していない」「満足していない」と答えた人に、その理由を聞いたところ、「使用料が高いから」(84.8%)が8割半ばで最も高く、次いで「衛生的で快適な生活を送ることができていないから」(10.5%)、「河川などの自然環境の保全に貢献できていないから」(8.6%)となっている。(図 8-3-1)

性別にみると、「河川などの自然環境の保全に貢献できていないから」は女性（11.5%）が男性（4.5%）より7.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「使用料が高いから」は60代と70歳以上（ともに90.5%）で約9割と高くなっている。（図8-3-2）

図8-3-2 満足していない理由（性別・年齢別）



(4) 下水道運営の費用負担

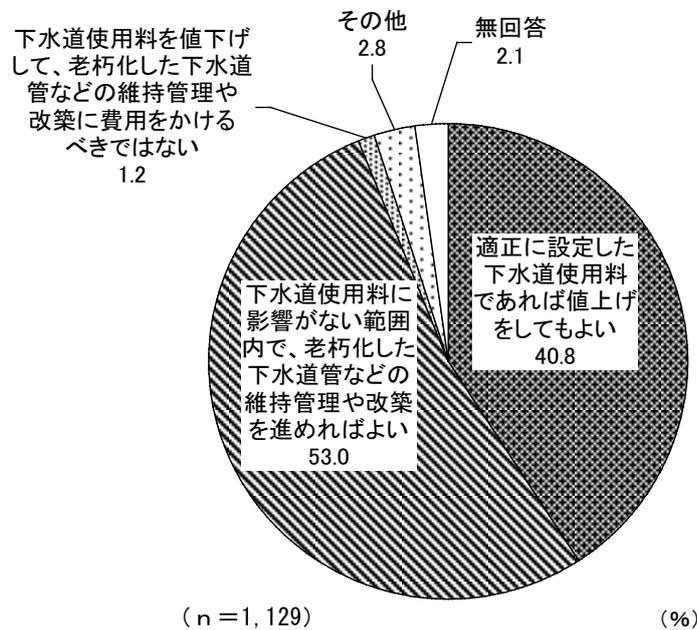
◇「日常生活に欠かせないライフラインであるが、下水道使用料に影響がない範囲内で、老朽化した下水道管などの維持管理や改築を進めればよい」が5割を超える

問 27 安定した下水道運営のためには、老朽化した下水道管などの維持管理や改築が必要になりますが、その事業費は下水道使用料としてご負担いただくこととなります。また、平成28年度に策定した「入間市下水道事業中長期経営計画」では、令和5年度に使用料を改定する試算を行っています。

安定した下水道運営のための費用負担について、あなたはどのように思いますか。

(○は1つだけ)

図8-4-1 下水道運営の費用負担



※選択肢を一部省略して表記している。

「適正に設定した下水道使用料であれば値上げをしてもよい」は、「日常生活に欠かせないライフラインなので、老朽化した下水道管などの維持管理や改築のためには、維持管理の効率化を図った上で、適正に設定した下水道使用料であれば値上げをしてもよい」

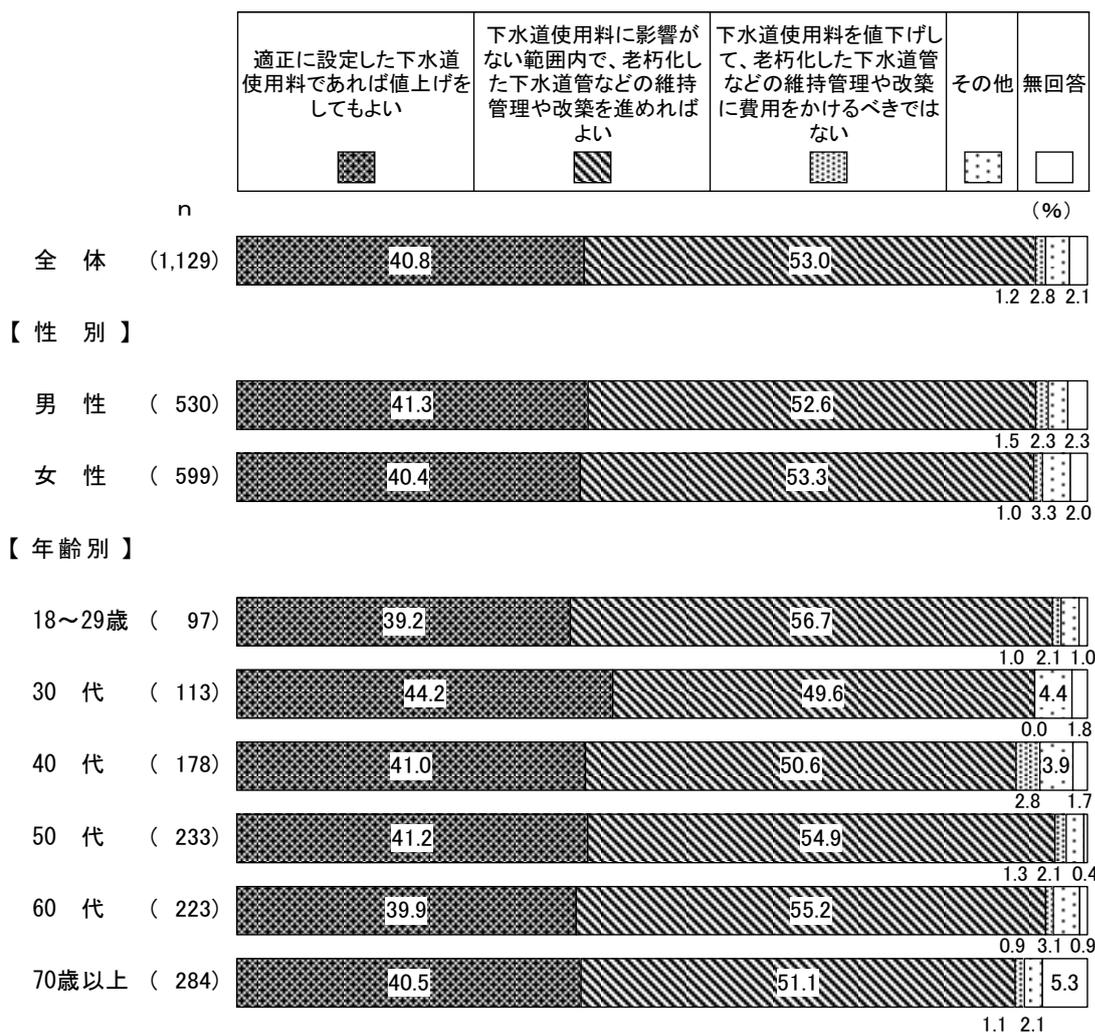
「下水道使用料に影響がない範囲内で、老朽化した下水道管などの維持管理や改築を進めればよい」は、「日常生活に欠かせないライフラインであるが、下水道使用料に影響がない範囲内で、老朽化した下水道管などの維持管理や改築を進めればよい」

安定した下水道運営のための費用負担について聞いたところ、「日常生活に欠かせないライフラインであるが、下水道使用料に影響がない範囲内で、老朽化した下水道管などの維持管理や改築を進めればよい」(53.0%)が5割を超えて最も高く、次いで「日常生活に欠かせないライフラインなので、老朽化した下水道管などの維持管理や改築のためには、維持管理の効率化を図った上で、適正に設定した下水道使用料であれば値上げをしてもよい」(40.8%)となっている。(図8-4-1)

性別にみると、大きな違いはみられない。

年齢別にみると、「日常生活に欠かせないライフラインなので、老朽化した下水道管などの維持管理や改築のためには、維持管理の効率化を図った上で、適正に設定した下水道使用料であれば値上げをしてもよい」は30代（44.2%）で4割半ばと高くなっている。「日常生活に欠かせないライフラインであるが、下水道使用料に影響がない範囲内で、老朽化した下水道管などの維持管理や改築を進めればよい」は18～29歳（56.7%）で6割近くと高くなっている。（図8-4-2）

図8-4-2 下水道運営の費用負担（性別・年齢別）



※選択肢を一部省略して表記している。

「適正に設定した下水道使用料であれば値上げをしてもよい」は、「日常生活に欠かせないライフラインなので、老朽化した下水道管などの維持管理や改築のためには、維持管理の効率化を図った上で、適正に設定した下水道使用料であれば値上げをしてもよい」

「下水道使用料に影響がない範囲内で、老朽化した下水道管などの維持管理や改築を進めればよい」は、「日常生活に欠かせないライフラインであるが、下水道使用料に影響がない範囲内で、老朽化した下水道管などの維持管理や改築を進めればよい」

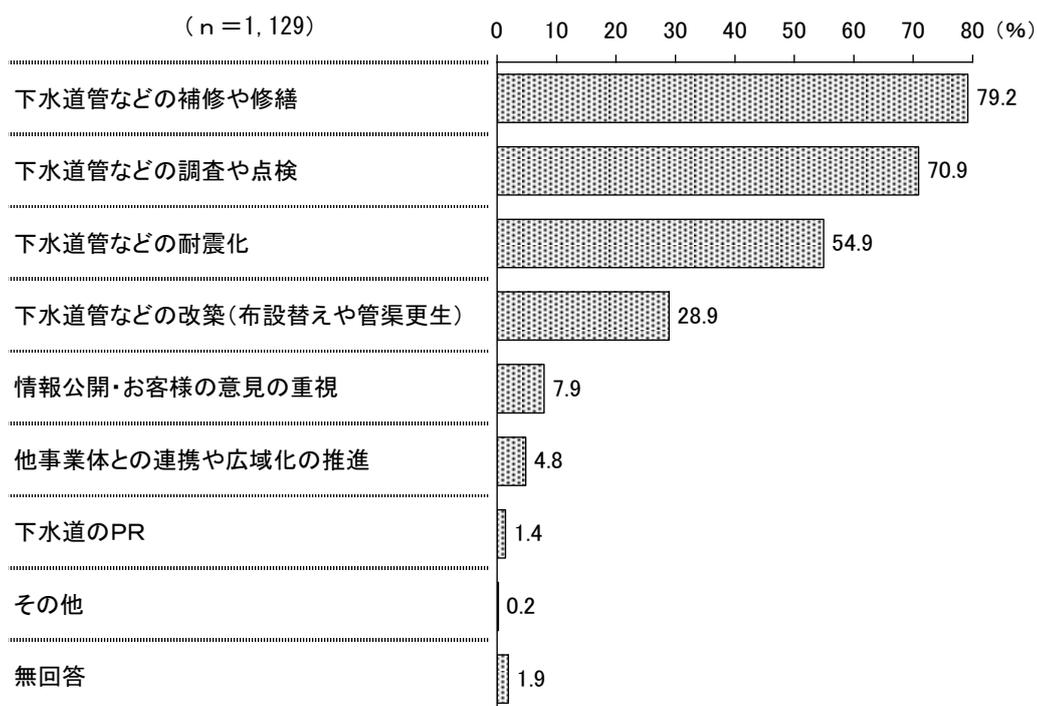
(5) 優先的に実施すべき下水道事業の取り組み

◇「下水道管などの補修や修繕」が約8割

問 28 あなたは、今後の下水道事業の取り組みについて、適切なコストをかけて優先的に実施すべきと思う取り組みはどれだと思いますか。次の中から選んでください。

(○は3つまで)

図 8-5-1 優先的に実施すべき下水道事業の取り組み

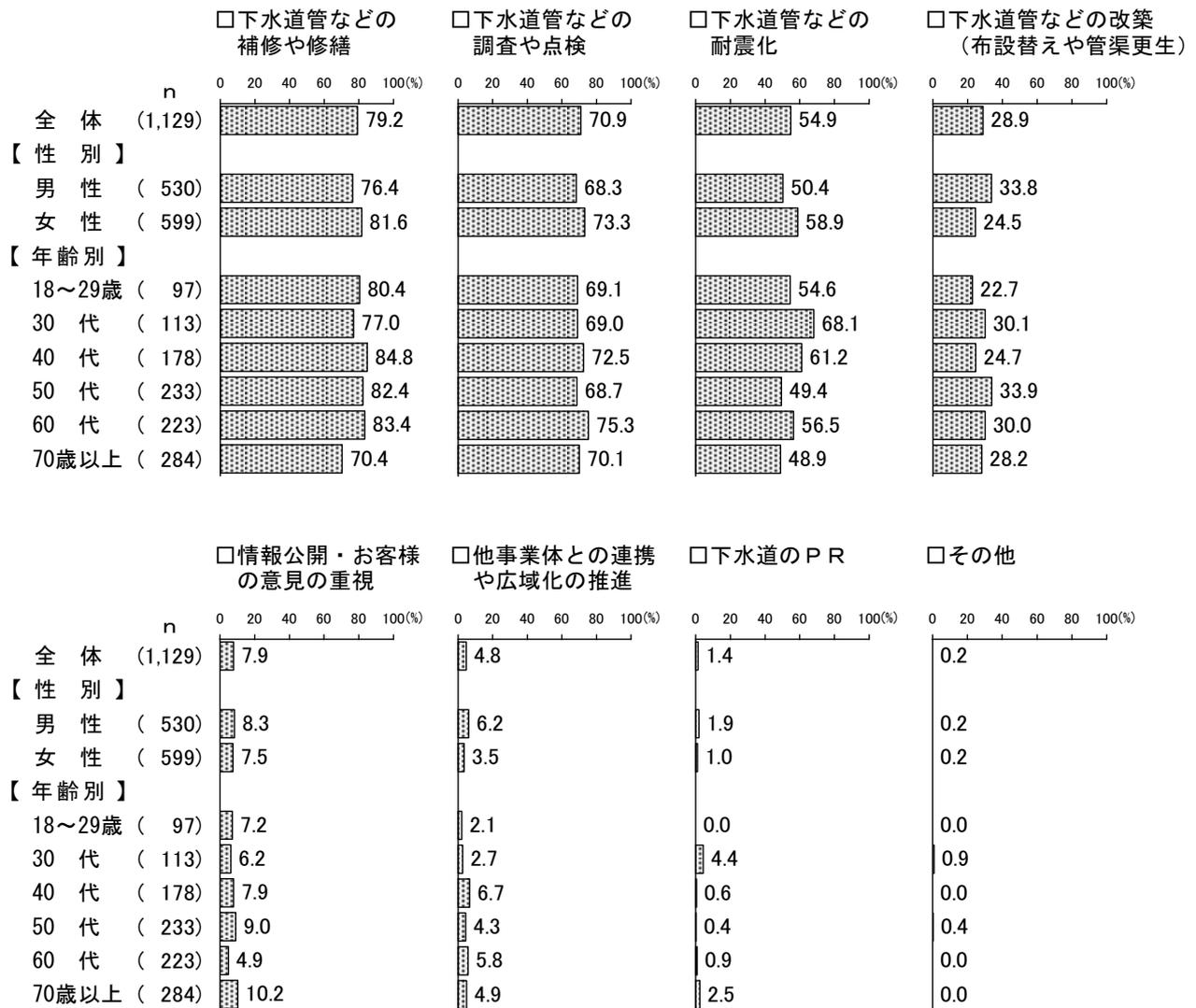


下水道事業の取り組みについて、適切なコストをかけて優先的に実施すべきと思う取り組みを聞いたところ、「下水道管などの補修や修繕」(79.2%)が約8割で最も高く、次いで「下水道管などの調査や点検」(70.9%)、「下水道管などの耐震化」(54.9%)、「下水道管などの改築(布設替えや管渠更生)」(28.9%)となっている。(図8-5-1)

性別にみると、「下水道管などの改築（布設替えや管渠更生）」は男性（33.8%）が女性（24.5%）より9.3ポイント高くなっている。一方、「下水道管などの耐震化」は女性（58.9%）が男性（50.4%）より8.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「下水道管などの調査や点検」は60代（75.3%）で7割半ばと高くなっている。「下水道管などの耐震化」は30代（68.1%）で7割近くと高くなっている。（図8-5-2）

図8-5-2 優先的に実施すべき下水道事業の取り組み（性別・年齢別）



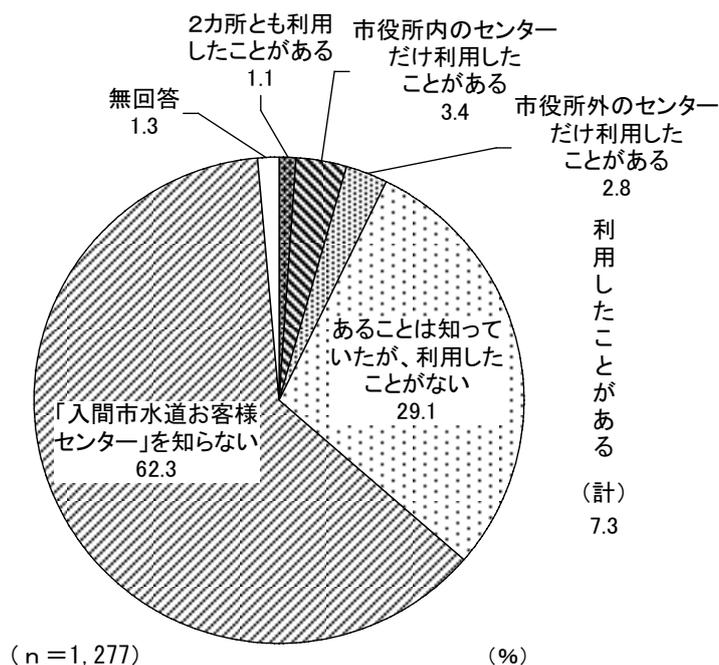
9. 水道お客様センター等について

(1) 「入間市水道お客様センター」の認知度

◇ 「『入間市水道お客様センター』を知らない」が6割を超える

問 29 上下水道部では、平成24年4月から水道料金・下水道使用料の収納、量水器の検針及び水道・下水道の使用の開始や中止の受付等を民間へ委託し、市役所内と市役所外の2カ所に「入間市水道お客様センター」を設置していますが、利用したことはありますか。(○は1つだけ)

図9-1-1 「入間市水道お客様センター」の認知度

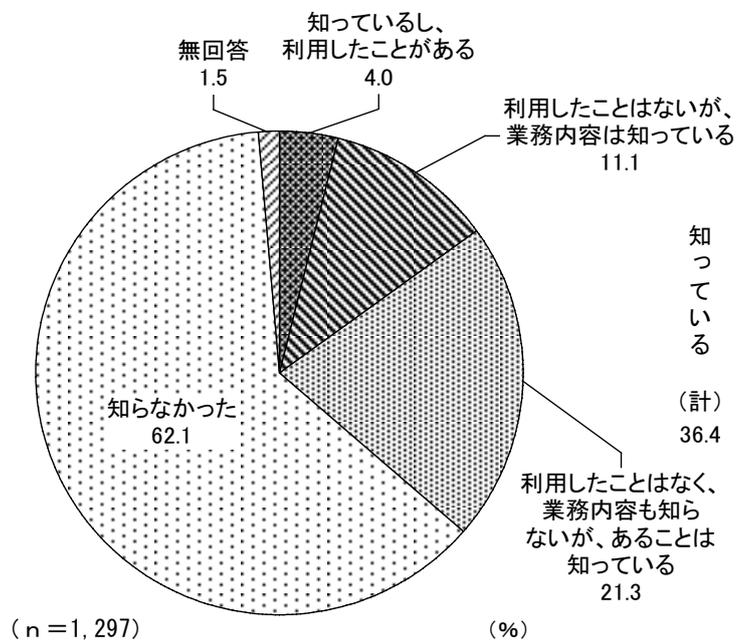


「入間市水道お客様センター」を利用したことはあるか聞いたところ、『入間市水道お客様センター』を知らない(62.3%)が6割を超えて最も高くなっている。また、「あることは知っていたが、利用したことがない」(29.1%)が約3割となっており、「2カ所とも利用したことがある」(1.1%)、「市役所内のセンターだけ利用したことがある」(3.4%)、「市役所外のセンターだけ利用したことがある」(2.8%)を合わせた『利用したことがある(計)』(7.3%)は1割未満となっている。(図9-1-1)

過去の調査との比較は、選択肢が大幅に異なるため、過年度結果を参考に図示する。

(図 9-1-2)

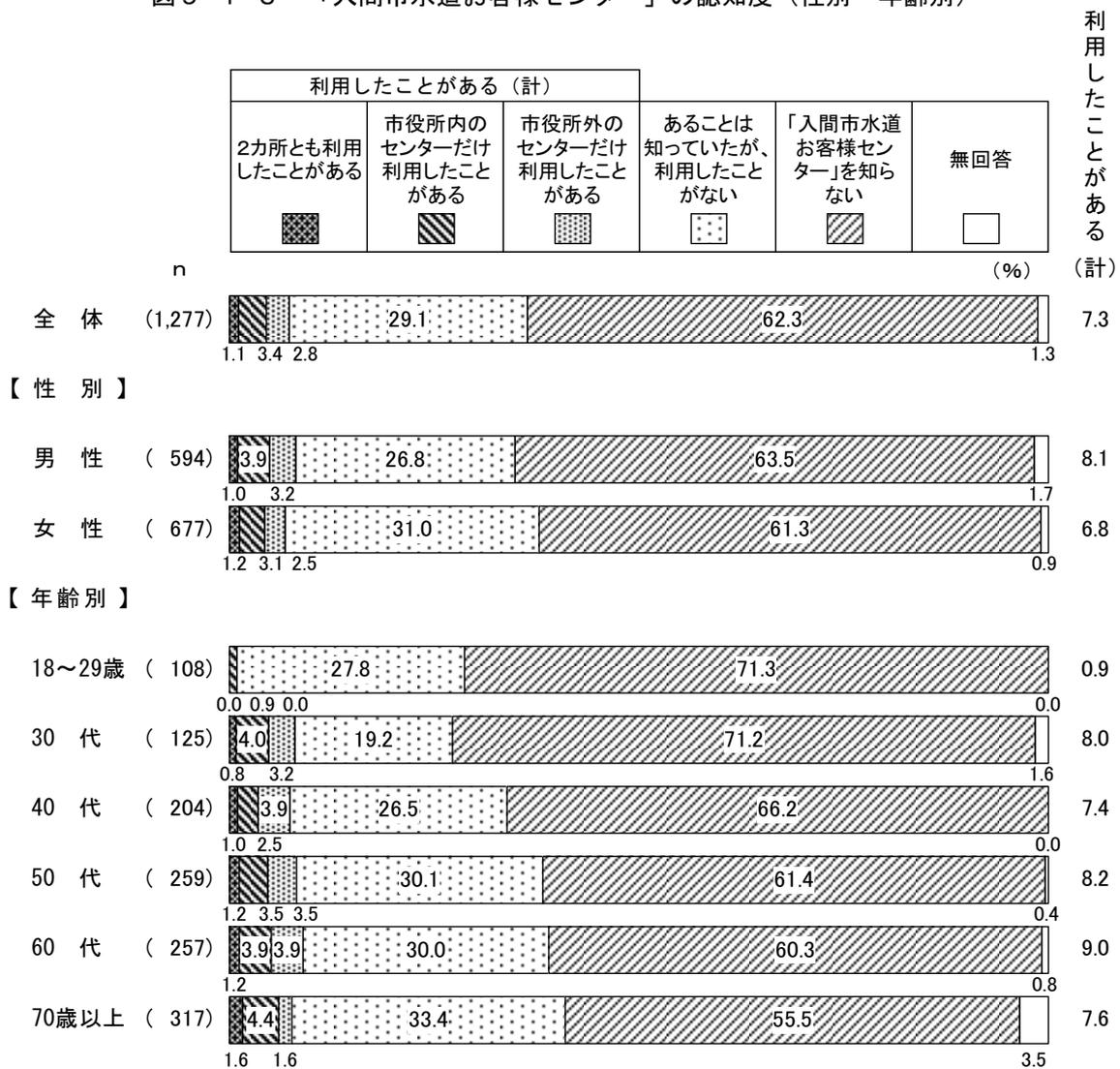
図 9-1-2 「入間市水道お客様センター」の認知度（過年度結果）



性別にみると、「あることは知っていたが、利用したことがない」は女性(31.0%)が男性(26.8%)より4.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「あることは知っていたが、利用したことがない」は70歳以上(33.4%)で3割を超えて高くなっている。「『入間市水道お客様センター』を知らない」は年齢が下がるほど割合が高く、18~29歳(71.3%)と30代(71.2%)で7割を超えて高くなっている。(図9-1-3)

図9-1-3 「入間市水道お客様センター」の認知度(性別・年齢別)



(2) 「入間市水道お客様センター」の設置箇所・開所時間等の見直し

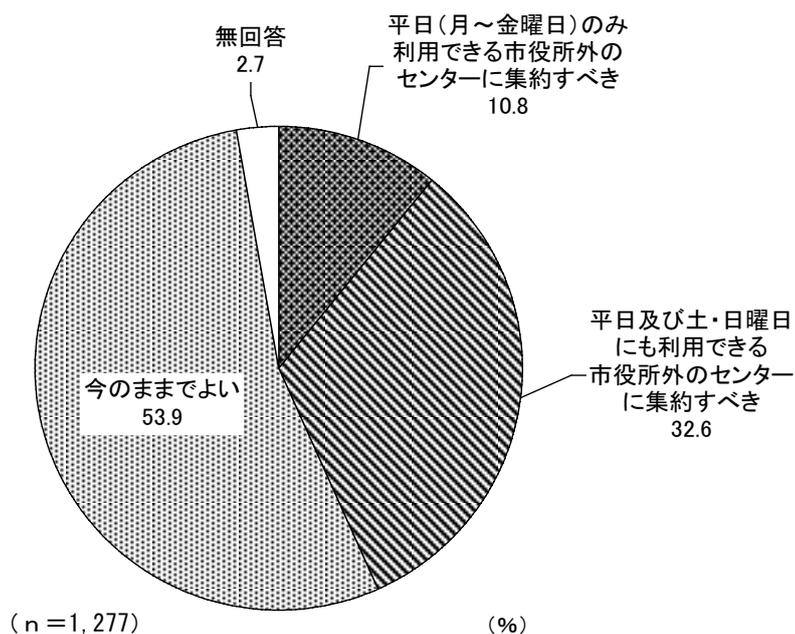
◇「今のままでよい」が5割を超える

問 30 経費削減を図るため、「入間市水道お客様センター」の設置箇所・開所時間等の見直しを検討しています。あなたの考えに近いものはどれですか。(○は1つだけ)

※現状の入間市水道お客様センターの開所日時(いずれも祝日・振替休日・年末年始は休業)

- ・市役所内 … 月～金曜日 8:30～17:15
- ・市役所外 … 月～金曜日 8:00～18:00
土・日曜日 8:00～12:00

図9-2-1 「入間市水道お客様センター」の設置箇所・開所時間等の見直し

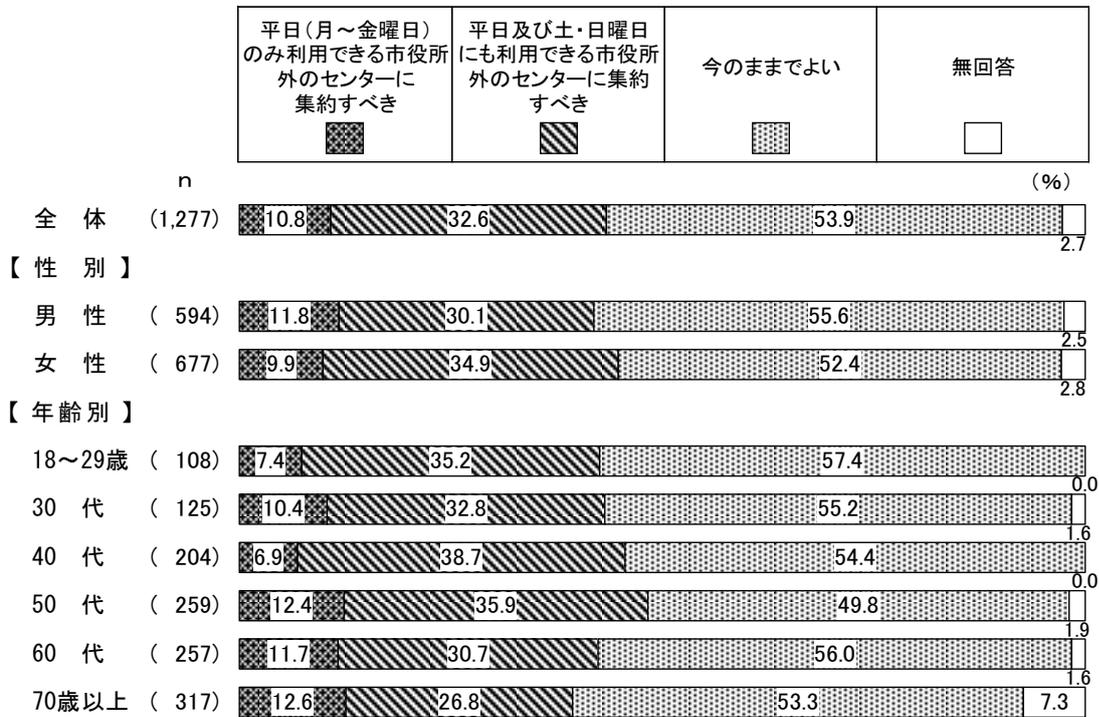


「入間市水道お客様センター」の設置箇所・開所時間等の見直しについて聞いたところ、「今のままでよい」(53.9%)が5割を超えて最も高く、次いで「平日及び土・日曜日にも利用できる市役所外のセンターに集約すべき」(32.6%)、「平日(月～金曜日)のみ利用できる市役所外のセンターに集約すべき」(10.8%)となっている。(図9-2-1)

性別にみると、「平日及び土・日曜日にも利用できる市役所外のセンターに集約すべき」は女性（34.9%）が男性（30.1%）より4.8ポイント高くなっている。一方、「今のままでよい」は男性（55.6%）が女性（52.4%）より3.2ポイント高くなっている。

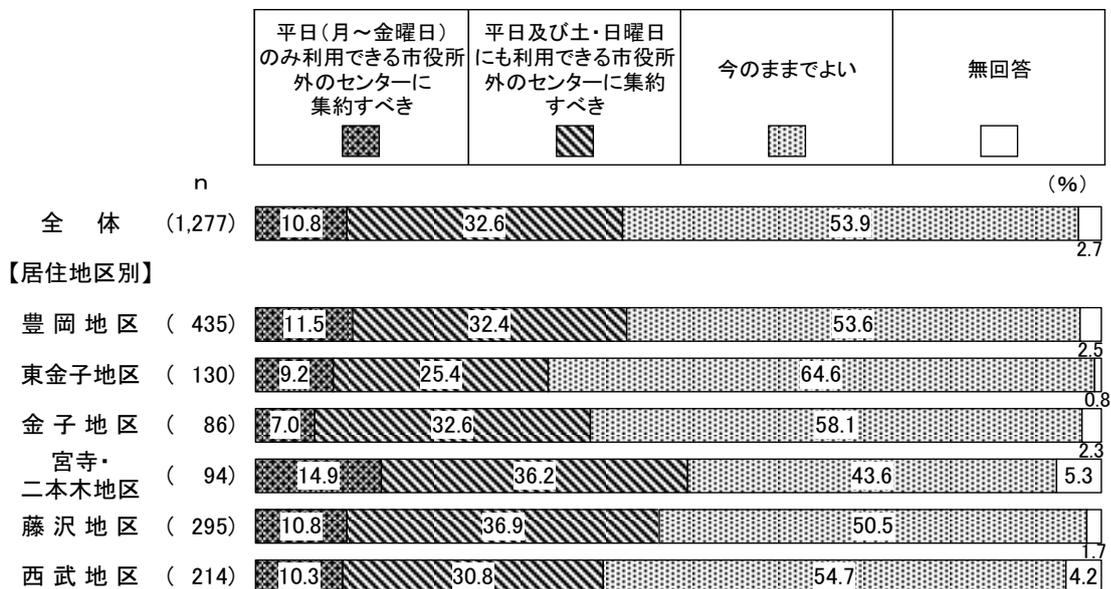
年齢別にみると、「平日及び土・日曜日にも利用できる市役所外のセンターに集約すべき」は40代（38.7%）で4割近くと高くなっている。「今のままでよい」は18～29歳（57.4%）で6割近くと高くなっている。（図9-2-2）

図9-2-2 「入間市水道お客様センター」の設置箇所・開所時間等の見直し（性別・年齢別）



居住地区別にみると、「平日及び土・日曜日にも利用できる市役所外のセンターに集約すべき」は藤沢地区（36.9%）で4割近くと高くなっている。「今のままでよい」は東金子地区（64.6%）で6割半ばと高くなっている。（図9-2-3）

図9-2-3 「入間市水道お客様センター」の設置箇所・開所時間等の見直し（居住地区別）



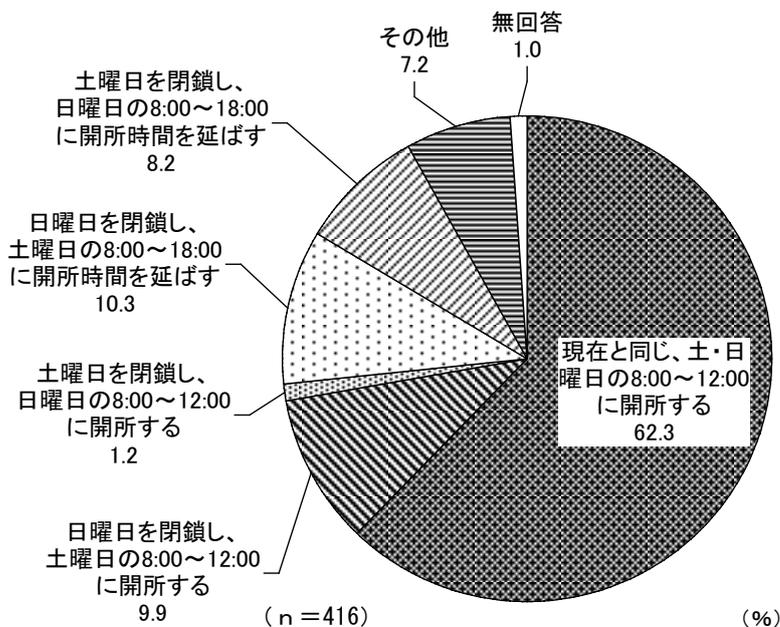
(3) 土・日曜日の開所時間

◇「現在と同じ、土・日曜日の8:00～12:00に開所する」が6割を超える

(問30で、「平日及び土・日曜日にも利用できる市役所外のセンターに集約すべき」とお答えの方に)
問30-1 土・日曜日の開所時間について、あなたの考えに近いものはどれですか。

(○は1つだけ)

図9-3-1 土・日曜日の開所時間

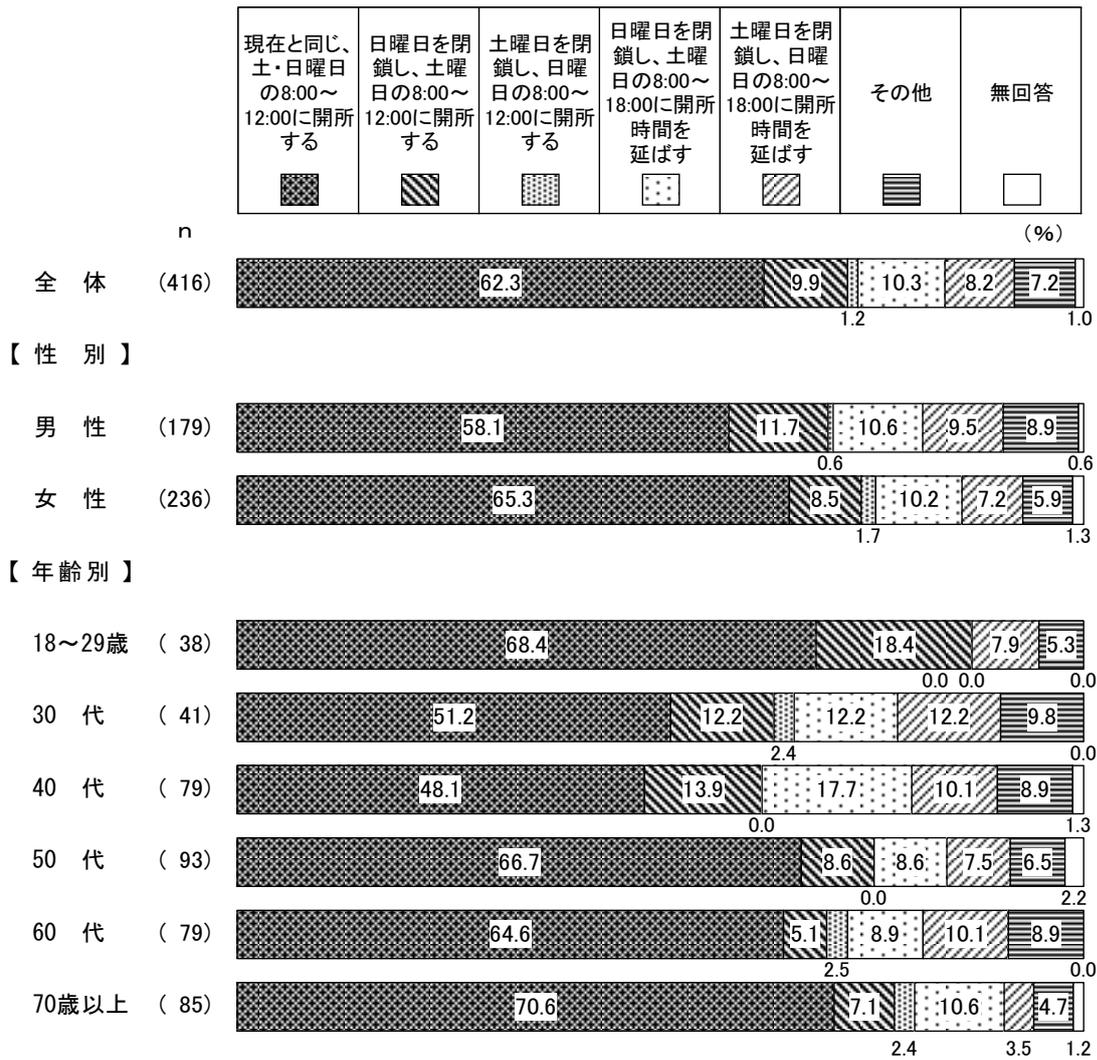


「入間市水道お客様センター」は「平日及び土・日曜日にも利用できる市役所外のセンターに集約すべき」と答えた人に、土・日曜日の開所時間について聞いたところ、「現在と同じ、土・日曜日の8:00～12:00に開所する」(62.3%)が6割を超えて最も高く、次いで「日曜日を閉鎖し、土曜日の8:00～18:00に開所時間を延ばす」(10.3%)、「日曜日を閉鎖し、土曜日の8:00～12:00に開所する」(9.9%)となっている。(図9-3-1)

性別にみると、「現在と同じ、土・日曜日の8:00～12:00に開所する」は女性(65.3%)が男性(58.1%)より7.2ポイント高くなっている。一方、「日曜日を閉鎖し、土曜日の8:00～12:00に開所する」は男性(11.7%)が女性(8.5%)より3.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「現在と同じ、土・日曜日の8:00～12:00に開所する」は70歳以上(70.6%)で約7割と高くなっている。(図9-3-2)

図9-3-2 土・日曜日の開所時間（性別・年齢別）

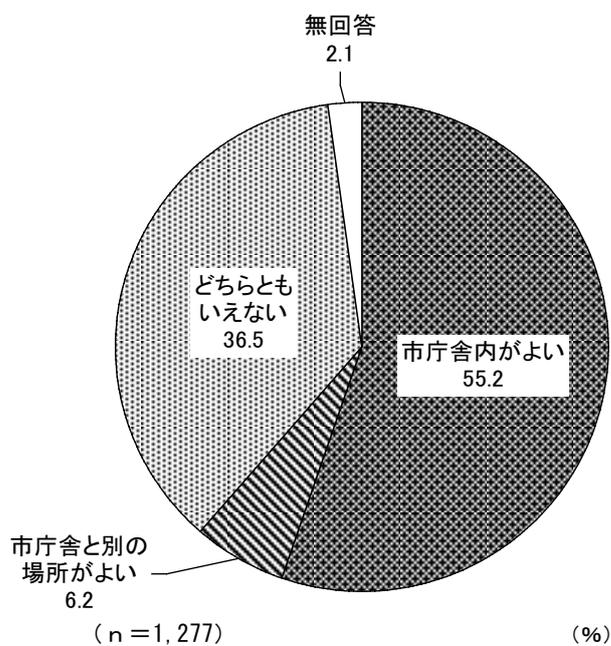


(4) 上下水道部の場所

◇「市庁舎内がよい」が5割半ば

問 31 市庁舎の建替え計画にあわせ、上下水道部の配置場所について検討中です。あなたは、上下水道部の場所についてどう思いますか。次の中から選んでください。(○は1つだけ)

図9-4-1 上下水道部の場所



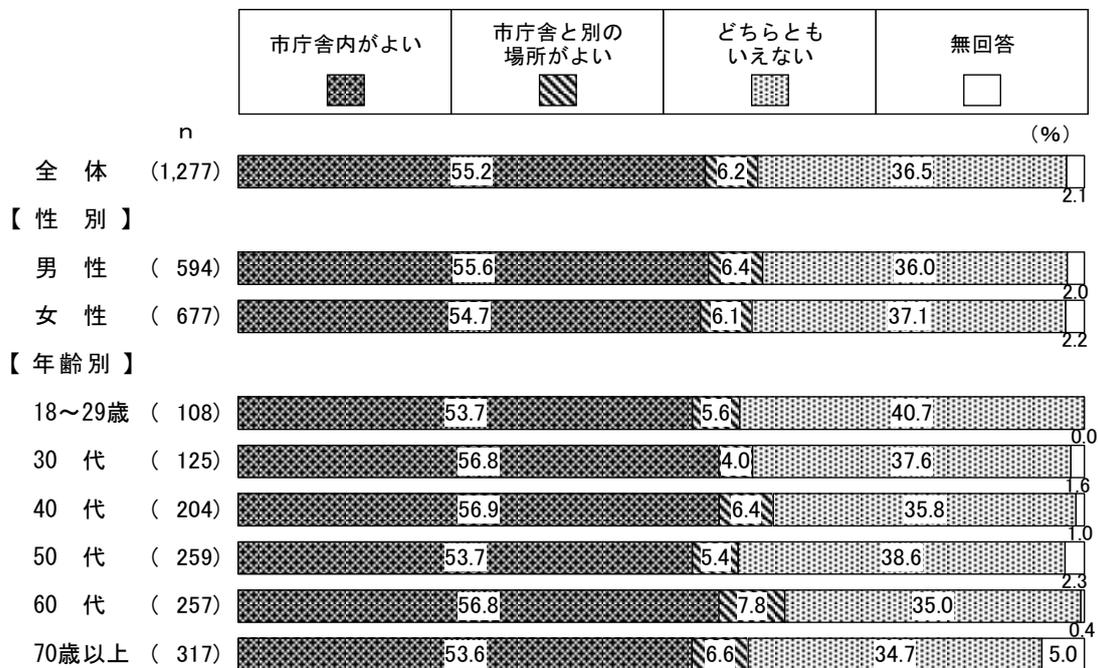
上下水道部の場所について聞いたところ、「市庁舎内がよい」(55.2%)が5割半ば、「市庁舎と別の場所がよい」(6.2%)は1割未満となっている。また、「どちらともいえない」(36.5%)は4割近くとなっている。(図9-4-1)

性別にみると、大きな違いはみられない。

年齢別にみると、「どちらともいえない」は18～29歳（40.7%）で約4割と高くなっている。

（図9-4-2）

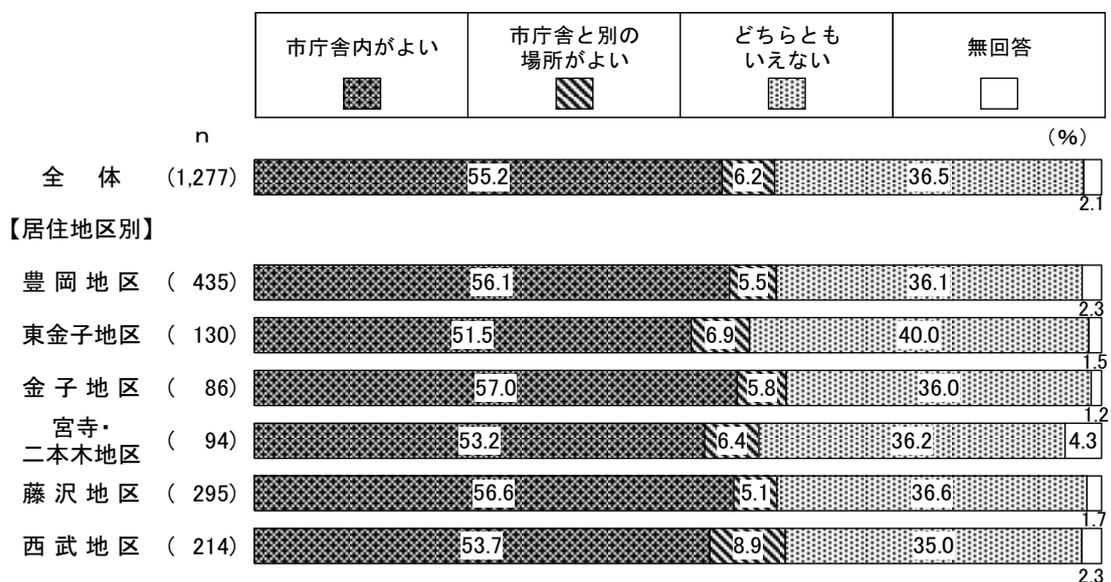
図9-4-2 上下水道部の場所（性別・年齢別）



居住地区別にみると、「市庁舎内がよい」は金子地区（57.0%）と藤沢地区（56.6%）で6割近くと高くなっている。「どちらともいえない」は東金子地区（40.0%）で4割と高くなっている。

（図9-4-3）

図9-4-3 上下水道部の場所（居住地区別）



10. 自由意見

その他、入間市の水道・下水道についてのご意見・ご要望がございましたら、ご記入ください。

入間市の水道・下水道についてのご意見・ご要望を自由に記入していただいたところ、213 人から延べ 230 件の回答が寄せられた。

以下の分類項目で該当する意見の件数を整理したところ、「料金・使用料」についての意見が最も多く寄せられた。

主な意見・要望	件数
料金・使用料について	31
上下水道の整備について	24
現状評価	22
上下水道事業の経営について	20
安全性について	17
情報提供について	16
災害対策について	15
要望事項	10
工事について	9
味・臭いについて	8
入間市水道お客様センターについて	7
水源について	2
アンケートについて	25
その他	24
合 計	230

料金・使用料について

- ・ 独立採算という事を知らなかった。料金は他所と比較して高いと思う。夫婦二人だけで1ヶ月5千円～7千円です。電気料金よりも高い。企業努力は出来ていますか。(男性、70歳以上、豊岡地区)
- ・ 下水道使用料金が割高と思っており、かつ、どの項目が下水道の利用なのか理解しておらず、わかり易い説明の必要性を感じている。(男性、60代、豊岡地区)
- ・ 水道・下水道の料金体系が分かりにくいので節水を心がけているが、どれ位節水出来たか良くわからず、節水する気も失われます。はっきり理解出来る料金体系にして欲しいと思います。(女性、40代、藤沢地区)

上下水道事業の整備について

- ・ 日常生活を安心して過ごすためにライフラインですので、安定した上下水道の整備を適正かつ合理的にお願いします。(男性、60代、西武地区)
- ・ 早く、下水道を整備してほしい。(女性、60代、宮寺・二本木地区)
- ・ 水道・下水道の老朽化はとても重要な問題です。税金を投入してでも改修維持していくべきと考えます。多少の料金 up はやむをえません。早急に計画的にお願いします。(女性、40代、豊岡地区)

現状評価について

- ・ 39年間入間市に住んで水道下水道のトラブルが無かったので、点検などよく実施していると思います。(男性、70歳以上、豊岡地区)
- ・ 安心して水を使う事ができている現状に感謝しています。高齢化、人口減など問題もあるでしょうが、現状が続く事を期待します。(女性、60代、藤沢地区)
- ・ 現在まで約40年水道トラブル(断水、にごり水等)は全くなく安全、安心な水道を使っています。浄水器は使っていますが、最近はボトルウォーターを利用する家庭もあると聞きます。水道水もよりおいしい水が求められています。(男性、70歳以上、豊岡地区)

上下水道事業の経営について

- ・ 海外での水道の民営化はうまくいっていないという話を聞いています。料金の値上がり、設備が更新されない。水道の民営化は、無理かなと思います。民間は利益を追求するのがあたりまえなので、今のままの安心安全な水道がずっと続けばと思います。(女性、40代、西武地区)
- ・ 水道料金の財源だけで運営していくのは、人口減少のスピードを見ても、無理が有る。今までのツケを市民に負担させるのはおかしい。市税等、税金収入を得るか、水道事業を一部委託してサービスの分散化を行ってはどうか？(男性、40代、金子地区)
- ・ お客様センターや上下水道部については、市役所の内外で管理コスト等、経費が安く済むように考えて場所を決めてほしい。上下水道にはお世話になっています。よろしくお願いします。(男性、60代、藤沢地区)

安全性について

- ・ 水道や下水道は、安全に安心して使わせていただけることが一番大切です。利用料金は、安ければ安いほどよいのですがそういう訳にもいかないでしょう。(男性、70歳以上、豊岡地区)
- ・ 水道水を飲みたいのですが、どうしても安心して飲める水なのか心配になってしまい、市販の水を購入して飲料として使用しています。手間なので、水道水が安心ということが確認できれば、飲料水としても使用したいです。(女性、30代、藤沢地区)
- ・ 安全な水の安定給水をお願いします。(男性、70歳以上、藤沢地区)

情報提供について

- ・ 家の水がまずいのは、家が古く水道管が老朽化しているせいだと思うけど、どうして良いか分かりません。排水もあまり良くないですが、水の業者はトラブルが多いと聞くので、工事や修理の依頼はここなら安全という市の保証付きで案内(HP等)してくれると助かります。業者選びはなんの依頼でも恐いです。(女性、40代、藤沢地区)

- ・ アンケートに答えながら「あー何も知らないなあ。あまり考えたことがなかったなあ」と思いました。興味がわいてきました。市報などに情報を載せて頂けると、うれしいです。(女性、40代、宮寺・二本木地区)
- ・ 市が取り組んでいる水道・下水道事業についての情報提供をより推進してほしいと思いました。(男性、18～29歳、西武地区)

災害対策について

- ・ 緊急時、経費等問題があると思いますが、安心して生活ができる事が望めます。(女性、70歳以上、豊岡地区)
- ・ 水道は大切なライフラインなので、自然災害にそなえて点検、補修などよろしく願います。その為の料金値上げなど、正しく情報を告知して下さい。(女性、60代、西武地区)
- ・ 災害時にすぐ動けるように、パンフレットの的なものに応急給水所を書き、配ってほしいです。土地に詳しくない人にとっては難しく、判断に時間がかかります。(女性、18～29歳、藤沢地区)

要望事項

- ・ 水道のトラブルをいつでも相談できる当番業者を決めて土・日・夜間、問わずに対応できる体制を作るべきだと思う。(女性、50代、藤沢地区)
- ・ いろいろな施設を研修(特に子供達)できる機会を増やしてほしい。(男性、40代、豊岡地区)
- ・ 引っ越してきた時に水道メーター等についてお話をうかがいました。また何かの機会に上下水道の相談にのってもらえたら水道メーターの見方とかもう一度教えてほしい。と思いました。以前、雪がふった時に水道が出なかったのでアパートなのでどうしたらよかったのか…。(女性、30代、藤沢地区)

工事について

- ・ 上下水道管工事について、道路を掘り起こし、水道管を交換する際、アスファルトを二度に渡り貼り直している様だが、一度で済まないのか?(一度目は管の部分、二度目は道路全体という様に何か理由が有るのでしょうか?)時間とお金のムダに思えるのですが。(男性、50代、地区不明)
- ・ 老朽化した配管の工事は、早めに工事日を連絡し、工事日数、時間の伝達を遅くとも3ヵ月前にはお知らせして欲しい。個人住宅の老朽化した配管の工事を、施主の負担が出来るだけ少なくなるようにしてほしい。(男性、50代、東金子地区)
- ・ 止水栓の手前で漏水があり、水道の再接続工事があった。2～3日後に塩ビの切くずが出てきた。工事の時ごみが入らないようにして下さい。(男性、70歳以上、豊岡地区)

味・臭いについて

- ・ 入間市にお世話になって2年過ぎましたが水道水に臭いがないので、今でも驚いています。感謝です。今後も頑張って下さい。(女性、70歳以上、藤沢地区)
- ・ 集合住宅に住んでおり、そのまま水道水を飲料として飲むのに抵抗があり、水を買っているのが現状です。おいしい水道水の提供をお願いします。(女性、50代、東金子地区)
- ・ 時々カルキの匂いが強いように感じるがありますが日々変化があるのでしょうか。市報にでも示していただけたらと思います(女性、70歳以上、西武地区)

入間市水道お客様センターについて

- ・ 問題が起きた時、いつでも対応いただけるお客様センターがあるので、安心して毎日過ごす事ができております。(女性、40代、藤沢地区)
- ・ 「入間市水道お客様センター」とは何の為にあるのでしょうか？水道故障とかあったら、相談に行っても良かったのでしょうか？利用した事がないのでわかりません。(女性、50代、豊岡地区)
- ・ 市役所外センターは必要ないと思います。市役所1ヵ所で十分では。土、日は一般企業の様に対応すればよいのでは。当直とか。(女性、50代、豊岡地区)

水源について

- ・ せっかく良い水が取れる川が近くにあるのに、何故大昔の契約？に縛られて主水を不味い買取水のままにしないでほしいのか心底疑問。静岡から入間市に移住した人に、狭山茶は美味しいかもしれないけど、入間市の水がマズいからお茶も結局マズいと言われたのがショック。(女性、40代、金子地区)
- ・ 県水の割合が多すぎる。災害時の為に入間川をもっと活用すべきと考えます。(男性、60代、豊岡地区)

アンケートについて

- ・ 皆さんから、アンケートをとるのであれば、もう少し簡潔したほうが良いと思います。(女性、30代、宮寺・二本木地区)
- ・ 水道・下水道について、あまり考えたことがなく、日常生活に欠かせないライフラインなので、老朽化について考えさせられました。(女性、60代、宮寺・二本木地区)
- ・ 正直、親が全部支払っていて、何も知らなかったもので、このアンケートを機に、色々聞けました。ありがとうございました。(女性、18～29歳、宮寺・二本木地区)

その他

- ・ 近年、水道料金が安い所に住居を持つ節約を聞いたことがありますが、他の地域と比較をしたことがなく入間市の水道、下水道の良し悪しがよくわかりませんでした。すみません。(女性、18～29歳、豊岡地区)
- ・ 上下水道部は市役所内にあったとしたら、市民への窓口業務もするのですか。市民サービスがないならば、庁舎内になくても良いと思う。(男性、60代、藤沢地区)
- ・ 一度小学校のPTAか何かで入間市の水道について、ペットボトルが売られていたり、安全なお水だったり理解した記憶があります。頑張って水道水のお水をいつまでも飲めるようにお願いします。(女性、60代、藤沢地区)